

MITSUBISHI

三菱電機 小型氷蓄熱式パッケージエアコン 2012年版

技術・工事マニュアル

エコ・アイス **mini**

R410A対応

2012 三菱電機 小型氷蓄熱式パッケージエアコン

技術・工事マニュアル エコ・アイス mini

三菱電機株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 冷熱システム製作所

お問い合わせは下記へどうぞ

三菱電機住環境システムズ株式会社	北海道支社	(011)893-1342
三菱電機住環境システムズ株式会社	東北支社	(022)742-3020
三菱電機住環境システムズ株式会社	東京支社	(03)3847-4337
三菱電機住環境システムズ株式会社	中部支社	(052)725-2045
	北陸営業部	(076)252-9935
三菱電機住環境システムズ株式会社	関西支社	(06)6310-5060
三菱電機住環境システムズ株式会社	中四国支社	(082)278-7001
	四国営業本部	(087)879-1066
三菱電機住環境システムズ株式会社	九州支社	(092)571-7014
沖縄三菱電機販売(株)		(098)898-1111

室外ユニット

PUZ-P140IGA(-BS,BSG)

PUZ-P160IGA(-BS,BSG)



暮らしと設備の総合情報サイト[WIN²K]
 製品のカatalog・技術情報等はここから。

役に立つサービス情報を発信するITツール
 携帯電話から空調機の簡易点検内容が検索できます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/wink_doc/tc/
 検索対象: スリムエアコン ビル用マルチエアコン 冷凍機

三菱電機空調ワンコールシステム
 24時間 365日
0120-9-24365 (フリーコール)
 「修理依頼」「サービス部品注文」(365日・24時間受付)
 「技術相談」(平日9:00~19:00、土・日・祝9:00~17:00)

三菱電機冷熱相談センター
 0037-80-2224 (フリーボイス) / 073-427-2224 (携帯・IP電話対応)
 (平日9:00~19:00、土・日・祝9:00~17:00)
 FAX (365日・24時間受付) 0037-80-2229 (フリーボイス) / 073-428-2229 (通常FAX)



三菱電機株式会社

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(発火注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)



(アース線を必ず接続せよ)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

気密試験は「冷凍装置検査員」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

冷媒回路内に冷媒ガス・油を封入した状態で、封止状態を作らないこと。

- ◆破裂・爆発のおそれあり。



破裂注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆火傷のおそれあり。



やけど注意

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)

- ◆工具などが落下した場合、けがのおそれあり。



指示を実行

換気をよくすること。

- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を実行

⚠ 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ◆ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



据付禁止

部品端面に触れないこと。

- ◆けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- ◆指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

保護具を身に付けて操作すること。

- ◆主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

保護具を身に付けて作業すること。

- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

保護具を身につけて作業すること。

- ◆保護具を付けないとけがのおそれあり。



指示を実行

ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を実行

運搬・据付工事をするときに

警告

搬入を行う場合、ユニットの指定位置にて吊下げること。また、横ずれしないよう固定し、四点支持で行うこと。

- ◆ 三点支持で運搬・吊下げをした場合、不安定になり、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。



運搬注意

注意

梱包に使用している PP バンドを持って運搬しないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



運搬禁止

20kg 以上の製品の運搬は、1 人でしないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



運搬禁止

据付工事をするときに

警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところに設置しないこと。

- ◆ 可燃性ガスがユニットの周囲にたまった場合、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

専門業者以外の方が触れるおそれがあるところにユニットを設置しないこと。

- ◆ ユニットに触れた場合、けがのおそれあり。



据付禁止

梱包材を処理すること。

- ◆ 梱包材で遊んだ場合、窒息事故のおそれあり。
- ◆ 破棄すること。



指示を実行

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を実行

強風・地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ◆ 不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。



指示を実行

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- ◆ 強度不足や取り付けに不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。



指示を実行

注意

ぬれて困るものの上に据付けないこと。

- ◆ ユニットからドレンが出るため、必要に応じて集中排水工事をする。



据付禁止

ぬれて困るものの上に据付けないこと。

- ◆ 湿度が 80% を超える場合や、ドレン出口が詰まっている場合、室内ユニットからの露落ちにより、天井・床がぬれるおそれあり。



据付禁止

ユニットはぬれて困るものの上に据付けないこと。

- ◆ 周囲条件によりユニットからの露落ちする。天井・床がぬれるおそれあり。



据付禁止

配管・配線取出し口の開口部は、塞ぐこと。

- ◆ 小動物・雪・雨水が内部に入った場合、機器を損傷・故障し、漏電・感電のおそれあり。



感電注意

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って排水工事を行うこと。

- ◆ 不備がある場合、雨水・ドレンなどが室内に浸水し、家財・周囲がぬれるおそれあり。



指示を実行

配管工事をするときに

警告

サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。

- ◆冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



配管内の封入ガスと残留油を取り除くこと。

- ◆取り除かずに配管を加熱した場合、炎が噴出し、火傷のおそれあり。



使用できる配管の肉厚は、使用冷媒・配管径・配管の材質によって異なる。配管の肉厚が適合していることを確認し、使用すること。

- ◆不適合品を使用した場合、配管が損傷し、冷媒が漏れ、酸素欠乏のおそれあり。



冷媒回路は、真空ポンプによる真空引き乾燥を行うこと。冷媒による冷媒置換をしないこと。

- ◆指定外の気体が混入した場合、破裂・爆発のおそれあり。



加圧ガスに塩素系冷媒・酸素・可燃ガスを使用しないこと。

- ◆使用した場合、爆発のおそれあり。
- ◆塩素により冷凍機油劣化のおそれあり。



冷媒回路内にガスを封入した状態で加熱しないこと。

- ◆加熱した場合、ユニットが破裂・爆発のおそれあり。



フレア接続は、操作弁付属の穴付きフレアナットを使用すること。

- ◆付属以外のフレアナットを使用した場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏のおそれあり。



フレアナットは、ユニットに付属のJIS2種品を使用すること。配管の先端は規程寸法にフレア加工すること。

- ◆冷媒漏れ・酸素欠乏のおそれあり。



フレアナットは規定のトルクで締めること。

- ◆損傷により冷媒漏れ・酸素欠乏のおそれあり。



冷媒が漏れていないことを確認すること。

- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



配管接続部の断熱は気密試験後に行うこと。

- ◆断熱材をつけた状態で気密試験を行うと冷媒漏れを検知できず、酸素欠乏のおそれあり。



接続管は、操作弁から取り外し、ユニットの外でろう付けすること。

- ◆接続管を取り付けたままろう付けした場合、バルブが加熱され故障し、冷媒漏れのおそれあり。
- ◆ユニット内の配線を焼損するおそれあり。
- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。



現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆配管が損傷し、冷媒が漏れ、酸素欠乏のおそれあり。



注意

冷媒回路内に、指定の冷媒 (R410A) 以外の物質 (空気など) を混入しないこと。

- ◆指定外の気体が混入した場合、異常な圧力上昇による破裂・爆発のおそれあり。



販売店または専門業者が据付工事説明書に従ってドレン配管工事を行うこと。

- ◆水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



ドレン配管は断熱すること。

- ◆不備がある場合、露落ちにより天井・床がぬれるおそれあり。



配管は断熱すること。

- ◆結露により、天井・床がぬれるおそれあり。



電気工事をするときに

警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源にはインバーター回路用漏電遮断器を取り付けること。

- 漏電遮断器はユニット1台につき1個設置すること。
- 取り付けない場合、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

正しい容量のブレーカー（インバーター回路用漏電遮断器・手元開閉器<開閉器＋B種ヒューズ>・配線用遮断器）を使用すること。

- 大きな容量のブレーカーを使用した場合、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源配線工事には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- 不適合の場合、漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



アース接続

注意

配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。

- 配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

移設・修理をするときに

警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

ユニットに水を入れたまま移設しないこと。販売店または専門業者に依頼すること。

- 水漏れ・けがのおそれあり。



禁止

雨天の場合、サービスはしないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材の状態を確認し劣化しているものは補修または交換すること。

- 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



指示を実行

お願い

据付け・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- ◆ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

- ◆ 法律（フロン回収・破壊法）によって罰せられます。

天井内配管・埋設配管の接続部には点検口を設けてください。

- ◆ 点検できないおそれあり。

病院・通信・放送設備がある事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行ってください。

- ◆ インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響による、製品の誤動作・故障のおそれあり。
- ◆ 製品側から医療機器に影響を与え、人体の医療行為を妨げるおそれあり。
- ◆ 製品側から通信機器に影響を与え、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じるおそれあり。

現地配管への冷媒充てんが完了するまでは、ユニットのバルブを開けないでください。

- ◆ 冷媒充てんが完了する前にバルブを開けた場合、ユニット損傷のおそれあり。

ろう付け作業時、周囲の配線や板金に炎が当たらないようにしてください。

- ◆ 炎が当たった場合、加熱により、焼損・故障のおそれあり。

下記に示す工具類のうち、旧冷媒（R22）に使用していたものは使用しないこと。R410A 専用の工具類を使用してください。（ゲージマニホールド・チャージングホース・ガス漏れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置）

- ◆ R410A は冷媒中に塩素を含まないため、旧冷媒用ガス漏れ検知器には反応しない。
- ◆ 旧冷媒・冷凍機油・水分が混入すると、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

逆流防止付きの真空ポンプを使用してください。

- ◆ 冷媒回路内に真空ポンプの油が逆流入した場合、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

工具は R410A 専用ツールを使用してください。

- ◆ R410A 用として専用ツールが必要です。最寄りの「三菱電機システムサービス」へ問い合わせること。

工具類の管理は注意してください。

- ◆ チャージングホース・フレア加工具にほこり・ゴミ・水分が付着した場合、冷媒回路内に混入し、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

冷媒配管は JIS H3300「銅及び銅合金継目無管」の C1220 のリン脱酸銅を、配管継手は JIS B 8607 に適合したものを使用してください。配管・継手の内面・外面ともに硫黄・酸化物・ゴミ・切粉・油脂・水分が付着していないことを確認してください。

- ◆ 冷凍機油劣化・圧縮機故障のおそれあり。

据付けに使用する配管は屋内に保管し、ろう付けする直前まで両端を密封しておいてください。（エルボなどの継手はビニール袋などに包んだ状態で保管）

- ◆ 冷媒回路内にほこり・ゴミ・水分が混入した場合、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

フレア・フランジ接続部に、冷凍機油（エステル油・エーテル油・少量のアルキルベンゼンのいずれか）を塗布してください。

- ◆ 塗布する冷凍機油に鉱油を使用し、多量に混入した場合、冷凍機油劣化・圧縮機故障のおそれあり。

窒素置換による無酸化ろう付けをしてください。

- ◆ 冷媒配管の内部に酸化皮膜が付着した場合、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

既設の冷媒配管を流用しないでください。

- ◆ 既設の配管内部には、古い冷凍機油や冷媒中の塩素が大量に残留しており、これらの物質による新しい機器の冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

液冷媒で封入してください。

- ◆ ガス冷媒で封入した場合、ボンベ内冷媒の組成が変化し、能力低下のおそれあり。

チャージングシリンダを使用しないでください。

- ◆ 冷媒の組成が変化し、能力低下のおそれあり。

冷媒を追加する場合、適正量を充てんしてください。

- ◆ 追加冷媒充てん量は、該当の項を参照のこと。
- ◆ 液冷媒を封入すること。
- ◆ 冷媒が過不足した場合、能力低下・異常停止のおそれあり。

電源配線には専用回路を使用してください。

- ◆ 使用しない場合、電源容量不足のおそれあり。

設備の重要度により電源系統を分割するか漏電遮断器・配線用遮断器の保護協調を取ってください。

- ◆ 製品側の遮断器と上位の遮断器が共に作動するおそれあり。

ユニットの故障が重大な影響を及ぼすおそれがある場合、バックアップの系統を準備ください。

- ◆ 複数の系統にすること。

目次

I	機種一覧	
[1]	室内ユニット	1
II	使用範囲	2
III	製品仕様	3
IV	外形寸法図	
[1]	室外ユニット <PUZ-P140IGA(-H)>	26
[2]	室内ユニット	27
[3]	リモコン	27
[4]	タイマーキット	28
V	冷媒回路動作図	
[1]	冷媒回路図	29
[2]	動作概要	29
[3]	冷媒の流れ	30
VI	電気配線図	
[1]	室外ユニット	31
[2]	室内ユニット	31
VII	据付工事	
[1]	据付場所の選定	32
[2]	ユニットの周囲必要空間	32
[3]	製品吊り下げ方法と製品質量	34
[4]	冷媒配管工事	37
[5]	電気工事	43
[6]	タイマーキット取付工事	51
[7]	蓄熱槽への給水、排水	54
[8]	試運転	55
VIII	技術データ	
[1]	能力線図	59
[2]	室外ユニット騒音データ	62
[3]	耐震強度データ	64
IX	システムコントロール	65
X	別売部品	
[1]	室外ユニット <PUZ-P140IGA(-H)> <PUZ-P160IGA(-H)>	66



I 機種一覧

[1] 室内ユニット

室内ユニット形	接続室内 ユニットの形態	セット形名	接続室内 ユニット形名
4方向天井カセット形 (ワイドパワーセット)	シングル	PLZ-P140IBA7-ST	PL-ZRP140BA7
		PLZ-P160IBA7-ST	PL-ZRP160BA7
	ツイン	PLZX-P140IBA7-ST	PL-ZRP71BA7 x2
		PLZX-P160IBA7-ST	PL-ZRP80BA7 x2
4方向天井カセット形 (コンパクトタイプ)	ツイン	PLZX-P140IJA7-ST	PL-RP71JA7 x2
		PLZX-P160IJA7-ST	PL-RP80JA7 x2
2方向天井カセット形	シングル	PLZ-P140ILA7-ST	PL-RP140LA7
		PLZ-P160ILA7-ST	PL-RP160LA7
	ツイン	PLZX-P140ILA7-ST	PL-RP71LA7 x2
		PLZX-P160ILA7-ST	PL-RP80LA7 x2
1方向天井カセット形	ツイン	PMZX-P140IFA7-ST	PM-RP71FA7 x2
		PMZX-P160IFA7-ST	PM-RP80FA7 x2
天井ビルトイン形	シングル	PDZ-P140IFA7-ST	PD-RP140FA7
		PDZ-P160IFA7-ST	PD-RP160FA7
	ツイン	PDZX-P140IFA7-ST	PD-RP71FA7 x2
		PDZX-P160IFA7-ST	PD-RP80FA7 x2
天井埋込形	シングル	PEZ-P140IDA7-ST	PE-RP140DA7
		PEZ-P160IDA7-ST	PE-RP160DA7
	ツイン	PEZX-P140IDA7-ST	PE-RP71DA7 x2
		PEZX-P160IDA7-ST	PE-RP80DA7 x2
天吊形	シングル	PCZ-P140IKA7-ST	PC-RP140KA7
		PCZ-P160IKA7-ST	PC-RP160KA7
	ツイン	PCZX-P140IKA7-ST	PC-RP71KA7 x2
		PCZX-P160IKA7-ST	PC-RP80KA7 x2
床置形	シングル	PSZ-P140IKA7-ST	PS-RP140KA7
		PSZ-P160IKA7-ST	PS-RP160KA7
	ツイン	PSZX-P140IKA7-ST	PS-RP71KA7 x2
		PSZX-P160IKA7-ST	PS-RP80KA7 x2
厨房用天吊形	シングル	PCZ-P140IHA7-ST	PC-RP140HA7
	ツイン	PCZX-P160IHA7-ST	PC-RP80HA7 x2

蓄熱利用暖房機能付き (寒冷地向：受注生産品)

室内ユニット形	接続室内 ユニットの形態	セット形名	接続室内 ユニット形名
4方向天井カセット形 (ワイドパワーセット)	シングル	PLZ-P140IBA7-H-ST	PL-ZRP140BA7
	ツイン	PLZX-P140IBA7-H-ST	PL-ZRP71BA7 x2
4方向天井カセット形 (コンパクトタイプ)	ツイン	PLZX-P140IJA7-H-ST	PL-RP71JA7 x2
2方向天井カセット形	シングル	PLZ-P140ILA7-H-ST	PL-RP140LA7
	ツイン	PLZX-P140ILA7-H-ST	PL-RP71LA7 x2
1方向天井カセット形	ツイン	PMZX-P140IFA7-H-ST	PM-RP71FA7 x2
天井ビルトイン形	シングル	PDZ-P140IFA7-H-ST	PD-RP140FA7
	ツイン	PDZX-P140IFA7-H-ST	PD-RP71FA7 x2
天井埋込形	シングル	PEZ-P140IDA7-H-ST	PE-RP140DA7
	ツイン	PEZX-P140IDA7-H-ST	PE-RP71DA7 x2
天吊形	シングル	PCZ-P140IKA7-H-ST	PC-RP140KA7
	ツイン	PCZX-P140IKA7-H-ST	PC-RP71KA7 x2
床置形	シングル	PSZ-P140IKA7-H-ST	PS-RP140KA7
	ツイン	PSZX-P140IKA7-H-ST	PS-RP71KA7 x2
厨房用天吊形	シングル	PCZ-P140IHA7-H-ST	PC-RP140HA7

注：ツインフリーコンポマルチシステムには対応しておりません。

II 使用範囲

各機種シリーズの室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。ご使用になっている製品をお確かめのうえ、使用範囲をご確認ください。

⚠ 注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

●使用温度範囲

- | | | |
|----------|---------------------|----------------------|
| ・ 室外ユニット | 冷房時：－ 5℃～ 43℃（乾球温度） | 暖房時：－ 15℃～ 15℃（湿球温度） |
| ・ 室内ユニット | 冷房時：15℃～ 24℃（湿球温度） | 暖房時：17℃～ 28℃（乾球温度） |

注) 室内外共使用可能な湿度目安としては、30～80%RHの範囲内でご使用ください。

III 製品仕様

(1) 4方向天井カセット形<ワイドパワーカセット>

セット形名		PLZ-P140IBA7-ST		PLZX-P140IBA7-ST		PLZ-P160IBA7-ST		PLZX-P160IBA7-ST			
電 源/三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.54	2.54	2.51	2.51	3.10	3.10	2.99	2.99	
	蓄熱利用運転電流	A	8.14	8.14	8.05	8.05	9.94	9.94	9.59	9.59	
	力 率	%	90		90		90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		12.90		12.90		
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	14.0	14.0	14.0	14.0	
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	12.5	12.5	12.5	12.5	
	暖房消費電力	kW	2.73	2.73	2.69	2.69	3.87	3.87	3.70	3.70	
	暖房運転電流	A	8.75	8.75	8.62	8.62	12.41	12.41	11.86	11.86	
	力 率	%	90		90		90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		2.70		2.70		
最 大 電 流	A	19.8	19.8	20.1	20.2	25.8	25.8	25.4	25.4		
温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃									
室 内 ユ ニ ッ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PL-ZRP140BA7		PL-ZRP71BA7×2台		PL-ZRP160BA7		PL-ZRP80BA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	298×840×840		258×840×840		298×840×840				
	外 装 色 (マンセル)	—	ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)								
	補助電熱装置	kW	組込不可								
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)								
	送風機 (形式×出力×個数)	—	ターボファン×0.12kW×1		ターボファン×0.05kW×1		ターボファン×0.12kW×1				
	風 量	m³/min	静粛22-弱26-中30-強33		静粛14-弱16-中18-強21		静粛24-弱27-中30-強33		静粛16-弱18-中20-強22		
	風向調節	上下方向	30°～60°の間で5段階に設定可・スイング								
	運 転 音	dB	静粛34-弱38-中41-強44		静粛28-弱30-中32-強34		静粛36-弱39-中42-強44		静粛28-弱30-中32-強34		
	製 品 質 量	kg	26 + 6 (パネル)		22 + 6 (パネル)		26 + 6 (パネル)				
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)									
ドレン配管サイズ	—	VP-25									
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-(BS(G))				PUZ-P160IGA-(BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840								
	外 装 色 (マンセル)	—	〈5Y8 / 1〉								
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×1.8kW×1				全密閉×2.3kW×1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路							
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1								
	風 量	m³/min	100								
送風機用保護装置	—	温度開閉器									
運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				50 / 45					
製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705、有効水量 370)									
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10								
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃								
		室 外	乾球温度 -5～43℃								
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃								
		室 外	湿球温度 -15～15℃								

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(2) 4方向天井カセット形<コンパクトタイプ>

セット形名			PLZX-P140IJA7-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.69	2.71
	蓄熱利用運転電流	A	8.62	8.69
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
	暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2
低 温 能 力		kW	11.2	11.2
暖房消費電力		kW	2.90	2.92
暖房運転電流		A	9.30	9.36
力 率		%	90	
暖房蓄熱容量		MJ	22	
暖房蓄熱消費電力量		kWh	2.70	
最 大 電 流		A	20.8	20.9
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PL-RP71JA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 307×660×660	
	外 装 色 (マンセル)		— ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)	
	送風機 (形式×出力×個数)		— ターボファン×0.03kW×1	
	風 量		m ³ /min 静粛 14—弱 15—中 16—強 17	
	風向調節	上下方向	30°, 45°, 55°, 70° に設定可・スイング	
	運 転 音		dB 静粛 35—弱 36.5—中 38—強 39.5	
	製 品 質 量		kg 20 + 3.7 (パネル)	
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS(防カビ仕様)		
ドレン配管サイズ		— VP-25		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		— (5Y8 / 1)	
	圧縮機	形式×出力×個数	— 全密閉×1.8kW×1	
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		— プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m ³ /min 100	
	送風機用保護装置		— 温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃	
		室 外	湿球温度 -15～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

セット形名			PLZX-P160JA7-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	14.0	14.0
	蓄熱非利用冷房能力	kW	14.0	14.0
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.18	3.20
	蓄熱利用運転電流	A	10.19	10.26
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	14.0	14.0
	低 温 能 力	kW	12.5	12.5
	暖房消費電力	kW	3.91	3.93
	暖房運転電流	A	12.54	12.60
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	22	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70	
最 大 電 流	A	25.8	25.9	
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ツ ト (一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PL-RP80JA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 307×660×660	
	外 装 色 (マンセル)		— ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)	
	送風機 (形式×出力×個数)		— ターボファン×0.03kW×1	
	風 量		m³/min 静粛 14—弱 15—中 16—強 17	
	風向調節	上下方向	水平より 30°、45°、55°、70° にそれぞれ固定	
		スイング	30°～70°の間をオートスイングに設定可	
	運 転 音		dB 静粛 35—弱 36.5—中 38—強 39.5	
	製 品 質 量		kg 20 + 3.7 (パネル)	
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)		
ドレン配管サイズ		— VP-25		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P160IGA(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		— <5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式×出力×個数	— 全密閉×2.3kW×1	
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		— プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m³/min 100	
	送風機用保護装置		— 温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 50 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃	
		室 外	湿球温度 -15～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃、湿球 19.0℃、外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 7.0℃、湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 2.0℃、湿球 1.0℃)
2. 測定条件：無響音、A スケール、JIS 規格に準ずる。
3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(3) 2方向天井カセット形

セット形名		PLZ-P140ILA7-ST		PLZX-P140ILA7-ST		PLZ-P160ILA7-ST		PLZX-P160ILA7-ST			
電 源/三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.87	2.91	2.65	2.67	3.17	3.24	3.17	3.19	
	蓄熱利用運転電流	A	9.17	9.29	8.49	8.54	10.12	10.32	10.14	10.19	
	力 率	%	90		90		90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		12.90		12.90		
	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	14.0	14.0	14.0	14.0	
暖 房 性 能	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	12.5	12.5	12.5	12.5	
	暖房消費電力	kW	3.24	3.28	2.84	2.86	3.88	3.95	3.86	3.88	
	暖房運転電流	A	10.35	10.48	9.09	9.15	12.39	12.60	12.35	12.41	
	力 率	%	90		90		90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		2.70		2.70		
	最 大 電 流	A	23.3	23.7	20.8	21.0	25.3	25.7	25.8	26.0	
	温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃								
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PL-RP140LA7		PL-RP71LA7×2台		PL-RP160LA7		PL-RP80LA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	290×1446×634		290×946×634		290×1446×634		290×946×634		
	外 装 色 (マンセル)	—	ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)								
	補助電熱装置	kW	組込不可								
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)								
	送風機 (形式×出力×個数)	—	ターボファン×0.04kW×2		ターボファン×0.02kW×1		ターボファン×0.07kW×2		ターボファン×0.05kW×1		
	風 量	m³/min	弱 19—中 22—強 26		弱 9—中 11—強 12.5		弱 19—中 26—強 30		弱 10—中 13—強 15.5		
	風向調節	上下方向	水平より 0°、40°、60°、80° に設定可・スイング				0°、40°、60°、80° に設定可・スイング				
	運 転 音	dB	弱 38—中 41—強 44		弱 29—中 32—強 35		弱 38—中 44—強 48		弱 30—中 35—強 37		
	製 品 質 量	kg	47 + 12.5 (パネル)		27 + 7.5 (パネル)		47 + 12.5 (パネル)		28 + 7.5 (パネル)		
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)									
ドレン配管サイズ	—	VP-25									
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA(-BS(G))				PUZ-P160IGA(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840								
	外 装 色 (マンセル)	—	〈5Y8 / 1〉								
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×1.8kW×1				全密閉×2.3kW×1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路							
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1								
	風 量	m³/min	100								
	送風機用保護装置	—	温度開閉器								
運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				50 / 45					
製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705、有効水量 370)									
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10								
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
ガス管外径		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2			
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃								
		室 外	乾球温度 -5～43℃								
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃								
		室 外	湿球温度 -15～15℃								

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃、湿球 19.0℃、外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 7.0℃、湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 2.0℃、湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音、A スケール、JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(4) 1方向天井カセット形

セット形名			PMZX-P140IFA7-ST	
電 源 / 三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.94	3.04
	蓄熱利用運転電流	A	9.39	9.66
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2
	暖房消費電力	kW	2.93	3.03
	暖房運転電流	A	9.36	9.63
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	22	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70	
最 大 電 流	A	20.9	21.4	
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ツ ト (台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PM-RP71FA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 225×1112×724	
	外 装 色 (マンセル)		— ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)	
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)	
	送風機 (形式×出力×個数)		— シロッコファン×0.095kW×1	
	風 量		m³/min 強 20—中 18—弱 16—静粛 14	
	風向調節	上下方向	15°～65°の範囲で5段階設定可能・スイング	
		左右方向	左右に各々45°の範囲で手動にて調整可 (別売部品)	
	運 転 音		dB 強 41—中 38—弱 35—静粛 32	
	製 品 質 量		kg 26 + 6.5 (パネル)	
ドレンパン		ABS樹脂シート・発泡PS		
ドレン配管サイズ		— VP-25		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		— (5Y8 / 1)	
	圧縮機	形式×出力×個数	— 全密閉×1.8kW×1	
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		— プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m³/min 100	
	送風機用保護装置		— 温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃	
		室 外	湿球温度 -15～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

[III 製品仕様]

セット形名			PMZX-P160IFA7-ST		
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.38	3.48	
	蓄熱利用運転電流	A	10.80	11.06	
	力 率	%	90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		
	暖 房 能 力	kW	14.0	14.0	
	低 温 能 力	kW	12.5	12.5	
暖 房 性 能	暖房消費電力	kW	4.06	4.16	
	暖房運転電流	A	12.98	13.24	
	力 率	%	90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		
	最 大 電 流	A	26.7	27.2	
	温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
	室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PM-RP80FA7×2台	
		外 形 寸 法		mm 225×1112×724	
外 装 色 (マンセル)		— ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)			
エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)			
送風機 (形式×出力×個数)		— シロッコファン×0.095kW×1			
風 量		m ³ /min 強 20—中 18—弱 16—静粛 14			
風向調節		上下方向	15°～65°の範囲で5段階設定可能・スイング		
		左右方向	左右に各々45°の範囲で手動にて調整可 (別売部品)		
運 転 音		dB 強 41—中 38—弱 35—静粛 32			
製 品 質 量		kg 26 + 6.5 (パネル)			
ドレンパン		ABS 樹脂シート・発泡 PS			
ドレン配管サイズ		— VP-25			
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P160IGA(-BS(G))		
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840		
	外 装 色 (マンセル)		— <5Y8 / 1>		
	圧縮機	形式×出力×個数	— 全密閉×2.3kW×1		
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路		
	送風機 (形式×出力×個数)		— プロペラファン×0.16kW×1		
	風 量		m ³ /min 100		
	送風機用保護装置		— 温度開閉器		
	運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 50 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)			
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10		
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2		
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃		
		室 外	乾球温度 -5～43℃		
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃		
		室 外	湿球温度 -15～15℃		

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(5) 天井ビルトイン形

セット形名		PDZ-P140IFA7-ST		PDZX-P140IFA7-ST			
電 源/三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.81	2.90	2.65	2.69	
	蓄熱利用運転電流	A	9.01	9.27	8.49	8.62	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	
	暖房消費電力	kW	3.35	3.44	2.75	2.79	
	暖房運転電流	A	10.74	10.99	8.82	8.94	
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		
最 大 電 流	A	22.2	22.6	20.6	20.9		
温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃					
室 内 ユ ニ ッ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PD-RP140FA7		PD-RP71FA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	335×1510×775		295×1160×735		
	外 装 色 (マンセル)	—	ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式 × 出力 × 個数)	—	シロッコファン × 0.135kW × 1		シロッコファン × 0.095kW × 1		
	風 量	m ³ /min	弱 24—強 34		静粛 12.5—弱 14—中 16—強 18		
	風向調節	上下方向	オートベンなし				
	運 転 音	dB	弱 38—強 44		静粛 34—弱 36—中 38—強 40		
	製 品 質 量	kg	52 + 8.5 (パネル)		39 + 7 (パネル)		
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-(BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)	—	〈5Y8 / 1〉				
	圧縮機	形式 × 出力 × 個数	—	全密閉 × 1.8kW × 1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式 × 出力 × 個数)	—	プロペラファン × 0.16kW × 1				
	風 量	m ³ /min	100				
	送風機用保護装置	—	温度開閉器				
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				
	製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52		主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2		
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88		主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃				
		室 外	湿球温度 -15～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

[III 製品仕様]

セット形名			PDZ-P160IFA7-ST		PDZX-P160IFA7-ST		
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.31	3.40	3.17	3.23	
	蓄熱利用運転電流	A	10.61	10.88	10.16	10.34	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
	暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	14.0	14.0	14.0	14.0
低 温 能 力		kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
暖房消費電力		kW	3.99	4.08	3.69	3.75	
暖房運転電流		A	12.79	13.05	11.83	12.02	
力 率		%	90		90		
暖房蓄熱容量		MJ	22		22		
暖房蓄熱消費電力量		kWh	2.70		2.70		
最 大 電 流		A	25.3	25.8	25.5	25.8	
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃				
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名		PD-RP160FA7		PD-RP80FA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	335×1510×775		295×1160×735		
	外 装 色 (マンセル)	—	ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)	—	シロッコファン×0.135kW×1		シロッコファン×0.095kW×1		
	風 量	m³/min	弱 24—強 34		静粛 13.5—弱 15.5—中 17.5—強 19.5		
	風向調節	上下方向	オートベンなし				
	運 転 音	dB	弱 38—強 44		静粛 35—弱 37—中 39—強 41		
	製 品 質 量	kg	52 + 8.5 (パネル)		39 + 7 (パネル)		
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P160IGA(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)	—	<5Y8 / 1>				
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×2.3kW×1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m³/min	100				
	送風機用保護装置	—	温度開閉器				
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	50 / 45				
	製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃				
		室 外	湿球温度 -15～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(6) 天井埋込形

セット形名		PEZ-P140IDA7-ST		PEZX-P140IDA7-ST			
電 源/三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.70	2.70	3.01	3.01	
	蓄熱利用運転電流	A	8.70	8.70	9.70	9.70	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	
	暖房消費電力	kW	2.81	2.81	2.88	2.88	
	暖房運転電流	A	9.00	9.00	9.30	9.30	
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		
最 大 電 流	A	20.9	21.1	20.8	21.2		
温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃					
室 内 ユ ニ ッ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PE-RP140DA7		PE-RP71DA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	250×1400×732		250×1100×732		
	外 装 色 (マンセル)	—	溶融亜鉛メッキ鋼板				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)	—	シロッコファン×0.244kW×1		シロッコファン×0.121kW×1		
	風 量	m ³ /min	弱 24—中 29—強 34		弱 14.5—中 18—強 21		
	風向調節	上下方向	—				
	運 転 音	dB	弱 35—中 39—強 43		弱 31—中 36—強 39		
	製 品 質 量	kg	38		29		
室 外 ユ ニ ッ ト	ドレ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)				
	ドレン配管サイズ	—	VP-25				
	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-(BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)	—	〈5Y8 / 1〉				
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×1.8kW×1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m ³ /min	100				
	送風機用保護装置	—	温度開閉器				
運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45					
製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)					
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃				
		室 外	湿球温度 -15～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

[III 製品仕様]

セット形名		PEZ-P160IDA7-ST		PEZX-P160IDA7-ST		
電 源/三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	14.0	14.0	14.0	14.0
	蓄熱非利用冷房能力	kW	14.0	14.0	14.0	14.0
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.18	3.18	3.26	3.26
	蓄熱利用運転電流	A	10.20	10.20	10.50	10.50
	力 率	%	90		90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90	
	暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	14.0	14.0	14.0
低 温 能 力		kW	12.5	12.5	12.5	12.5
暖房消費電力		kW	3.77	3.77	3.70	3.70
暖房運転電流		A	12.10	12.10	11.90	11.90
力 率		%	90		90	
暖房蓄熱容量		MJ	22		22	
暖房蓄熱消費電力量		kWh	2.70		2.70	
最 大 電 流		A	25.7	25.9	24.4	24.7
温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃				
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名	PE-RP160DA7		PE-RP80DA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	250×1400×732		250×1100×732	
	外 装 色 (マンセル)	—	溶融亜鉛メッキ鋼板			
	補助電熱装置	kW	組込不可			
	エアフィルタ	合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)	—	シロッコファン×0.244kW×1		シロッコファン×0.121kW×1	
	風 量	m ³ /min	弱 24—中 29—強 34		弱 17.5—中 21—強 25	
	風向調節	上下方向	—			
	運 転 音	dB	弱 35—中 29—強 43		弱 32—中 37—強 40	
	製 品 質 量	kg	38		29	
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名	PUZ-P160IGA(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840			
	外 装 色 (マンセル)	—	<5Y8 / 1>			
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×2.3kW×1		
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路		
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1			
	風 量	m ³ /min	100			
	送風機用保護装置	—	温度開閉器			
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	50 / 45			
	製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)			
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10			
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2	
ガス管外径		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃			
		室 外	乾球温度 - 5～43℃			
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃			
		室 外	湿球温度 - 15～15℃			

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(7) 天吊形

セット形名		PCZ-P140IKA7-ST		PCZX-P140IKA7-ST		PCZ-P160IKA7-ST		PCZX-P160IKA7-ST			
電 源／三相・200V		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.66	2.66	2.59	2.59	3.02	3.02	3.08	3.08	
	蓄熱利用運転電流	A	8.50	8.50	8.20	8.20	9.60	9.60	9.80	9.80	
	力 率	%	90		90		90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		12.90		12.90		
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	14.0	14.0	14.0	14.0	
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	12.5	12.5	12.5	12.5	
	暖房消費電力	kW	2.89	2.89	2.75	2.75	3.64	3.64	3.71	3.71	
	暖房運転電流	A	9.20	9.20	8.80	8.80	11.60	11.60	11.80	11.80	
	力 率	%	90		90		90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		2.70		2.70		
最 大 電 流	A	21.0	21.0	19.5	19.5	24.2	24.2	24.3	24.3		
温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃									
室 内 ユ ニ ツ ト (一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PC-RP140KA7		PC-RP71KA7×2台		PC-RP160KA7		PC-RP80KA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	230×1600×680		230×1280×680		230×1600×680		230×1280×680		
	外 装 色 (マンセル)	—	ピュアホワイト (6.4Y8.9 / 0.4)								
	補助電熱装置	kW	組込不可								
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)								
	送風機 (形式×出力×個数)	—	シロココファン×0.160kW×1		シロココファン×0.095kW×1		シロココファン×0.160kW×1		シロココファン×0.095kW×1		
	風 量	m³/min	静粛 21-弱 24-中 27-強 31		静粛 14-弱 15-中 16-強 18		静粛 22-弱 25-中 28-強 33		静粛 14-弱 16-中 18-強 20		
	風向調節	上下方向	10°, 20°, 30°, 45°, 60° に設定可				10°, 20°, 30°, 45°, 60° に設定可・スイング				
		左右方向	左右に各々 45° の範囲で手動にて調整可								
	運 転 音	dB	静粛 36-弱 39-中 42-強 44		静粛 31-弱 34-中 37-強 39		静粛 37-弱 40-中 43-強 46		静粛 31-弱 34-中 37-強 39		
	製 品 質 量	kg	38		32		38		32		
ド レ ン パ ン		ABS樹脂・発泡 PS									
ドレン配管サイズ	—	VP-20									
室 外 ユ ニ ツ ト (二 台 分)	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-(BS(G))				PUZ-P160IGA-(BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840								
	外 装 色 (マンセル)	—	(5Y8 / 1)								
	圧縮機	形式×出力×個数	—	全密閉×1.8kW×1				全密閉×2.3kW×1			
		保護装置	—	吐出温度検知、過電流検知回路							
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1								
	風 量	m³/min	100								
送風機用保護装置	—	温度開閉器									
運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				50 / 45					
製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)				335 (蓄熱槽給水時 705、有効水量 370)					
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10								
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
ガス管外径		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2			
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃								
		室 外	乾球温度 -5～43℃								
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃								
		室 外	湿球温度 -15～15℃								

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(8) 床置形

セット形名			PSZ-P140IKA7-ST		PSZX-P140IKA7-ST		PSZ-P160IKA7-ST		PSZX-P160IKA7-ST		
電 源／三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	14.0	14.0	14.0	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.70	2.70	2.62	2.60	3.14	3.14	3.07	3.07	
	蓄熱利用運転電流	A	8.50	8.50	8.30	8.30	10.00	10.00	9.80	9.80	
	力 率	%	90		90		90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		12.90		12.90		
	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	14.0	14.0	14.0	14.0	
暖 房 性 能	低 温 能 力	kW	11.2	11.2	11.2	11.2	12.5	12.5	12.5	12.5	
	暖房消費電力	kW	2.91	2.91	2.87	2.87	3.81	3.81	3.71	3.71	
	暖房運転電流	A	9.20	9.20	9.10	9.20	12.20	12.20	11.80	11.80	
	力 率	%	90		90		90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	22		22		22		22		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70		2.70		2.70		2.70		
	最 大 電 流	A	21.3	21.7	21.2	21.3	25.9	26.4	25.2	25.3	
	温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃								
室 内 ユ ニ ツ ト (一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PS-RP140KA7		PS-RP71KA7×2台		PS-RP160KA7		PS-RP80KA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	1900×600×350		1700×470×270		1900×600×360		1700×470×270		
	外 装 色 (マンセル)	—	ホワイト<0.70Y 8.59/0.97>								
	補助電熱装置	kW	組込不可								
	エアフィルタ		PPハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)								
	送風機 (形式×出力×個数)	—	シロココファン×0.16kW×1		シロココファン×0.05kW×1		シロココファン×0.16kW×1		シロココファン×0.05kW×1		
	風 量	m³/min	弱 24—中 27—強 30		弱 13—中 14—強 15		弱 24—中 27—強 30		弱 13—中 14—強 15		
	風向調節	上下方向 左右方向	手動：冷房・除湿時は正面吹出し/上吹出し、暖房時は下吹出し 任意方向に設定可能・スイング								
	運 転 音	dB	弱 44—中 47—強 49		弱 38—中 41—強 43		弱 44—中 47—強 49		弱 38—中 41—強 43		
	製 品 質 量	kg	48		34		48		34		
	ド レ ン パ ン		ABS樹脂・発泡 PS								
ドレン配管サイズ	—	VP-20									
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-(BS(G))				PUZ-P160IGA-(BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840								
	外 装 色 (マンセル)	—	<5Y8 / 1>								
	圧縮機	形式×出力×個数	—				全密閉×1.8kW×1		全密閉×2.3kW×1		
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路								
	送風機 (形式×出力×個数)	—	プロペラファン×0.16kW×1								
	風 量	m³/min	100								
	送風機用保護装置	—	温度開閉器								
共 通 事 項	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				50 / 45				
	製 品 質 量	kg	335 (蓄熱槽給水時 705)								
	冷 媒	kg	R410A×10								
使 用 温 度 範 囲	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃								
		室 外	乾球温度 -5～43℃								
暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃									
	室 外	湿球温度 -15～15℃									

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃、湿球 19.0℃、外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 7.0℃、湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 2.0℃、湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音、A スケール、JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(9) 厨房用天吊形

セット形名			PCZ-P140IHA7-ST	
電 源 / 三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.03	3.07
	蓄熱利用運転電流	A	9.69	9.81
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	11.2	11.2
	低 温 能 力	kW	11.2	11.2
	暖房消費電力	kW	3.24	3.28
	暖房運転電流	A	10.36	10.48
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	22	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	2.70	
最 大 電 流	A	23.0	23.2	
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ツ ト (一 台 分 の デ イ タ)	室内ユニット形名		PC-RP140HA7	
	外 形 寸 法		mm 280×1520×650	
	外 装 色 (マンセル)		— ステンレス (ヘアライン仕上げ)	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		合成繊維不織布	
	送風機 (形式 × 出力 × 個数)		— シロッコファン × 0.080kW × 2	
	風 量		m ³ /min 弱 30—強 38	
	風向調節	上下方向	手動調整可	
		左右方向	手動調整可	
	運 転 音		dB 弱 44—強 50	
製 品 質 量		kg 56		
ド レ ン パ ン		鋼板		
ドレン配管サイズ		— VP-25		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		— <5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式 × 出力 × 個数	— 全密閉 × 1.8kW × 1	
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式 × 出力 × 個数)		— プロペラファン × 0.16kW × 1	
	風 量		m ³ /min 100	
	送風機用保護装置		— 温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A × 10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃	
		室 外	湿球温度 -15～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

[III 製品仕様]

セット形名			PCZX-P160IHA7-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	14.0	14.0
	蓄熱非利用冷房能力	kW	14.0	14.0
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.31	3.33
	蓄熱利用運転電流	A	10.60	10.66
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
	暖 房 性 能	暖 房 能 力	kW	14.0
低 温 能 力		kW	12.5	12.5
暖房消費電力		kW	4.01	4.03
暖房運転電流		A	12.85	12.90
力 率		%	90	
暖房蓄熱容量		MJ	22	
暖房蓄熱消費電力量		kWh	2.70	
最 大 電 流		A	26.4	26.5
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ツ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名		PC-RP80HA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 280×1136×650	
	外 装 色 (マンセル)		— ステンレス (ヘアライン仕上げ)	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		合成繊維不織布	
	送風機 (形式×出力×個数)		— シロッコファン×0.04kW×1	
	風 量		m ³ /min 弱 14—強 19	
	風向調節	上下方向	手動調整可	
		左右方向	手動調整可	
	運 転 音		dB 弱 32—強 38	
	製 品 質 量		kg 41	
	ド レ ン パ ン		鋼板	
ドレン配管サイズ		— VP-25		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P160IGA(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		— <5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式×出力×個数	— 全密閉×2.3kW×1	
		保護装置	— 吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		— プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m ³ /min 100	
	送風機用保護装置		— 温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 50 / 45		
製 品 質 量		kg 335 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	乾球温度 17～28℃	
		室 外	湿球温度 -15～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(10) 蓄熱利用暖房機能付 - 4方向天井カセット形<ワイドパワーカセット>

セット形名			PLZ-P140IBA7-H-ST		PLZX-P140IBA7-H-ST		
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.54	2.54	2.51	2.51	
	蓄熱利用運転電流	A	8.14	8.14	8.05	8.05	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上		
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2		
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2		
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8		
	蓄熱利用暖房消費電力		5.21		5.15		
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.73		2.69		
	蓄熱非利用暖房運転電流		8.75		8.62		
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)				
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)				
	最 大 電 流	A	19.8	19.8	20.1	20.2	
	温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃				
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PL-ZRP140BA7		PL-ZRP71BA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	298×840×840		258×840×840		
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)		ターボファン×0.12kW×1		ターボファン×0.05kW×1		
	風 量	m³/min	静粛 22—弱 26—中 30—強 33		静粛 14—弱 16—中 18—強 21		
	風向調節	上下方向	30°～60°の間で5段階に設定可・スイング				
	運 転 音	dB	静粛 34—弱 38—中 41—強 44		静粛 28—弱 30—中 32—強 34		
	製 品 質 量	kg	26 + 6 (パネル)		22 + 6 (パネル)		
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)					
ドレン配管サイズ		VP-25					
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-G(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>				
	圧縮機	形式×出力×個数		全密閉×1.8kW×1			
		保護装置		吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m³/min	100				
	送風機用保護装置		温度開閉器				
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				
	製 品 質 量	kg	355 (蓄熱槽給水時 705)				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃				
		室 外	乾球温度 -20～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(11) 蓄熱利用暖房機能付 - 4方向天井カセット形<コンパクトタイプ>

セット形名			PLZX-P140IJA7-H-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.69	2.71
	蓄熱利用運転電流	A	8.62	8.69
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上	12.0以上
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2	11.2
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2	11.2
	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8	9.8
	蓄熱利用暖房消費電力		5.48	5.50
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.90	2.92
	蓄熱非利用暖房運転電流		9.30	9.36
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	66	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)	
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)	
	最 大 電 流	A	20.8	20.9
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名		PL-RP71JA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 307×660×660	
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)	
	送風機 (形式×出力×個数)		ターボファン×0.03kW×1	
	風 量		m³/min 静粛 14—弱 15—中 16—強 17	
	風向調節 上下方向		30° , 45° , 55° , 70° に設定可・スイング	
	運 転 音		dB 静粛 35—弱 36.5—中 38—強 39.5	
	製 品 質 量		kg 20 + 3.7 (パネル)	
ド レ ン パ ン		ABS 樹脂シート・発泡 PS (防カビ仕様)		
ドレン配管サイズ		VP-25		
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-G-(BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式×出力×個数	全密閉×1.8kW×1	
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m³/min 100	
	送風機用保護装置		温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 355 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃	
		室 外	乾球温度 -20～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(12) 蓄熱利用暖房機能付 — 2方向天井カセット形

セット形名			PLZ-P140ILA7-H-ST		PLZX-P140ILA7-H-ST		
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.87	2.91	2.65	2.67	
	蓄熱利用運転電流	A	9.17	9.29	8.49	8.54	
	力 率	%	90		91		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上		
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2		
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2		
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8		
	蓄熱利用暖房消費電力		6.17	6.21	5.42	5.44	
	蓄熱非利用暖房消費電力		3.24	3.28	2.84	2.86	
	蓄熱非利用暖房運転電流		10.35	10.48	9.09	9.15	
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)				
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)				
	最 大 電 流	A	23.3	23.7	20.8	21.0	
	温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃			
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PL-RP140LA7		PL-RP71LA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	290×1446×634		290×946×634		
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)		ターボファン×0.04kW×2		ターボファン×0.02kW×1		
	風 量	m³/min	弱 19—中 22—強 26		弱 9—中 11—強 12.5		
	風向調節	上下方向	水平より 0°、40°、60°、80° に設定可・スイング				
	運 転 音	dB	弱 38—中 41—強 44		弱 29—中 32—強 35		
	製 品 質 量	kg	47 + 12.5 (パネル)		27 + 7.5 (パネル)		
ド レ ン パ ン		ABS 樹脂シート・発泡 PS (防カビ仕様)					
ドレン配管サイズ		VP-25					
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>				
	圧縮機	形式×出力×個数		全密閉×1.8kW×1			
		保護装置		吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m³/min	100				
	送風機用保護装置		温度開閉器				
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				
	製 品 質 量	kg	355 (蓄熱槽給水時 705)				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52		主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2		
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88		主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃				
		室 外	乾球温度 -20～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃、湿球 19.0℃、外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 7.0℃、湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃、外気温度：乾球 2.0℃、湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音、A スケール、JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(13) 蓄熱利用暖房機能付 - 1方向天井カセット形

セット形名			PMZX-P140IFA7-H-ST	
電 源 / 三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.94	3.04
	蓄熱利用運転電流	A	9.39	9.66
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上	12.0以上
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2	11.2
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2	11.2
	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8	9.8
	蓄熱利用暖房消費電力		5.52	5.62
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.93	3.03
	蓄熱非利用暖房運転電流		9.36	9.63
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	66	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)	
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)	
	最 大 電 流	A	20.9	21.4
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ッ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PM-RP71FA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 225×1112×724	
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)	
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.095kW×1	
	風 量		m³/min 強 20—中 18—弱 16—静粛 14	
	風向調節	上下方向	15°～65° の範囲で5段階設定可能・スイング	
		左右方向	左右に各々45° の範囲で手動にて調整可 (別売部品)	
	運 転 音		dB 強 41—中 38—弱 35—静粛 32	
製 品 質 量		kg 26 + 6.5 (パネル)		
ドレン配管サイズ		VP-25		
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式×出力×個数	全密閉×1.8kW×1	
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m³/min 100	
	送風機用保護装置		温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 355 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃	
		室 外	乾球温度 -20～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(14) 蓄熱利用暖房機能付 — 天井ビルトイン形

セット形名			PDZ-P140IFA7-H-ST		PDZX-P140IFA7-H-ST		
電 源 / 三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.81	2.9	2.65	2.69	
	蓄熱利用運転電流	A	9.01	9.27	8.49	8.62	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上		
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2		
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2		
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8		
	蓄熱利用暖房消費電力		6.19	6.28	5.06	5.1	
	蓄熱非利用暖房消費電力		3.35	3.44	2.75	2.79	
	蓄熱非利用暖房運転電流		10.74	10.99	8.82	8.94	
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)				
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)				
	最 大 電 流	A	22.2	22.6	20.6	20.9	
	温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃				
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PD-RP140FA7		PD-RP71FA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	335×1510×775		295×1160×735		
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.135kW×1		シロッコファン×0.095kW×1		
	風 量	m³/min	弱 24—強 34		静粛 12.5—弱 14—中 16—強 18		
	風向調節	上下方向	オートベンなし				
	運 転 音	dB	弱 38—強 44		静粛 34—弱 36—中 38—強 40		
	製 品 質 量	kg	52 + 8.5 (パネル)		39 + 7 (パネル)		
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>				
	圧縮機	形式×出力×個数		全密閉×1.8kW×1			
		保護装置		吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m³/min	100				
	送風機用保護装置		温度開閉器				
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45				
	製 品 質 量	kg	355 (蓄熱槽給水時 705)				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52		主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2		
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88		主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃				
		室 外	乾球温度 -20～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(15) 蓄熱利用暖房機能付 - 天井埋込形

セット形名			PEZ-P140ICA7-H-ST		PEZX-P140ICA7-H-ST		
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5	
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.70	2.70	3.01	3.01	
	蓄熱利用運転電流	A	8.70	8.70	9.70	9.70	
	力 率	%	90		90		
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90		
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上		
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2		
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2		
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8		
	蓄熱利用暖房消費電力		5.23	5.23	5.33	5.33	
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.81	2.81	2.88	2.88	
	蓄熱非利用暖房運転電流		9.00	9.00	9.30	9.30	
	力 率	%	90		90		
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66		
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)				
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)				
	最 大 電 流	A	20.9	21.1	20.8	21.2	
	温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃			
室 内 ユ ニ ツ ト 一 台 分 の デ ー タ	室内ユニット形名		PE-RP140DA7		PE-RP71DA7×2台		
	外 形 寸 法	mm	250×1400×732		250×1100×732		
	外 装 色 (マンセル)		溶融亜鉛メッキ鋼板				
	補助電熱装置	kW	組込不可				
	エアフィルタ		合成繊維不織布 (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)				
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.244kW×1		シロッコファン×0.121kW×1		
	風 量	m³/min	弱 24—中 29—強 34		弱 14.5—中 18—強 21		
	風向調節	上下方向	—				
	運 転 音	dB	弱 35—中 39—強 43		弱 31—中 36—強 39		
	製 品 質 量	kg	38		29		
ド レ ン パ ン		ABS樹脂シート・発泡PS (防カビ仕様)					
ドレン配管サイズ		VP-25					
室 外 ユ ニ ツ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))				
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840				
	外 装 色 (マンセル)		〈5Y8 / 1〉				
	圧縮機	形式×出力×個数		全密閉×1.8kW×1			
		保護装置		吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1				
	風 量	m³/min	100				
	送風機用保護装置		温度開閉器				
運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45					
製 品 質 量	kg	355 (蓄熱槽給水時 705)					
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10				
	延長配管サイズ	液管外径	主管φ9.52・枝管φ9.52		主管φ9.52・枝管φ9.52×2		
		ガス管外径	主管φ15.88・枝管φ15.88		主管φ15.88・枝管φ15.88×2		
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃				
		室 外	乾球温度 -5～43℃				
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃				
		室 外	乾球温度 -20～15℃				

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(16) 蓄熱利用暖房機能付 ー 天吊形

セット形名			PCZ-P140IKA7-H-ST		PCZX-P140IKA7-H-ST	
電 源 / 三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.66	2.66	2.59	2.59
	蓄熱利用運転電流	A	8.50	8.50	8.20	8.20
	力 率	%	90		90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90	
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上	
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2	
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2	
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8	
	蓄熱利用暖房消費電力		5.53		5.39	
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.89		2.75	
	蓄熱非利用暖房運転電流		9.20		8.80	
	力 率	%	90		90	
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)			
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)			
	最 大 電 流	A	21	21	19.5	19.5
	温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃		
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名		PC-RP140KA7		PC-RP71KA7×2台	
	外 形 寸 法		mm 230×1600×680		230×1280×680	
	外 装 色 (マンセル)		ピュアホワイト<6.4Y 8.9 / 0.4>			
	補助電熱装置		kW 組込不可			
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)			
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.160kW×1		シロッコファン×0.095kW×1	
	風 量		m ³ /min 静粛 21-弱 24-中 27-強 31		静粛 14-弱 15-中 16-強 18	
	風向調節	上下方向	10°, 20°, 30°, 45°, 60° に設定可			
		左右方向	左右に各々 45° の範囲で手動にて調整可			
	運 転 音		dB 静粛 36-弱 39-中 42-強 44		静粛 31-弱 34-中 37-強 39	
製 品 質 量		kg 38		32		
ド レ ン パ ン		ABS 樹脂・発泡 PS				
ドレン配管サイズ		VP-20				
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))			
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840			
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>			
	圧縮機	形式×出力×個数	全密閉×1.8kW×1			
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1			
	風 量		m ³ /min 100			
	送風機用保護装置		温度開閉器			
	運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45			
	製 品 質 量		kg 355 (蓄熱槽給水時 705)			
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10			
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52		主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88		主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃			
		室 外	乾球温度 -5～43℃			
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃			
		室 外	乾球温度 -20～15℃			

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(17) 蓄熱利用暖房機能付 ー 床置形

セット形名			PSZ-P140IKA7-H-ST		PSZX-P140IKA7-H-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	2.70	2.70	2.62	2.60
	蓄熱利用運転電流	A	8.50	8.50	8.30	8.30
	力 率	%	90		90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105		105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90		12.90	
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上		12.0以上	
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2		11.2	
	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2		11.2	
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8		9.8	
	蓄熱利用暖房消費電力		5.49	5.49	5.46	5.46
	蓄熱非利用暖房消費電力		2.91	2.91	2.87	2.87
	蓄熱非利用暖房運転電流		9.20	9.20	9.10	9.20
	力 率	%	90		90	
	暖房蓄熱容量	MJ	66		66	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)			
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)			
	最 大 電 流	A	21.3	21.7	21.2	21.3
	温 度 設 定 (リモコン)		冷房・ドライ 19～30℃ / 暖房 17～28℃			
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の テ ー タ)	室内ユニット形名		PS-RP140KA7		PS-RP71KA7×2台	
	外 形 寸 法	mm	1900×600×350		1700×470×270	
	外 装 色 (マンセル)		ホワイト<0.70Y 8.59 / 0.97>			
	補助電熱装置	kW	組込不可			
	エアフィルタ		PP ハニカム (ロングライフ、抗菌・防カビ仕様)			
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.16kW×1		シロッコファン×0.05kW×1	
	風 量	m³/min	弱 24—中 27—強 30		弱 13—中 14—強 15	
	風向調節	上下方向	手動：冷房・除湿時は正面吹出し / 上吹出し、暖房時は下吹出し			
		左右方向	任意方向に設定可能・スイング			
	運 転 音	dB	弱 44—中 47—強 49		弱 38—中 41—強 43	
製 品 質 量	kg	48		34		
ド レ ン パ ン		ABS樹脂・発泡 PS				
ドレン配管サイズ		VP-20				
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))			
	外 形 寸 法	mm	1755×1690×840			
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>			
	圧縮機	形式×出力×個数	全密閉×1.8kW×1			
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路			
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1			
	風 量	m³/min	100			
	送風機用保護装置		温度開閉器			
	運 転 音 (空調/蓄熱)	dB	48 / 45			
	製 品 質 量	kg	355 (蓄熱槽給水時 705)			
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A×10			
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52		主管 φ9.52・枝管 φ9.52×2	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88		主管 φ15.88・枝管 φ15.88×2	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃			
		室 外	乾球温度 -5～43℃			
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃			
		室 外	乾球温度 -20～15℃			

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側：乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度：乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側：乾球 20.0℃, 外気温度：乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件：無響音、A スケール、JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

(18) 蓄熱利用暖房機能付 ー 厨房用天吊形

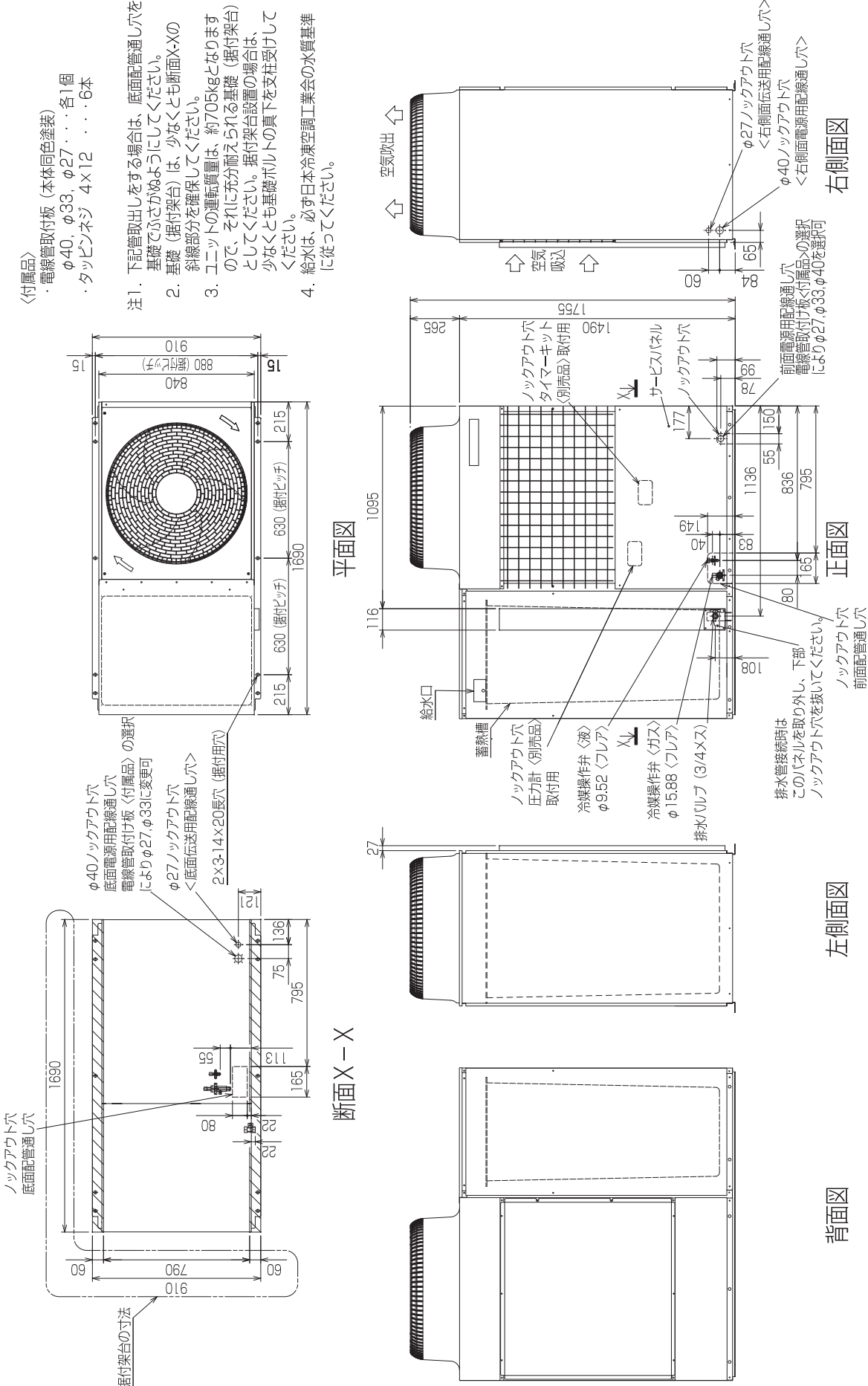
セット形名			PCZ-P140IHA7-H-ST	
電 源/三相・200V			50Hz	60Hz
冷 房 性 能	蓄熱利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱非利用冷房能力	kW	12.5	12.5
	蓄熱利用冷房消費電力	kW	3.03	3.07
	蓄熱利用運転電流	A	9.69	9.81
	力 率	%	90	
	冷房蓄熱容量	MJ	105	
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	12.90	
	蓄熱利用暖房能力	kW	12.0以上	12.0以上
	蓄熱非利用暖房能力	kW	11.2	11.2
暖 房 性 能	蓄熱非利用暖房低温能力1	kW	11.2	11.2
	蓄熱非利用暖房低温能力2 (-10℃)	kW	9.8	9.8
	蓄熱利用暖房消費電力		6.05	6.09
	蓄熱非利用暖房消費電力		3.24	3.28
	蓄熱非利用暖房運転電流		10.36	10.48
	力 率	%	90	
	暖房蓄熱容量	MJ	66	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	6.50 (外気温度 0℃ DB/-1℃ WB)	
		kWh	14.0 (外気温度 -20℃ DB/-20℃ WB)	
	最 大 電 流	A	23	23.2
温 度 設 定 (リモコン)			冷房・ドライ 19～30℃/暖房 17～28℃	
室 内 ユ ニ ッ ト (一 台 分 の デ ー タ)	室内ユニット形名		PC-RP140HA7	
	外 形 寸 法		mm 280×1520×650	
	外 装 色 (マンセル)		ステンレス (ヘアライン仕上げ)	
	補助電熱装置		kW 組込不可	
	エアフィルタ		合成繊維不織布	
	送風機 (形式×出力×個数)		シロッコファン×0.080kW×2	
	風 量		m ³ /min 弱 30—強 38	
	風向調節	上下方向	手動調整可	
		左右方向	手動調整可	
	運 転 音		dB 弱 44—強 50	
	製 品 質 量		kg 56	
ド レ ン パ ン		鋼板		
ドレン配管サイズ		VP-25		
室 外 ユ ニ ッ ト	室外ユニット形名		PUZ-P140IGA-H(-BS(G))	
	外 形 寸 法		mm 1755×1690×840	
	外 装 色 (マンセル)		<5Y8 / 1>	
	圧縮機	形式×出力×個数	全密閉×1.8kW×1	
		保護装置	吐出温度検知、過電流検知回路	
	送風機 (形式×出力×個数)		プロペラファン×0.16kW×1	
	風 量		m ³ /min 100	
	送風機用保護装置		温度開閉器	
運 転 音 (空調/蓄熱)		dB 48 / 45		
製 品 質 量		kg 355 (蓄熱槽給水時 705)		
共 通 事 項	冷 媒		kg R410A×10	
	延長配管サイズ	液管外径	主管 φ9.52・枝管 φ9.52	
		ガス管外径	主管 φ15.88・枝管 φ15.88	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	湿球温度 15～24℃	
		室 外	乾球温度 -5～43℃	
	暖 房	室 内	湿球温度 17～28℃	
		室 外	乾球温度 -20～15℃	

- (注) 1. 運転特性は JISB8625 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力 (室内側: 乾球 27.0℃, 湿球 19.0℃, 外気温度: 乾球 35.0℃)
 定格暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 7.0℃, 湿球 6.0℃)
 低温暖房能力 (室内側: 乾球 20.0℃, 外気温度: 乾球 2.0℃, 湿球 1.0℃)
 2. 測定条件: 無響音, A スケール, JIS 規格に準ずる。
 3. 最大電流値は使用空気温度範囲内で想定される最大電流です。

IV 外形寸法図

[1] 室外ユニット <PUZ-P140IGA(-H)>

IV 外形寸法図



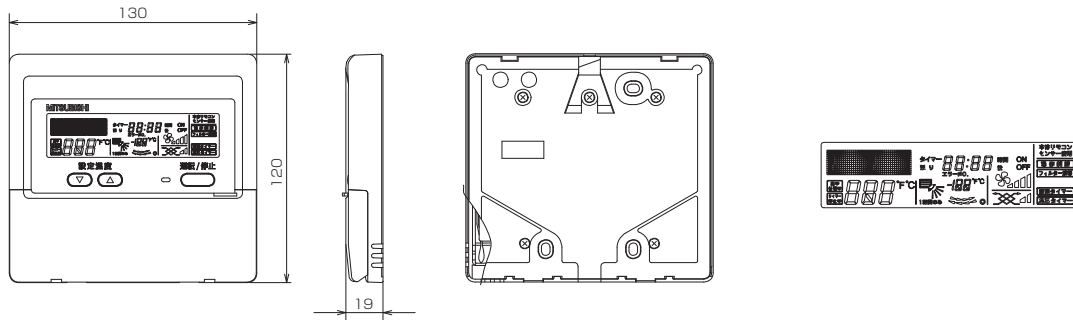
単位:mm

[2] 室内ユニット

外形寸法図は「各室内ユニットの据付工事説明書」あるいは「スリム ZR/ER/ 冷房専用シリーズ技術マニュアル」をご覧ください。

[3] リモコン

■ MA リモコン PAR-26MA1

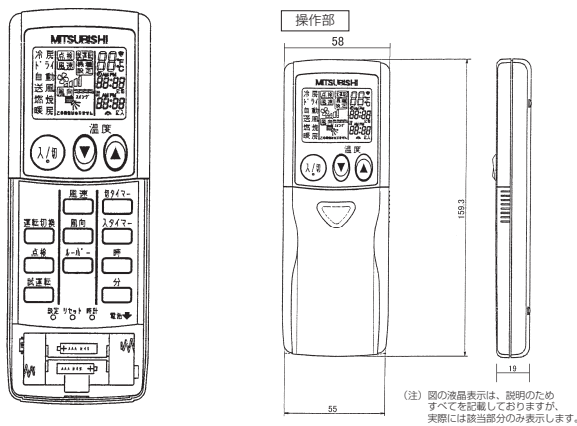


■仕様表

項目	内容
外形寸法(H×W×D)	120×130×19 mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	ビュアホワイト (マンセル6.4Y8.9/0.4)
据付方法	JISC8340の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または、壁に直付け。 MAリモコン線は、無極性2線でMAリモコン専用端子に接続。 別売品リモコンケーブル PAC-YT81HC(10m) PAC-YT82HC(20m)

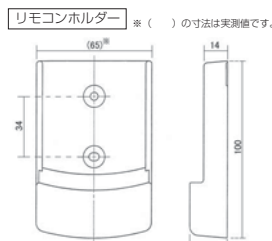
■ワイヤレスリモコン

<操作部> PAR-SC9SA

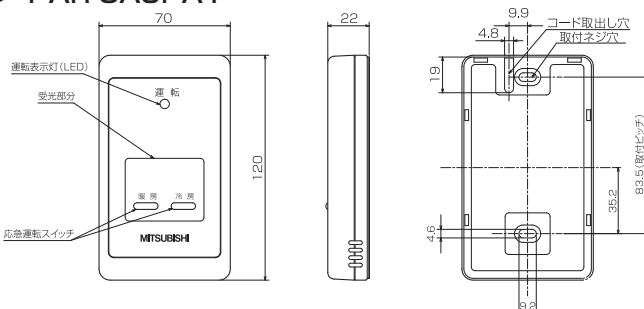


■操作部仕様表

項目	内容
タイマー機能	10分単位で開始・終了時刻を各々設定・表示/1日
電源	DC3V(単4アルカリ電池 2本使用(付属))
使用環境条件	温度: 0~40℃ 湿度: 30~90%RH(結露なきこと)
外形寸法	H159.3×W58×D19
外装	ホワイト(ABS樹脂)
据付方法	付属リモコンホルダーを壁面に直付け
付属品	単4アルカリ乾電池2本・リモコンホルダーと 取付用ネジ(4.1×16 2本)



<受光部> PAR-SA9PA1



■受光部仕様表

項目	内容
運転表示	運転時: LED(緑色)点灯表示、異常: LED(緑色)点滅表示
応急運転	冷房・暖房ボタン(運転/停止) 装備
外形寸法(mm)	本体H120×W70×D22
ユニット制御台数	1グループ最大16冷媒系統 (但し1冷媒系統毎に1台以上ワイヤレス受光部を設置してください)
アダプタ配線	コネクタ付9芯コード5m(付属)の範囲で室内ユニット制御基板 上のコネクタ(CN90)に接続
受光範囲	受光部正面より45°の範囲で7m以内(条件により異なります。)
使用環境条件	温度: 0~40℃ 湿度: 30~90% (結露なきこと)
外装	ホワイトグレー (マンセル4.48Y 7.92/0.66) ABS樹脂
据付方法	天井据付用金具による据付(据付穴φ50) 1個用スイッチボックス(JIS C8340)に取付け、または直付け
付属品	コネクタ付コード5m、天井据付用金具 取付用ネジ(M4×30 2本、4.1×16 2本)

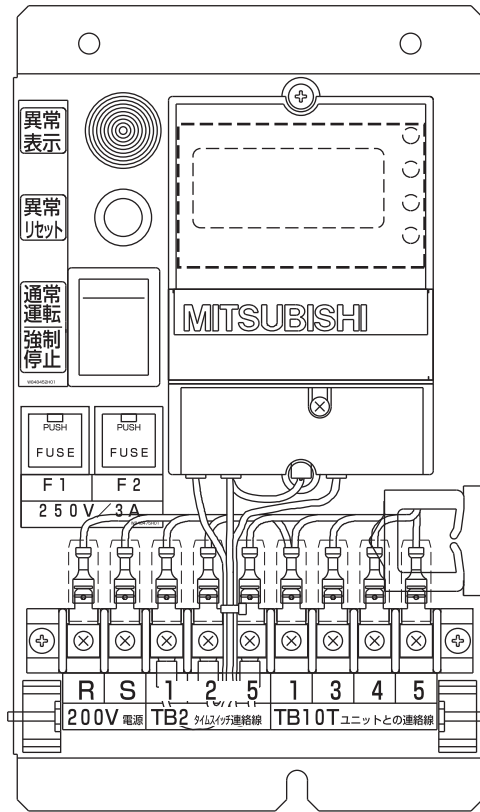
[4] タイマーキット

■ PAC-KB67TT (タイマーキット)

タイマーキット外形図

形名 PAC-KB67TT

IV 外形寸法図

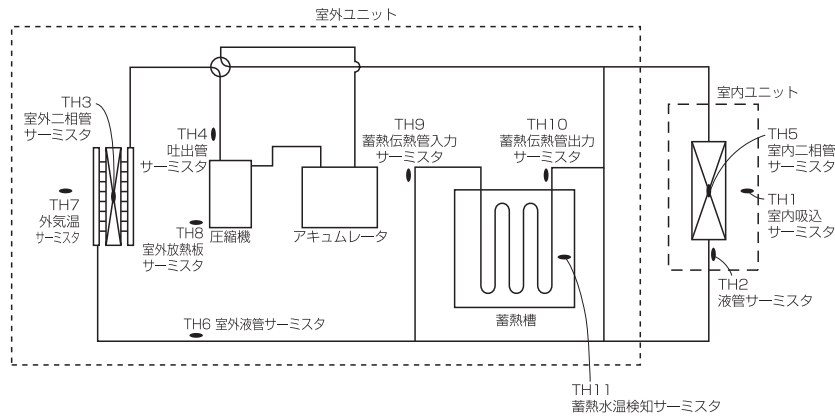


■仕様表

項目	内容
プログラム周期	24時間(標準デイリータイマーの場合)
蓄冷熱運転回数	1回/日
蓄冷熱運転開始時刻	1:00
蓄冷熱運転時間(幅)	5時間
外部信号入力	異常表示入力
電源定格	AC200V 50/60Hz
時計精度	月差15秒(+20℃において)
停電補償時間	10年(+20℃において、停電率50%以下)
使用温度範囲	-15℃～43℃

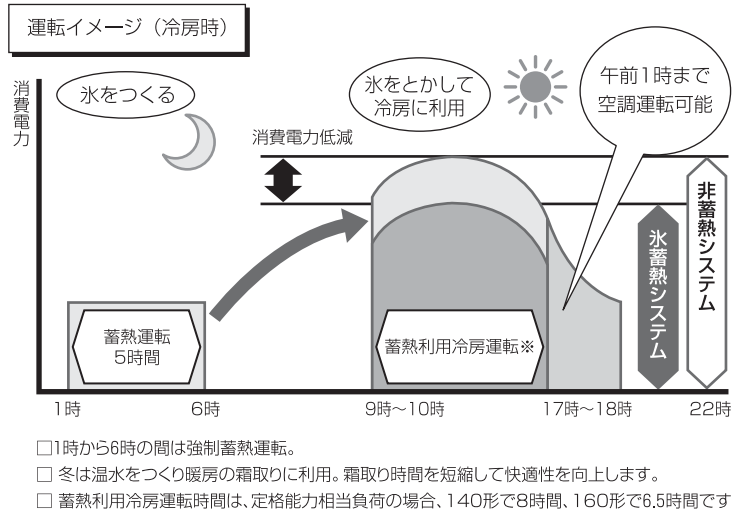
V 冷媒回路動作図

[1] 冷媒回路図



[2] 動作概要

本製品は、夜間に蓄熱（蓄冷、蓄温）を行い、蓄冷熱は昼間の冷房運転に、蓄温熱は暖房のデフロスト運転に利用します。



(1) 冷房蓄熱運転（蓄冷運転）

- 蓄冷運転の開始／終了は別売のタイマーキットにより設定されます。（工場出荷時は開始時刻 AM1:00、蓄熱時間は5時間）
- 蓄冷運転中（タイマーキットによる開始時刻から終了時刻まで）は室内機の運転（冷房、暖房、送風）はできません。（リモコンに“集中管理中”の表示がでて、操作が効きません）
- 蓄冷運転時間は最大5時間ですが、昼間の蓄冷利用量（氷の消費量）に応じて実際の蓄熱運転は短くなる場合があります。ただし、短時間で終了していても、タイマーキットで設定される蓄熱時間帯は通常の運転できません。

(2) 暖房蓄温運転（デフロスト用）

- 蓄温運転の開始／終了は蓄冷運転と同様に、タイマーキットにより設定されます。但し、蓄温運転は最大2時間で終了します。（2時間以降、タイマーキットで蓄熱時間帯となっている間は室内機の運転はできません）

(3) 冷房運転

冷房運転は夜間の蓄熱を利用した蓄熱利用冷房運転から開始します。

蓄熱利用時間は、定格能力相当の空調負荷の場合、

140形：8時間

160形：6.5時間

ですが、定格能力より負荷が大きいとより短い時間で蓄冷量がなくなり、蓄熱利用冷房運転を終了することがあります。そして自動的に圧縮機だけで行う圧縮機冷房運転に切り替ります。

なお、ピークアジャスト機能を用いることにより、はじめに蓄熱利用冷房運転を開始するタイミングをずらすことが可能です。（この場合、圧縮機冷房運転から開始します）

[V 冷媒回路動作図]

※ ピークアジャスト機能

- ・ 夜間の蓄冷運転が終了した後、蓄冷利用冷房運転を開始する時間を所定時間遅らせる機能です。
- ・ 遅らせる時間の起点は、初めて冷房運転を開始するタイミングです。
- ・ 室外機の DIP SW5-5 ～ 7 の設定により次のように選択できます。

SW5-5	SW5-6	SW5-7	ピークアジャスト時間
OFF	OFF	OFF	0 時間 (出荷時設定)
ON	OFF	OFF	2 時間
OFF	ON	OFF	4 時間
ON	ON	OFF	7 時間

SW5-5 ～ 5-7 の設定変更は次のいずれかの状態で実施してください。

- ① 電源投入前
- ② 蓄冷中
- ③ 蓄冷終了後、初めて運転開始するまで (一旦冷房で運転開始したあとに SW を変更した場合には、翌日から設定変更となります)

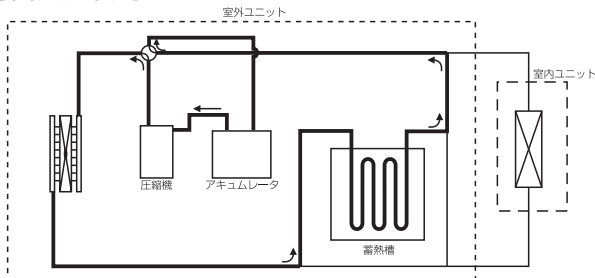
- ・ ピークアジャスト時間には、圧縮機停止時間を含みます。
- ・ 圧縮機運転中にピークアジャスト設定時間に達したときは、圧縮機は運転したまま、蓄冷利用冷房運転に切り替ります。

(4) 暖房運転

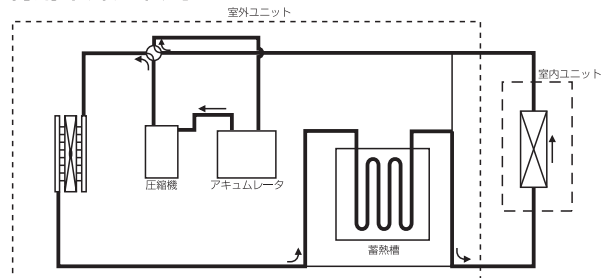
暖房運転は圧縮機だけで行います。ただし、デフロスト運転の場合、夜間に蓄温した熱を利用した運転を行います。(デフロストを繰り返すうちに蓄熱槽の水温が低下した場合には蓄熱槽を用いないデフロスト運転となります)

[3] 冷媒の流れ

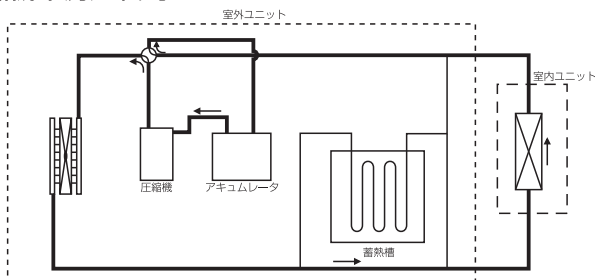
<冷房蓄熱運転時>



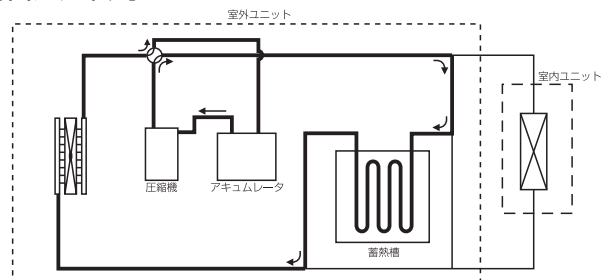
<蓄冷利用冷媒運転時>



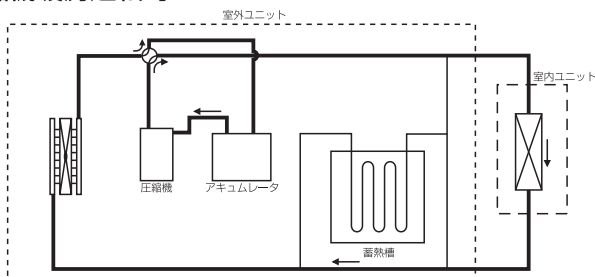
<圧縮機冷房運転時>



<暖房蓄温運転時>



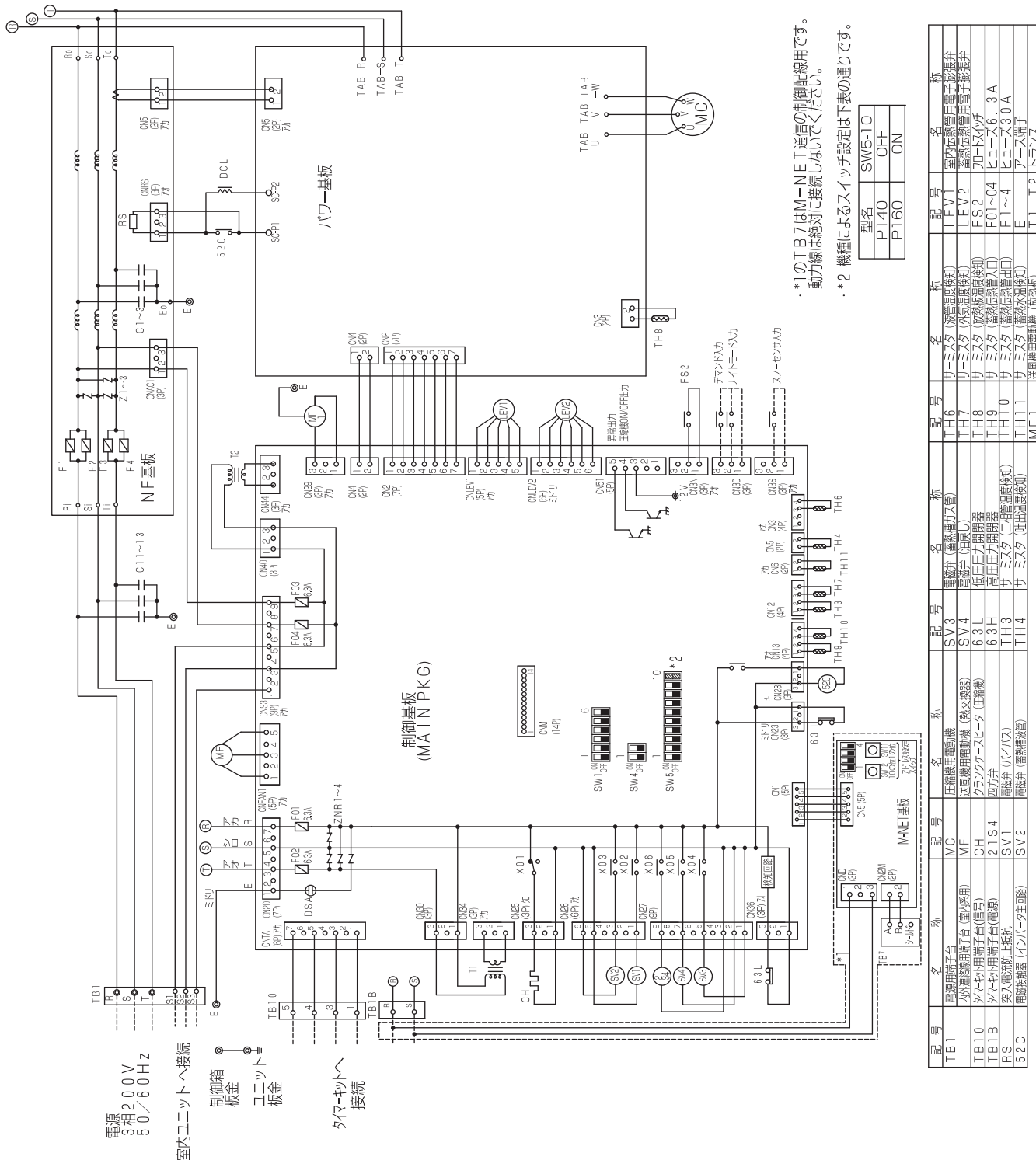
<圧縮機暖房運転時>



VI 電気配線図

[1] 室外ユニット

PUZ-P140IGA(H), PUZ-P160IGA(H)



*1 0.TB7はM-NET通信の制御配線用です。
動力線は絶対に接続しないでください。

*2 機種によるスイッチ設定は下表の通りです。

型名	SW5-10
P140	OFF
P160	ON

記号	名称	記号	名称	記号	名称
TB1	電源用端子台	MC	圧縮機用電動機	SV3	電磁弁 (蒸発側開放)
TB10	内外接続用端子台 (室内採用)	MF	送風機用電動機 (熱交換器)	SV4	電磁弁 (油戻し)
TB11	ターボ用端子台 (通信)	CH	クラップカーベータ (圧縮機)	TH6	高圧力用閉鎖器
TB12	ターボ用端子台 (電源)	21S4	四方弁	TH8	低圧力用閉鎖器
RS	突入電流防止抵抗	SV1	電磁弁 (1/41/2)	TH9	高圧力用閉鎖器
S2C	電圧検出器 (インバータ主回路)	SV2	電磁弁 (蒸発側液管)	TH10	ターミスタ (二相温度検知)
				TH11	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH12	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH13	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH14	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH15	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH16	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH17	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH18	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH19	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH20	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH21	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH22	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH23	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH24	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH25	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH26	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH27	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH28	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH29	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH30	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH31	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH32	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH33	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH34	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH35	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH36	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH37	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH38	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH39	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH40	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH41	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH42	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH43	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH44	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH45	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH46	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH47	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH48	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH49	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH50	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH51	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH52	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH53	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH54	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH55	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH56	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH57	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH58	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH59	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH60	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH61	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH62	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH63	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH64	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH65	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH66	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH67	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH68	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH69	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH70	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH71	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH72	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH73	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH74	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH75	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH76	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH77	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH78	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH79	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH80	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH81	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH82	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH83	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH84	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH85	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH86	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH87	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH88	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH89	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH90	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH91	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH92	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH93	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH94	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH95	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH96	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH97	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH98	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH99	ターミスタ (吐出温度検知)
				TH100	ターミスタ (吐出温度検知)

[2] 室内ユニット

電気配線図は「リプレースインバータ技術マニュアル」をご覧ください。
(各室内ユニットの制御箱カバーの裏側にもあります。)

VII 据付工事

[1] 据付場所の選定

室外ユニットは、下記条件を考慮して据付け位置を選定してください。

- 他の熱源から直接ふく射熱を受けないところ。
 - ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
 - 強風が吹きつけないところ。
 - 本体の質量に充分耐えられる強度のあるところ。
 - 運転時には、ユニットからドレンが流れますのでご注意ください。
 - 下図に示すサービス、風路スペースがあるところ。
- なお、可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれがある場所では、火災をおこす危険性がありますので設置しないでください。
- 酸性の溶液や特殊なスプレー（イオウ系）を頻繁に使用する場所は避けてください。
 - 外気 10℃以下にて冷房運転を実施する可能性がある場合は、ユニットの安定した運転を得るためにユニットに直接雨が当たらない場所を選定するか、吹出ダクト、吸込ダクトを取りつけるようにしてください。
 - 油、蒸気、硫化ガスの多い特殊環境では使用しないでください。

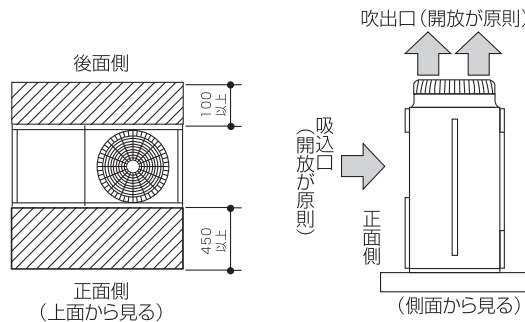
⚠ 注意

本ユニットは冷暖房運転時以外に夜間蓄冷熱運転しますので、ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないように据付場所を選定してください。また場合によっては防音壁等の防音対策を行ってください。

[2] ユニットの周囲必要空間

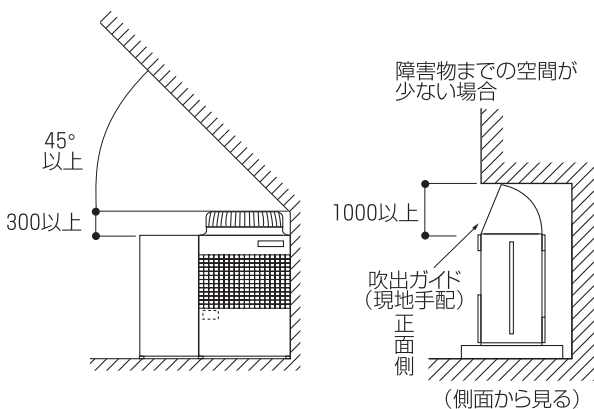
必要空間の基本

後面側は中央の据付ボルトを締め付けるため 100mm 程度必要ですが、後面からのサービス等を考慮した場合、前面同様 450mm 程度開けた方が便利です。

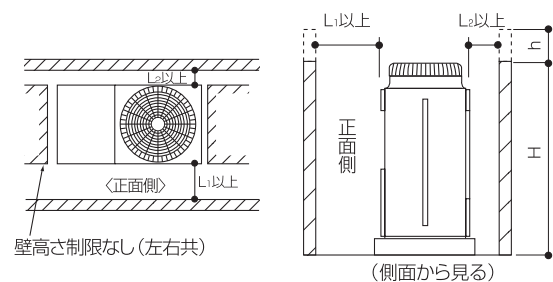


(1) 単独設置の場合

< ユニットの上方に障害物がある場合 >

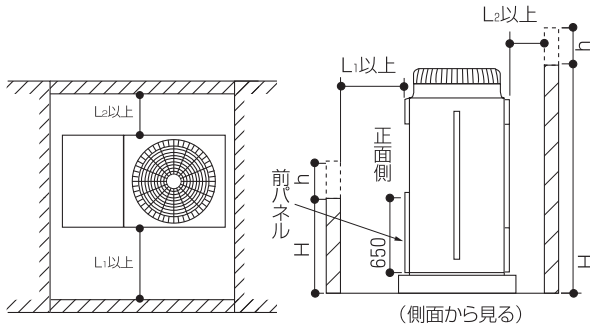


< ユニット左右から吸込空気が入る場合 >



(注) ・前、後の壁高さ H は、ユニット全高以下としてください。
 ・ユニットの全高を越える場合は、上図の h 寸法を下記 L1、L2 に加算してください。
 L1 : 450、L2 : 100
 …例 : h = 100 の場合、L1 = 450 + 100 = 550

<ユニット周囲が壁の場合>

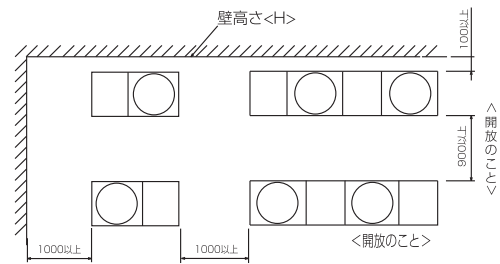
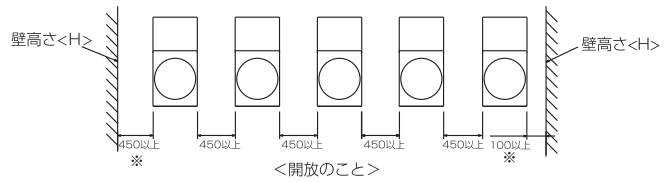
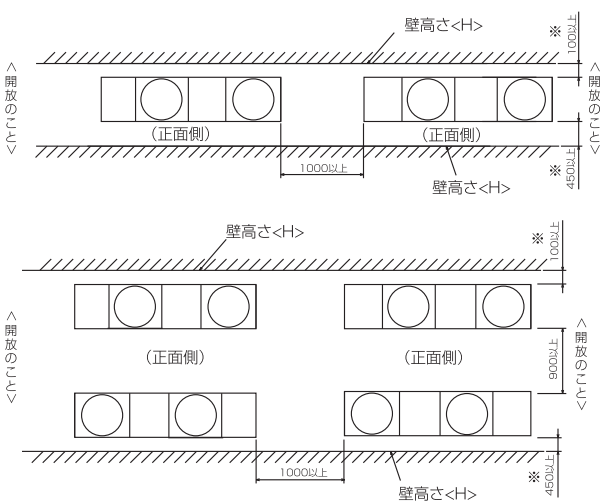


- 前の壁高さ H は前パネルの高さ以下としてください。
- 前パネルの高さを越える場合は、左図の h 寸法を下記 L1、L2 に加算してください。
L1 : 450、L2 : 100
…例 : h = 100 の場合、L1 = 450 + 100 = 550

(2) 集中設置・連続設置の場合

多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、各ブロックに下図スペースをとってください。

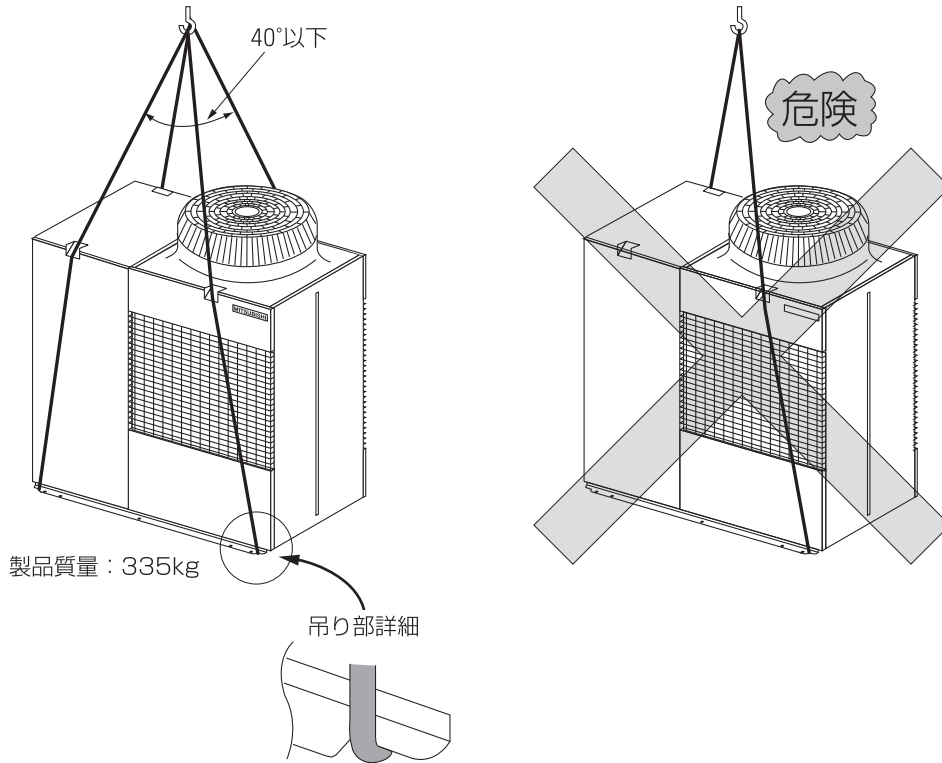
<開放のこと>



- 2 方向は開放としてください。
- 壁高さ <H> がユニットの全高を越える場合は、※ 印の寸法に h 寸法 (h = 壁高さ <H> - ユニット全高) を加えてください。
- ユニット前後に壁がある場合は、側面方向への連続設置は最大 3 台とし、3 台毎に吸込スペース兼通路スペースとして 1000mm 以上とってください。

[3] 製品吊り下げ方法と製品質量

- 製品を吊り下げて搬入する場合は、ロープをユニットの下に通し、前後各2ヶ所の吊り部を使用してください。
- ロープは必ず4ヶ所吊りとし、ユニットに衝撃を与えないようにしてください。
- ロープ掛けの角度は、下図のように40°以下にしてください。
- ロープは8m以上のものを2本使用してください。
- 水を入れた状態で吊り下げないでください。(満水時質量：約705kg)



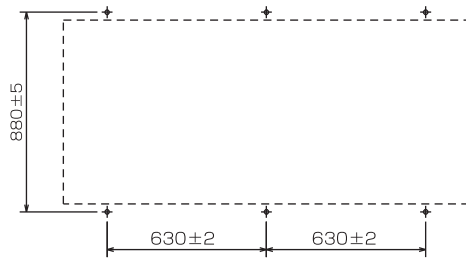
⚠ 注意

製品の運搬には十分注意してください。

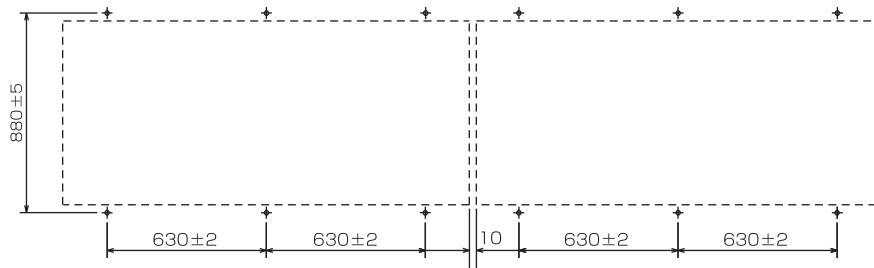
- 20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- 梱包用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故等の原因になります。
- ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置にて吊り下げてください。また、適宜ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

(1) アンカーボルト位置

単独設置例



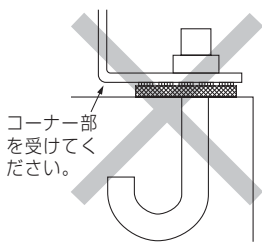
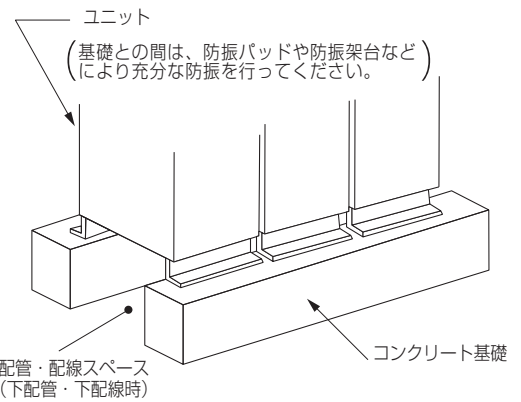
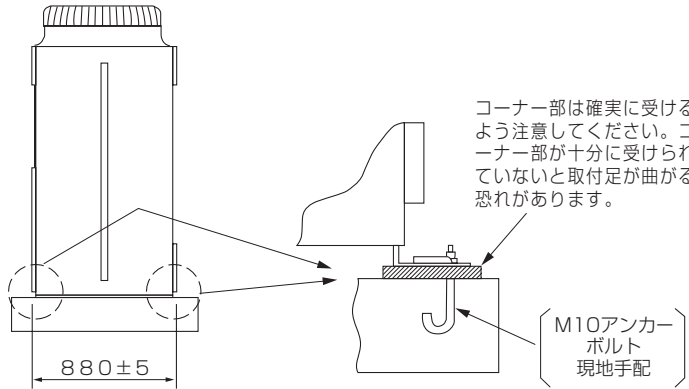
集中設置例



集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。

(2) 据付け

- ユニットが地震や突風などで倒れないように、下図のようにボルトで強固に固定してください。
- ユニットの基礎は、コンクリートまたはアングル等の強固な基礎としてください。
- 据付条件によっては、振動が据付部から伝搬し、床や壁面から、騒音や振動が発生する場合がありますので、十分な防振工事（防振パッド、防振架台など）を行なってください。



警告

据付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニット落下により、けがの原因になります。

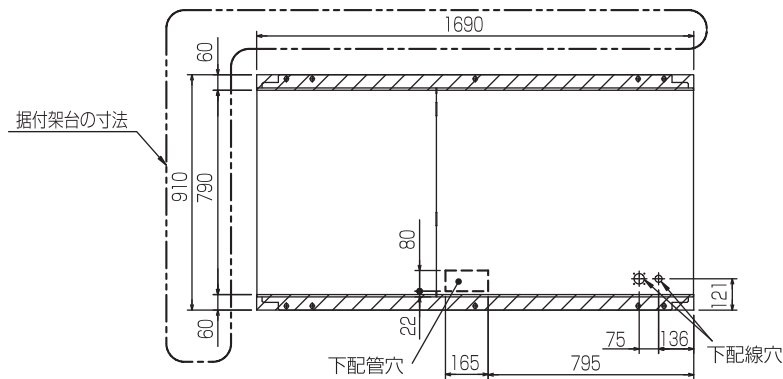
警告

台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になることがあります。

基礎施工に際しましては床面強度、ドレン水処理（運転時にはドレン水が機外に流出します）、配管、配線の経路に十分留意してください。ドレン水が問題となる場合には、別売のドレンパン（PAC-KK91DP）を使用するなどして、対応してください。

〈下配管、下配線時の注意〉

下配管または下配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。また、下配管する時にはユニットの底下に配管が通るように 100 mm以上の高さの基礎を設けてください。



〈基礎（据付架台）についてのお願い〉

基礎（据付架台）は、少なくとも斜線部分を確保してください。ユニットの運転質量は、約 705kg となりますので、それに充分耐えられる基礎（据付架台）としてください。据付架台設置の場合は、少なくとも基礎ボルトの真下を支柱受けしてください。

〈雪・季節風に対する注意〉

寒冷地域や積雪の予想される地域におきましては、冬季にユニットを正常に運転するために、十分な防風、防雪対策が必要です。その他の地域におきましても季節風や降雪の影響による異常運転を防止するために、ユニットの設置に際して十分な配慮をお願いいたします。また外気 10℃以下にて冷房運転を実施する場合でユニットに直接風・雨・雪が当たる場合は、ユニットの安定した運転を得るために、ユニットに吹出ダクト、吸込ダクトを取りつけるようにしてください。

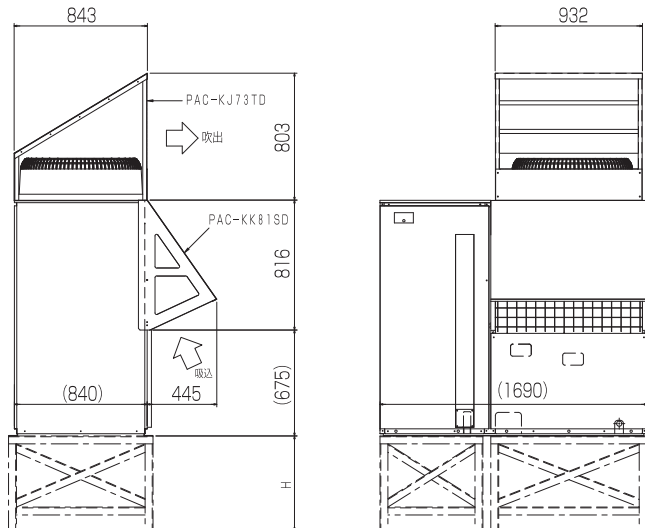
(1) 寒冷地域・積雪地域での防風・防雪

■ 寒冷地域・積雪地域での防風・防雪

下図に防雪フード組込図を示しますので参考にしてください。

オプション部品	形名
防雪フード 吹出ダクト	PAC-KJ71TD
防雪フード 吸込ダクト	PAC-KK81SD

●防雪フード組込図



(注) ①防雪架台の高さHは、予想される積雪量の2倍程度としてください。また、架台はアングル鋼材等で組立て、風雪の素通りする構造とし、架台の幅はユニットの寸法より大きくならないように決定してください。〈大きくするとその上に積雪します。〉

②ユニット設置時季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように配慮してください。

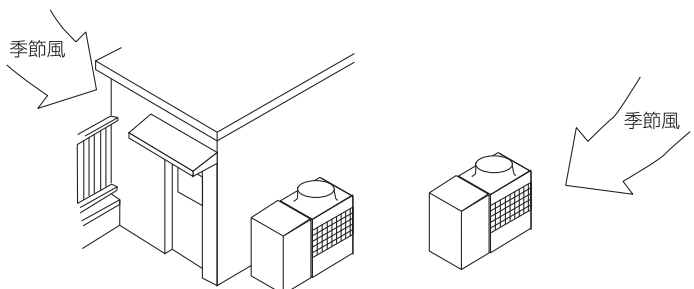
③本図を参考として現地に架台の製作、施工を実施してください。

材質：亜鉛メッキ鋼板
塗装：ポリエステル粉体全面塗装
色：マンセル 5Y8/1(本体同色)

④寒冷地域での使用で、外気が氷点下以下の暖房運転を連続的に長期間使用する場合には、ユニットベースへのヒータ取付等を適宜行ない、ベース上の氷結を防止するようにしてください。

(2) 季節風対策

右記例を参考にして据付場所の実情に応じた適当な措置を施してください。



[4] 冷媒配管工事

配管接続は室外ユニットからの冷媒配管を末端で分岐し各室内ユニットに接続する端末分岐方式になっています。配管接続方法は、室内ユニット、室外ユニットともフレア接続になっています。また分岐部はロウ付接続です。

⚠ 警告

火気使用中に冷媒ガス(R410A)を漏らさないように注意してください。冷媒ガスがガスコンロ等の火に触れると分解して、有毒ガスを発生させガス中毒の原因になります。溶接作業は密閉された部屋で実施しないでください。また冷媒配管工事完了後、ガス漏れ検査を実施してください。

(1) R410A 機種特有の注意事項

本ユニットは、新冷媒 R410A を採用しています。冷媒配管工事は、基本的には R22 と同様ですが、異なる冷凍機油との混合を避けるために専用工具の準備が必要です。また、R410A は R22 に比べ約 1.6 倍作動圧力が高くなりますので、フレア部、フレアナットのサイズが異なります。

■配管材料・肉厚

冷媒配管は、JISH3300「銅、及び銅合金断目無管」のC1220のりん脱酸銅を使用してください。R410AはR22に比べ作動圧力が上がるため、必ず下記肉厚のものを使用してください。

(肉厚0.7mmの薄肉品の使用は禁止)

配管径と肉厚 (mm)

配管外径	R410A (第2種)	R22 (第1種)
9.52	0.8	0.8
15.88	1.0	1.0

・配管部材への表示

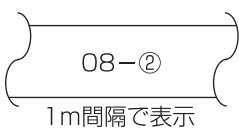
新冷媒対応の配管部材は断熱材表面に「銅管肉厚」、「対応冷媒」の記号が表示されています。

銅管肉厚の表示

対応冷媒の表示

肉厚 [mm]	表示記号	対応冷媒	表示記号
0.8	08	1種 R22,R407C	①
1.0	10	2種 R410A	②

<断熱材への表示例>



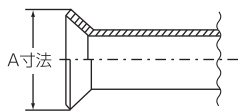
梱包外装でも識別できるように、表示されていますので、確認してください。

<外装ケースの表示例>

②	: 1種、2種兼用タイプ
対応冷媒	: R22,R407C,R410A
銅管口径×肉厚	: 6.35×0.8、9.52×0.8

■フレア加工 (O材、OL材のみ)

R410Aのフレア加工寸法は、より気密性を高め強度を増すために、R22より大きくなります。

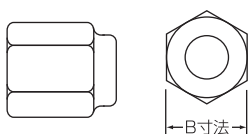


フレア加工寸法 (mm)

配管外径	A寸法 (±0.4)	
	R410A	R22
9.52	13.2	13.0
15.88	19.7	19.4

■フレアナット

フレアナットの対辺寸法も強度を増すために、サイズを変更しているものがあります。



フレアナット寸法 (mm)

配管外径	B寸法	
	R410A (第2種)	R22 (第1種)
9.52	22	22
15.88	29	27

■R410A用工具 (従来工具の使用可否)

工具・材料	用途	R22工具の使用	R407C工具の使用
ゲージマニホールド	真空引き・冷媒充填及び運転チェック	×	×
チャージホース			
ガス漏れ検知機	冷媒漏れチェック	×	○ (HFC系冷媒対応)
冷媒回収機	冷媒の回収	×	×
冷媒ポンベ	冷媒充填	×	×
塗布油	フレア部へ塗布	×	○ エステル油、アルキルベンゼン油 (最小限)
セーフティチャージャー	液冷媒を霧状にし、充填時の圧縮機故障を防止	×	×
チャージバルブ	チャージホース取外し時、ガスの吹出しを防止	×	×
真空ポンプ	真空乾燥	△ 逆流防止アダプタを取付ければ使用可	△ 逆流防止アダプタを取付ければ使用可
冷媒ポンベ用チャージ口	冷媒充填	×	×
逆流防止付真空ポンプ	真空乾燥	○	○
フレアツール	配管のフレア加工	△ 出し代調整で使用可	△ 出し代調整で使用可
ベンダー	配管の曲げ加工	○	○
パイプカッター	配管の切断	○	○
溶接機・窒素ポンベ	配管の溶接	○	○
冷媒充填ハカリ	冷媒充填	○	○
真空計またはサーミスタバキュームゲージとバキュームバルブ	真空度確認 (バキュームバルブはサーミスタバキュームゲージへの油、冷媒の逆流を防止)	○	○
チャージングシリンダ	冷媒充填	×	-

×: 新規に準備 (R410A専用として使い分け) △: 一部条件はあるが使用可 ○: 共用可能

○R410A用ゲージマニホールド

R22、R407Cの誤封入を防止するため、各部のネジ径を変更しています。また、見分けが付くように指定色（桃色）表示を施しています。

○R410A用チャージホース

ゲージマニホールドと同様に各部のネジ径を変更しています。また、高耐圧仕様にしています。

サービスポートサイズ

R22・R407C	1/4フレア	7/16UNF・20山
R410A	5/16フレア	1/2UNF・20山

○ガス漏れ検知機

従来冷媒（R22）検出用リークテスタではHFC系冷媒（R410A、R407C）の検出精度が低いため、HFC系冷媒用のリークテスタが必要となります。

○逆流防止付真空ポンプ

真空ポンプに逆流防止機構を取り付けることで、真空ポンプが何等かの原因で停止した際に、真空ポンプオイルが冷媒回路に入ってしまうことを防止します。逆流防止アダプタを使用すれば従来のR22用真空ポンプをそのまま使用することが出来ます。

○サーミスタバキュームゲージ

正確な到達真空度の確認およびリークチェックにより、確実な作業ができ、真空乾燥の正確な完了時期が把握できます。サーミスタバキュームゲージの代替として真空計を使用する場合は、冷媒の圧力が真空計にかからないよう、又、油の逆流防止のため必ずバキュームバルブを使用してください。

(2) 一般注意事項

- ① 市販の銅管にはゴミが入っている場合がありますので、乾燥した不活性ガスにて吹き飛ばしてください。
- ② 配管加工、または配管工事中に配管の中にゴミや水分を入れないでください。
- ③ 曲げ箇所は、できるだけ少なくし、曲げ半径は、できるだけ大きくしてください。
- ④ 指定冷媒配管が分岐管の径と異なる場合、異径接手を使用して径をあわせて使用してください。
- ⑤ 冷媒配管制限（許容長さ、高低差、配管径）は必ず守ってください。故障や冷暖房不良の原因となります。
- ⑥ ロウ材は、JIS 指定品の良質なものを使用してください。
- ⑦ 冷媒によるエアパージは絶対に行わないでください。必ず真空ポンプによる真空引きを行なってください。
- ⑧ 配管の断熱を正しく行ってください。不十分な場合、冷暖房不良や露タレ等によって思わぬトラブルが発生する事があります。（(6) 冷媒配管の断熱（42 ページ）をご覧ください）
- ⑨ 冷媒配管の接続は室外ユニットのボールバルブ、ストップバルブを全閉（工場出荷時仕様）のままとし、室内・室外ユニットと冷媒配管を全て接続して、冷媒洩れ試験、真空引き作業が終了するまで操作しないでください。
- ⑩ 配管接続の際は、必ず無酸化ロウ付を行ってください。無酸化ロウ付を行わないと、圧縮機の破損につながる恐れがあります。（配管接続及びバルブ操作の詳細は 39 ページをご覧ください。）
- ⑪ 雨天時に室外ユニットの配管接続作業はしないでください。

⚠ 警告

据付けや移設の場合は、機器に表示されている冷媒(R410A)以外の異なった冷媒を入れないでください。

- 異なった冷媒や空気等が混入すると、冷凍サイクルが異常となり、破裂等の原因になります。

⚠ 注意

冷媒配管はJIS H3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のリン脱酸銅を使用してください。また、管の内外面は美麗であり、使用上有害なイオウ、酸化物、ゴミ、切粉、油脂、水分等（コンタミネーション）の付着がないことを確認してください。

- 冷媒配管の内部にコンタミネーションの付着があると、冷凍機油劣化等の原因になります。

⚠ 注意

液冷媒にて封入してください。

- ガス冷媒で封入するとボンベ内冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

⚠ 注意

既設の冷媒配管を流用しないでください。

- 既設の配管内部には、従来の冷凍機油や冷媒中の塩素が多量に含まれ、これらの物質が新しい機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

⚠ 注意

据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともロウ付けする直前までシールしておいてください。（エルボ等の継手はビニル袋等に包んだ状態で保管）

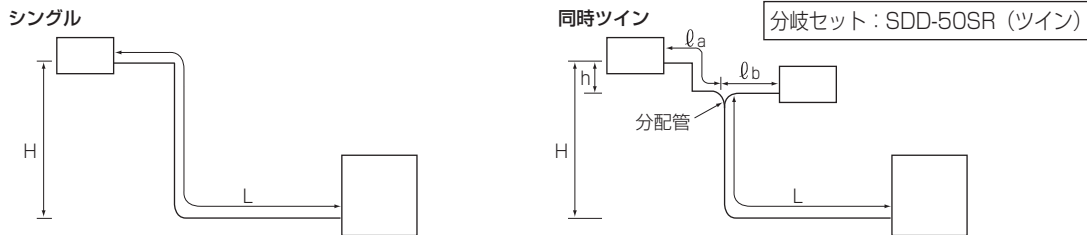
- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分が混入しますと、油の劣化・圧縮機故障の原因となります。

(3) 冷媒配管

	室 外 ユニット 形 名	配管サイズ		配管実長 (注2)		高低差		バンド数
		ガ ス 側 主管部・枝管部	液 側 主管部・枝管部	最遠実長 (室内～室外間)	室内～室内間 の差	室内 ～室外	室内 ～室内	
シングル	P140形	φ15.88	φ9.52	L 100m	—	H 40m	—	12カ所
同時 ツイン	P140形	φ15.88	φ9.52	$\ell_a + L, \ell_b + L$ または $\ell_c + L$ 100m	$ \ell_a - \ell_b $ 8m	H 40m	h 1m	12カ所 (注1)

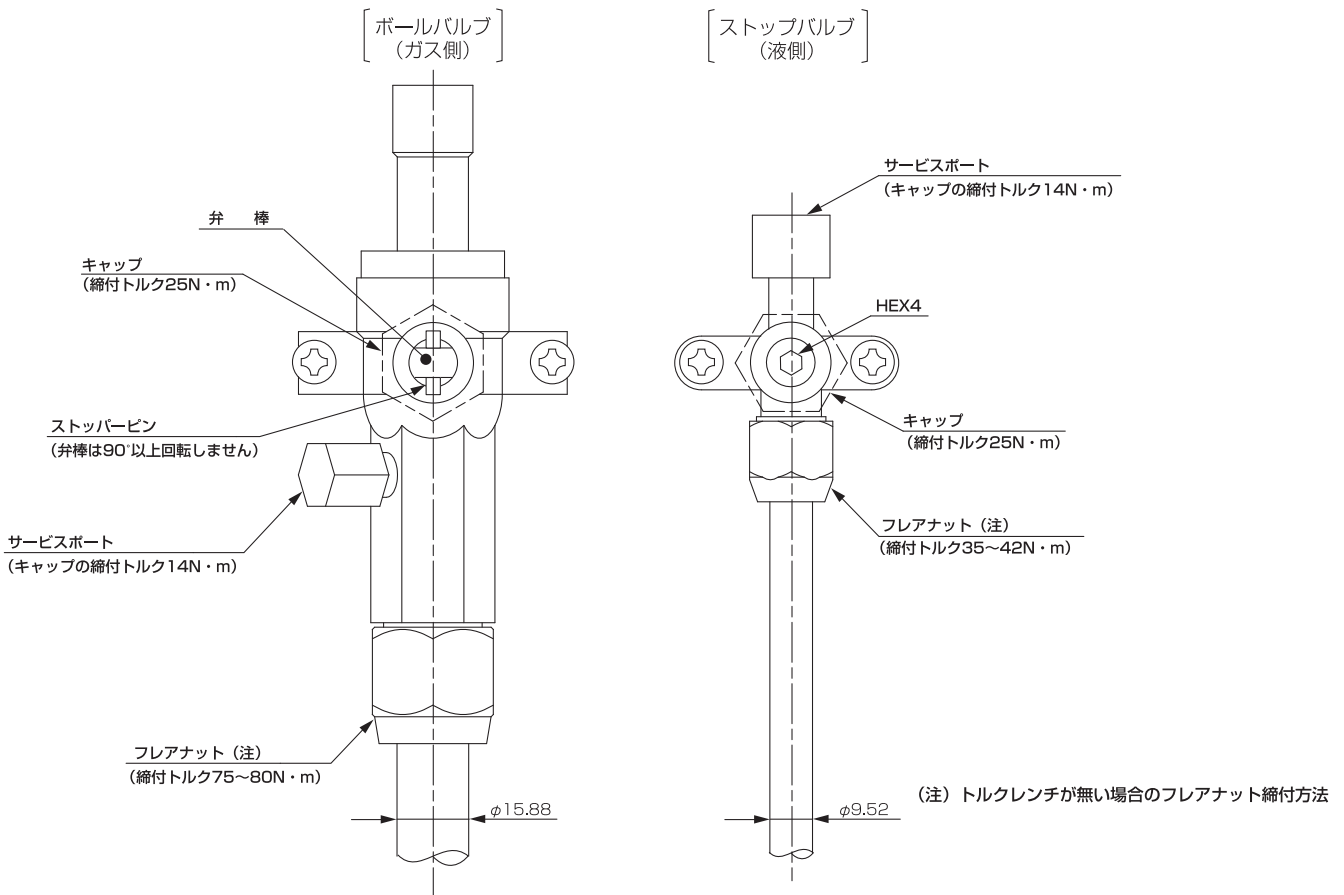
注1. 冷媒配管曲り限界は $\langle L + \ell_a \rangle < \langle L + \ell_b \rangle$ の範囲でそれぞれ8カ所以内におさめてください。

注2. 追加チャージが必要です。(5) 冷媒充てん (41ページ) を参照ください。

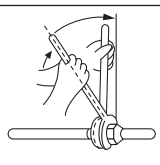


(4) 配管接続、バルブ操作のご注意

- ・真空引き、冷媒チャージ後は必ず、バルブを全開状態にしてください。バルブを閉めたまま運転しますと冷媒回路高圧側または低圧側が異常圧力となり、圧縮機、四方弁等の損傷を招きます。
- ・作業完了後、サービスポート及びキャップはガス漏れの起らないようしっかり締付けてください。



パイプ径	締付角度
φ6.35 φ9.52	60°~90°
φ12.7 φ15.88	30°~60°
φ19.05	20°~35°



※ フレアナットをスパナで締付けて行くと締付トルクが急に増すときがありますのでそこで一度とめてそれから更に上表の角度だけ回転させます。

⚠ 注意

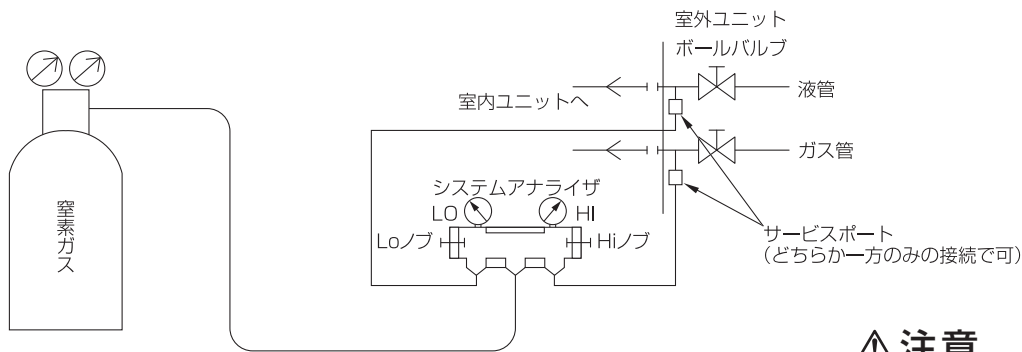
フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン (少量) を使用してください。

- 鉱油が多量に混入すると、冷凍機油劣化の原因となります。

(5) 気密試験・真空引き・冷媒充てん

●気密試験

気密試験は下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、ボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニットに加圧して行います。



⚠注意
R410A以外の冷媒は使用しないでください。
 ●R410A以外 (R22等) を使用すると、塩素により冷凍機油劣化等の原因になります。

気密試験のやり方は従来機と基本的に同じですが、冷凍機油劣化への影響が大きいので下記の制約事項を必ず遵守してください。

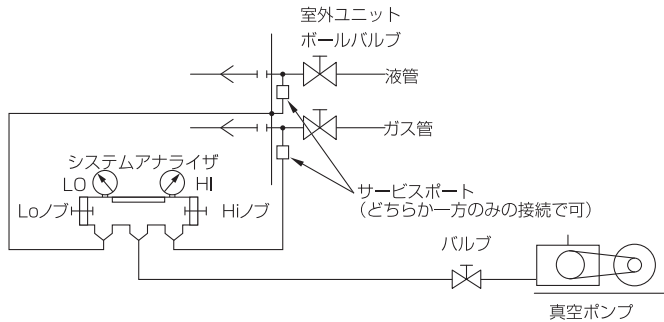
気密試験の手順	制約事項
<p>1. 窒素ガス加圧の場合</p> <p>(1) 窒素ガスにて設計圧力 (4.15MPa) に加圧後、1 日程度放置し、圧力が低下していなければ良好です。但し、圧力が低下している場合、漏れ箇所は不明なので次の泡式で行ってもよい。</p> <p>(2) 上記加圧後、フレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所に泡剤 (ギョッポフレックスなど) をスプレーし、泡の発生を目視確認する。</p> <p>(3) 気密試験後、泡剤をよく拭きとる。</p>	<p>× 加圧ガスに可燃ガスや空気 (酸素) を使用すると爆発の危険があります。</p>
<p>2. 冷媒ガスと窒素ガスで加圧の場合</p> <p>(1) ボンベより R410A を液で封入し、ガス圧力で約 0.2MPa 程度に加圧後、窒素ガスにて設計圧力 (4.15MPa) に加圧する。但し、一気に加圧しないで、途中加圧を停止し、圧力低下のないことを確認する。</p> <p>(2) R410A 対応の電気式リークディテクタでフレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所のガス漏洩を検査する。</p> <p>(3) 泡式のガス漏洩検査と併用しても良い。</p>	<p>× 機器に表示されている冷媒以外は、使用不可です。</p> <p>× ボンベよりガスで封入するとボンベ内冷媒の組成が変化します。</p> <p>× 圧力計・チャージングホース等の部品は R410A 専用のものを使用のこと。</p> <p>× R22 用電気式リークディテクタでは、漏洩検知できません。</p> <p>× 炎色式 (ハライドトーチ) は使用不可。(検出不可能)</p>

●真空引き

真空引きは、下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、ボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニット共真空ポンプにて実施してください。

真空度が650Pa[abs]に到達後、1時間以上真空引きをしてください。その後、真空ポンプを止めて1時間放置し、真空度が上昇していないことを確認してください。**真空度の上昇幅が130Paより大きい場合は、水分が混入している可能性がありますので、乾燥窒素ガスを0.05MPaまで加圧して、再度真空引きを実施してください。**

※冷媒によるエアバージは、絶対に行わないでください。



⚠注意

逆流防止器付真空ポンプを使用してください。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍器油劣化等の原因になります。

真空ポンプは逆流防止器付のものを使用してください。
(推奨真空度計 ROBINAIR 14010 Thermistor Vacuum Gauge.)

また、真空ポンプは、5分運転後で65Pa[abs]以下のものを使用してください。

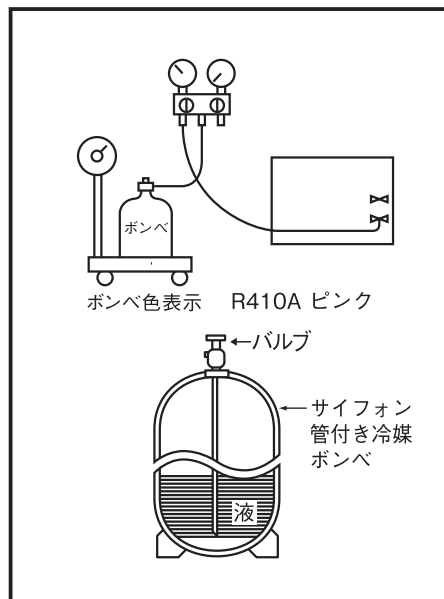
●冷媒充てん

本機は冷媒追加チャージが必要ですので、現地液管配管長さに応じて次のとおり封入してください。

- 出荷時封入量 10.0kg
- 追加封入量 0.3kg / 5m

過剰なチャージは圧縮機損傷につながりますので、絶対に行わないでください。

R410Aは擬似共沸混合冷媒のため、R22のような単成分冷媒とほぼ同様の取扱いが可能です。しかし冷媒充てんに際しては気相から取り出すとボンベ内の組織が若干変化するのでボンベの液相側から取り出してください。冷媒漏洩時の追加充てんは可能です。



R410Aのボンベはサイフォン管付きとなっているため、さかさまにしなくともそのまま通常液相の冷媒を取り出せます。

⚠警告

据付けや移設の場合は、機器に表示されている冷媒(R410A)以外の異なった冷媒を入れないでください。

- 異なった冷媒や空気等が混入すると、冷凍サイクルが異常となり、破裂等の原因になります。

⚠注意

従来の冷媒に使用している一部の工具類は使用できません。

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 工具類の使用可否は37ページ「[4] 冷媒配管工事」をご覧ください。

⚠注意

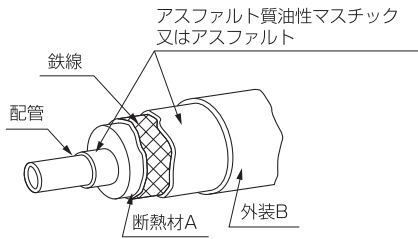
工具類の管理は従来以上に注意してください。

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

(6) 冷媒配管の断熱

冷媒配管の断熱は必ず液管とガス管とを別々に十分な厚さの耐熱ポリエチレンフォームで、室内ユニットと断熱材および断熱材間の継目に隙間のない様に行ってください。

断熱工事が不完全だと露タレ等が発生する事がありますので、特に天井裏内の断熱工事は、細心の注意が必要です。



断熱材 A	グラスファイバー+鉄線	
	接着剤+耐熱ポリエチレンフォーム+圧着テープ	
外装 B	屋 内	ビニールテープ
	床下露出	防水麻布+ブロンズアスファルト
	屋 外	防水麻布+アエン鉄板+油性ペイント

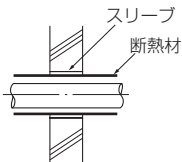
(注) 被覆材にポリエチレンカバーを使用する場合は、アスファルトルーフィングは不要です。

悪い例	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス管と液管を同時に断熱してはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続部も充分断熱すること。
	<ul style="list-style-type: none"> ・良い例 	

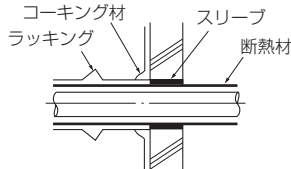
(注) 電線の断熱処理は行わないでください。

●貫通部

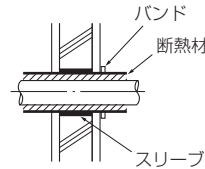
○内壁 (いんぺい)



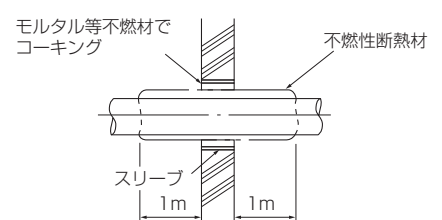
○外壁



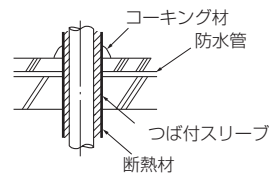
○外壁 (露出)



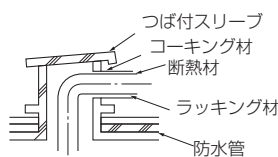
○防火区画、界壁等における貫通部



○床 (防水)



○屋上パイプシャフト



モルタルにてすき間を充てんする場合は、貫通部を鋼板にて被覆し断熱材がへこまないようにしてください。またその部分は不燃性断熱材を使用し、被覆材も不燃性(ビニールテープ巻きはダメ)を使用してください。

・現地配管の断熱材は、下表の規格を満足していることを確認してください。

	配管サイズ	
	6.35 ~ 25.4mm	28.58 ~ 38.1mm
厚さ	10mm 以上	15mm 以上
耐熱温度	100℃ 以上	

※ 最上階など高温多湿の条件下で使用する場合は、左表以上の厚さが必要となる場合があります。

※ 客先指定の仕様がある場合は、左表の規格を満足する範囲でそれに従ってください。

[5] 電気工事

(1) 注意事項

①「電気設備に関する技術基準を定める省令」、「内線規程」および、事前に、各電力会社のご指導に従ってください。

⚠ 警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路に容量不足や施工不備があると、ユニットが正常運転できなくなったり、最悪の場合、感電、発煙、発火等の原因になります。

- ② ユニット外部ではリモコン配線及び M-NET(MELANS) 配線 [別売部品取付時] が電源配線の電気ノイズを受けないように離して (5cm 以上) 施設してください。(同一電線管に入れなくてください。)
- ③ 室外ユニットには、D 種接地工事を必ず実施してください。
- ④ 配線は、金属製電線管に通してください。

⚠ 注意

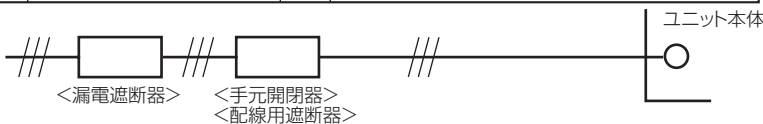
室外ユニット側で確実にアースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火及びノイズによる誤動作の原因になります。

- ⑤ 室内ユニット、室外ユニットの電気品箱はサービス時取りはずす事がありますので、配線は必ず取りはずすための余裕を設けてください。
- ⑥ 内外接続線 (200V 仕様) は電源と信号の重畳方式となっております。極性がありますから必ず端子番号どおりに接続してください。
- ⑦ 電源配線の詳細は、室内ユニット添付の据付説明書を参照してください。

(2) 配線及び器具容量

●主電源の配線太さ及び開閉器容量

			PUZ-P140IGA(-H)	PUZ-P160IGA(-H)
電 気 工 事	幹 線	電源太さ ※1 mm ²	3.5(VVF平形ケーブル相当品)	5.5(VVF平形ケーブル相当品)
		過電流保護器※2 A		30
		開閉器容量 A		30
		配線用遮断器 A		30
		漏電遮断器	—	30A 30mA 0.1sec以下
接地線太さ		φ	1.6	



- 注※1. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
 2. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組み合わせ使用してください。
 3. 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合について示します。
 4. 電線太さは金属管配線の場合の最小太さを示します。

●内外接続線、リモコン線

- ・内外接続線は、VVF 平形ケーブル (3 心) を使用し、心線の並び順に室内外ユニット端子台 S1、S2、S3 へ接続してください。(S2 端子への接続の心線が真中になるようにしてください。)
- ・内外接続線は、最大 100m まで延長できます。(詳細は右表参照)
- ・室内ーリモコン配線

		MA リモコン
配線の種類		VCTF,VCTFK,CVV,CVS,VVR,VVF,VCT
	線数	2 心ケーブル
	線径	0.3 ~ 1.25mm ²
総延長		最大 200m

● M-NET (MELANS) の配線 (別売部品取付け時)

伝送線の種類 : シールド線 (CVVS、CPEVS : 2 心・1.25mm²) を使用してください。

配線方法 : M-NET (MELANS) の端子台に下記接続を行ってください。

A、B 端子 : 伝送線 (無極性) を接続する。

S 端子 : シールド線を接続する。

なお、複数台の室外ユニットが接続されているシステムでは、各々の M-NET (MELANS) 端子台 [A・B・S] 間を渡り配線してください。

アース処理 : M-NET (MELANS) 伝送線のアース接地は、給電装置の S 端子で行ってください。給電装置からのアース接地ができない場合には、室外ユニットの 1 台の S 端子をアース端子 (E) に接続します。

⚠ 警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

⚠ 注意

正しい容量のブレーカやヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

	PUZ-P140IGA(-H) (-BS (G))	
	PUZ-P160IGA(-H) (-BS (G))	
室内ー室外配線太さ < mm >	~ 50m	φ 1.6
	50m ~ 80m	φ 2.0
	80m ~ 100m	φ 2.6

●ヒータ電源太さ及び開閉器容量

室外ユニット形名	ヒータ電源	電線太さ	開閉器	漏電遮断器	アース線太さ
PUZ-P140IGA(-H) (-BS(G)) PUZ-P160IGA(-H) (-BS(G))	三相 200V	2.0mm ²	15A	15A	φ1.6

●タイマーキット配線

タイマーキット 1 台で同時に制御可能な室外ユニットは最大 50 台までです。

配線方法は、「[6] タイマーキット取付工事 (3) 配線要領」あるいはタイマーキット添付の据付工事説明書をご覧ください。

配線の種類	VCT	
	線数	4 心キャブタイヤケーブル
	線径	0.75mm ²
総延長	最大 200m	

●最大電流について

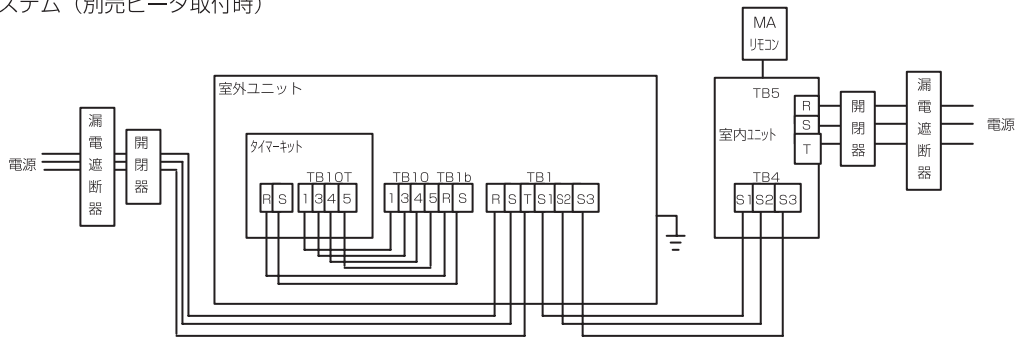
本製品は、運転条件によって消費電力・電流が定格値より大きくなる事があります。

受変電設備容量の算出には、製品仕様表 (3 ページ以降) の最大電流値の値を用いてください。

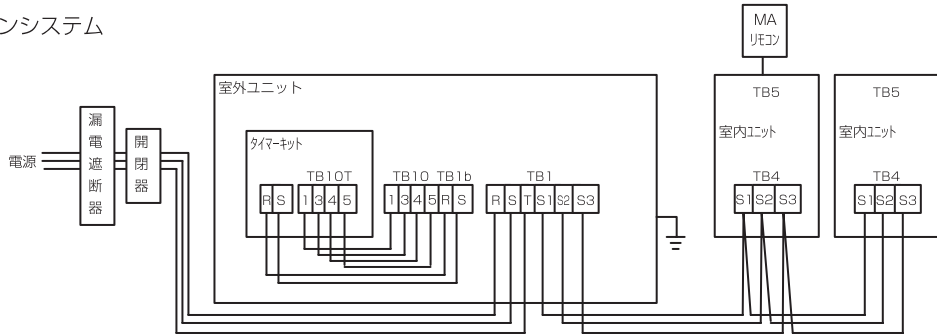
配線系統図例

※ 別売 M-NET アダプタ無しの場合

① 1 : 1システム (別売ヒータ取付時)

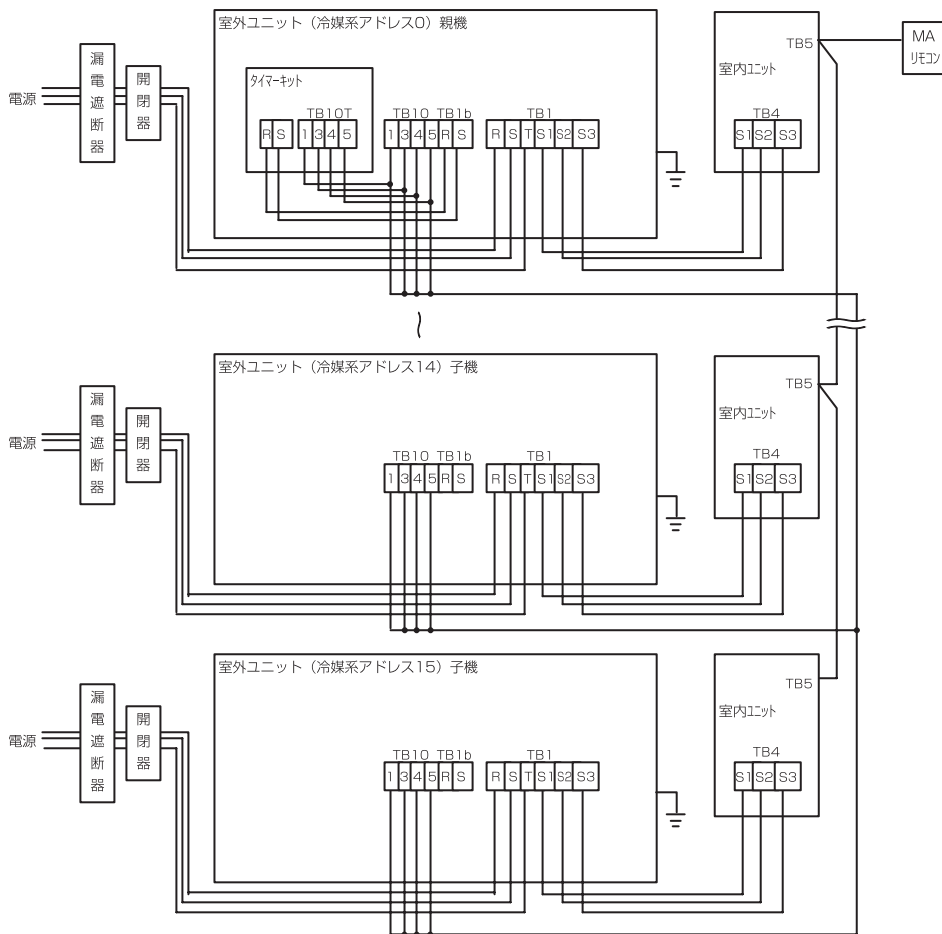


② 同時ツインシステム



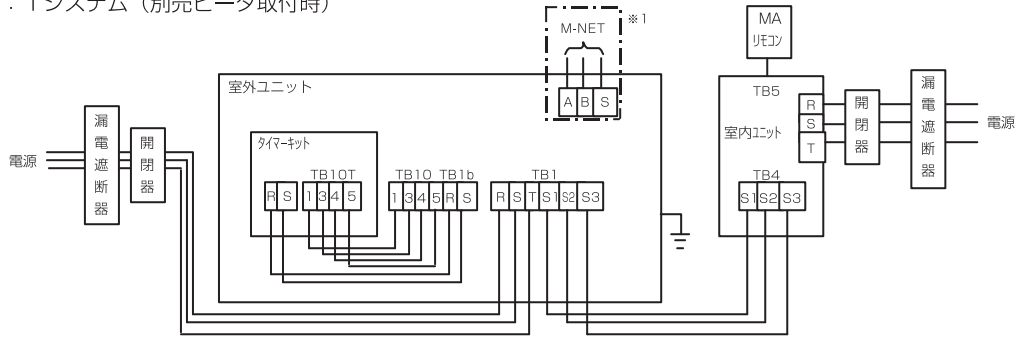
③ グループ制御 (室外ユニット最大16台接続)

※ グループは、エコアイスマニだけのグループとしてください。他のA制御スリムとグループを組むと、深夜の蓄冷温時間帯に手元操作禁止となるため、グループ内のユニットは運転できなくなります。

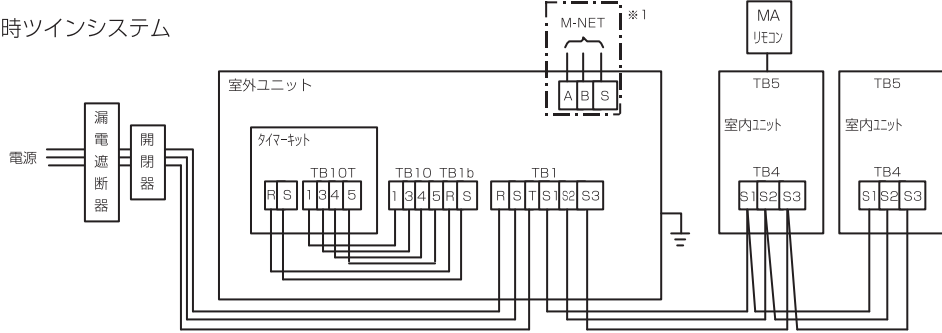


※ 別売 M-NET アダプタ組込時

① 1 : 1 システム (別売ヒータ取付時)

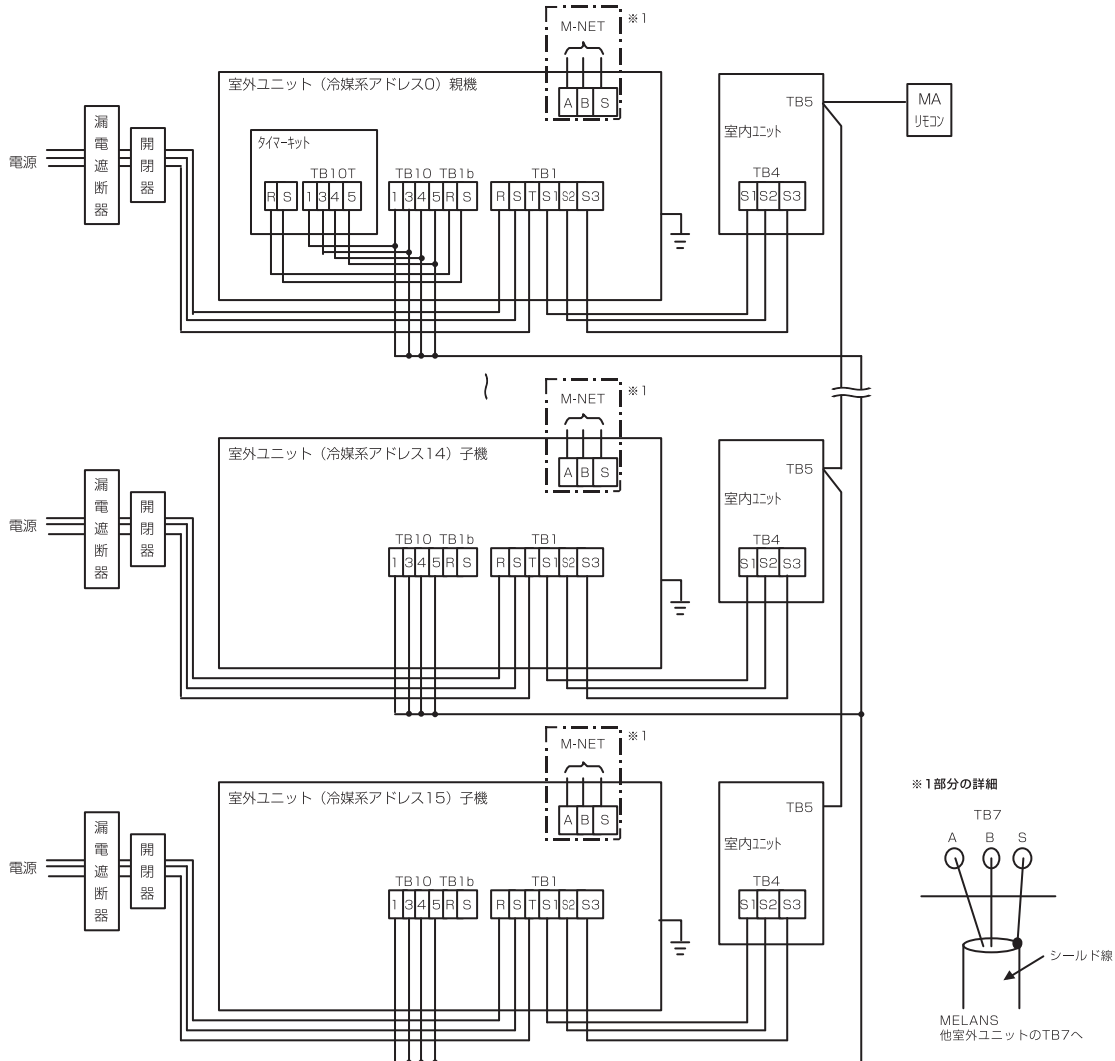


② 同時ツインシステム

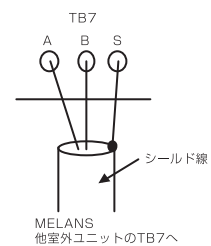


③ グループ制御 (室外ユニット最大16台接続)

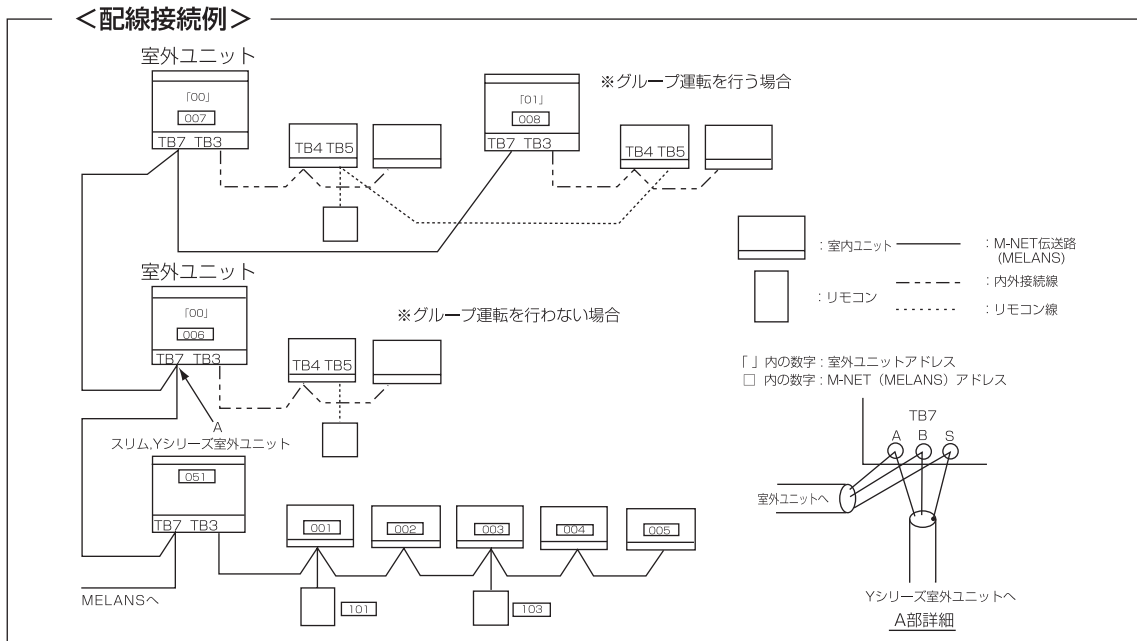
※グループは、エコアイスミニだけのグループとしてください。他のA制御スリムとグループを組むと、深夜の蓄冷時間帯に手元操作禁止となるため、グループ内のユニットは運転できなくなります。



※ 1部分の詳細



M-NET<MELANS> 配線詳細については、MELANS 据付説明書を参照してください。



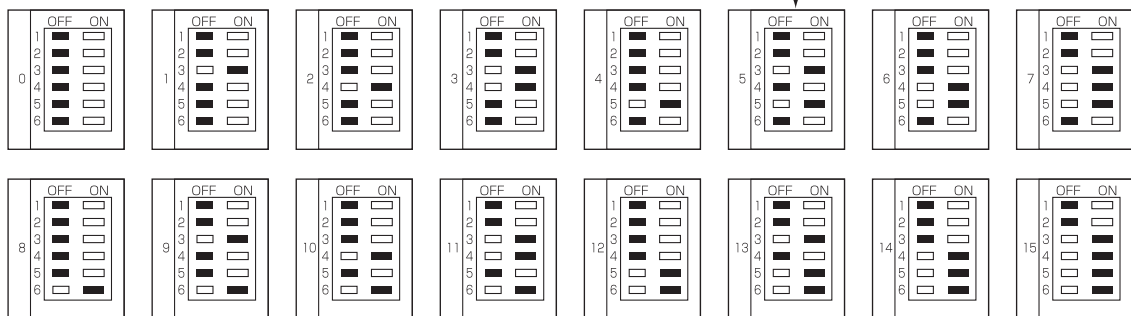
(3) アドレス設定

● **室外ユニットアドレス設定**

- グループ制御する場合は、各室外ユニットのアドレス設定が必要です。
- 室外ユニットのアドレス設定は、基板上的のディップスイッチ SW1 (3 ~ 6) <工場出荷時は、全て OFF> で行います。
- SW1 によるアドレス設定を以下に示します。

(SW1)

OFF	ON					
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
			機種	スイッチ操作による動作		
			1	強制再起	ON	OFF
			2	異常履歴クリア	開始	通常
			3	冷媒系アドレス設定	クリア	通常
			4	↑	室外ユニットアドレス	
			5	↑	0~15の設定	
			6	↑		



M-NET (MELANS) [別売部品] のアドレス設定

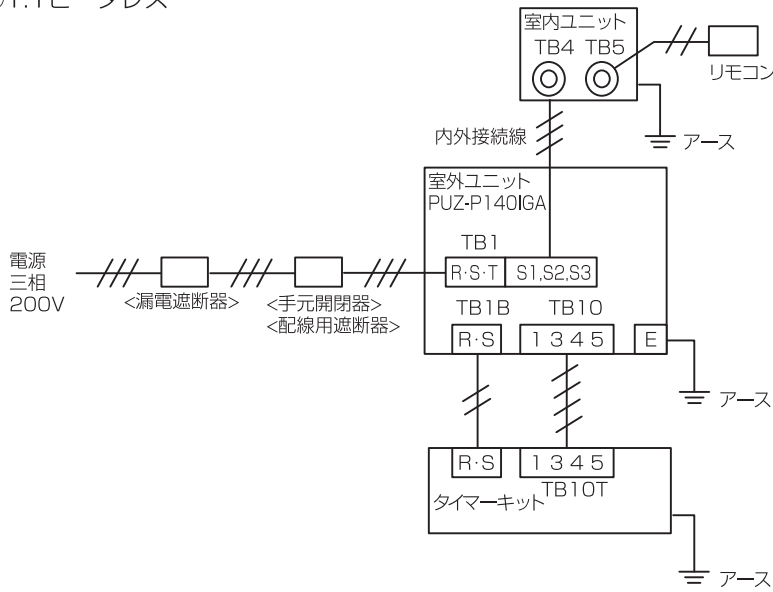
- M-NET (MELANS) アドレスを 1 ~ 50 の間で設定してください。設定に際しては、室外ユニットアドレス = "0" の室外機の M-NET (MELANS) アドレスをグループ内の最小アドレスにしてください。(※ 配線接続例を参照してください)
- 設定は、制御箱内 (M-NET 基板上) のロータリースイッチ SW11、SW12 で行います。(SW11:1 の位、SW12:10 の位 <工場出荷時は、全てゼロ>)

<設定例>

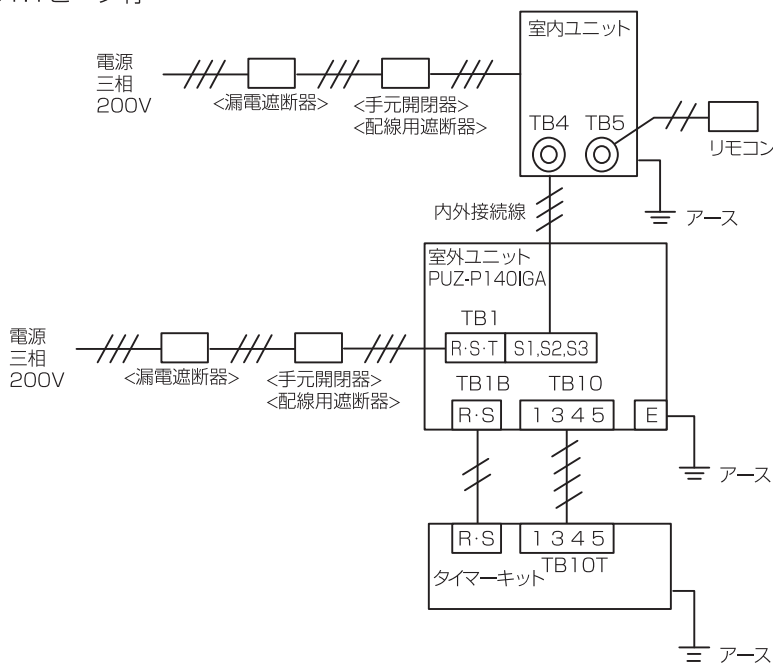
M-NETアドレス	1	2	50
スイッチ 設定	SW11 (1の位)		
	SW12 (10の位)		

(4) 電源・制御配線仕様

①1:1ヒータレス



②1:1ヒータ有



電源線

	電源太さ<mm ² > <必要最小サイズ>	手元開閉器		配線用 遮断器 <A>	漏電遮断器 *1,*2	接地線太さ <mm>
		開閉器容量 <A>	過電流保護器*3 <A>			
PUZ-P140IGA(H)-(-BS(G))	3.5	30	30	30	30A 30mA 0.1sec以下	φ1.6以上
PUZ-P160IGA(H)-(-BS(G))	5.5					

*1 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。

*2 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組み合わせ使用してください。

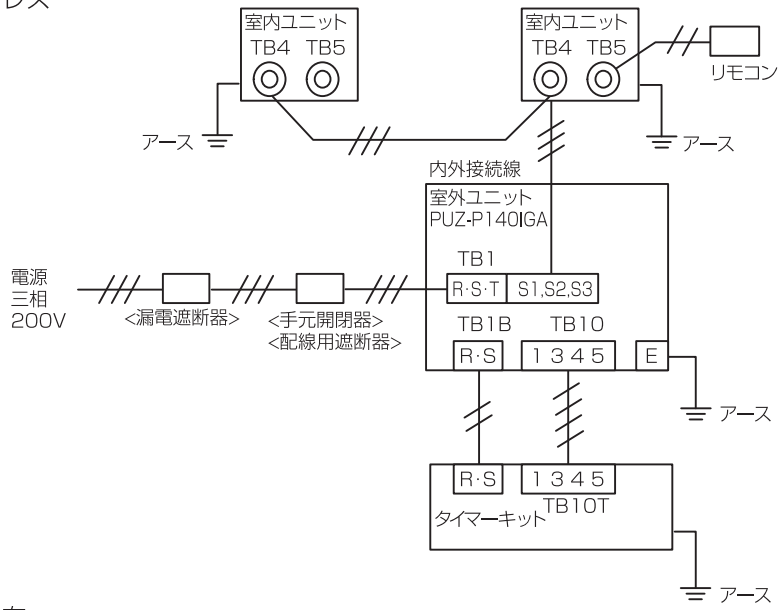
*3 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合について示します。

内外接続線 (VVFケーブル)

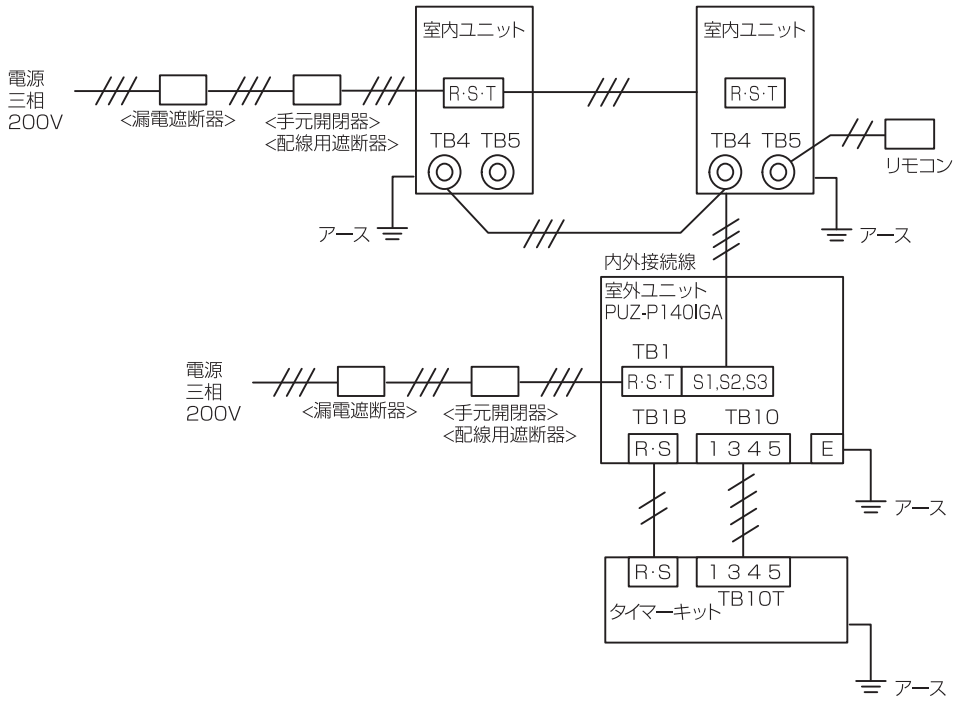
配線太さ	<mm>
~50m	φ1.6
50~80m	φ2.0
80~100m	φ2.6

・リモコン線: 0.3~1.25mm², 500m以内
 ・室外ユニット-タイマーキット接続線: 0.75mm²以上, 200m以内

③ ツインヒータレス



④ ツインヒータ有

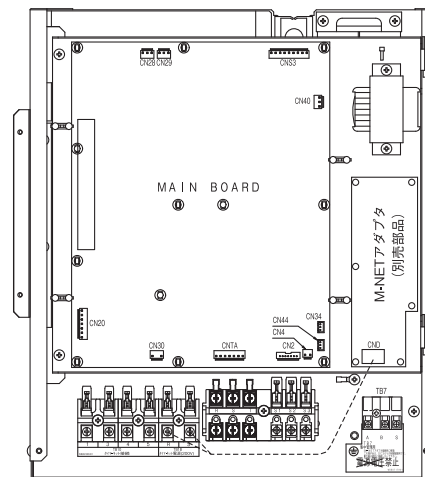


(5) 室外ユニットへの別売部品 M-NET アダプタ取付方法

●別売部品 M-NET アダプタは、図のとおり取り付けてください。(付属の端子台 TB7 も図のとおり取り付けてください。)

配線は、次のとおり接続してください。

- ・ CND ~ TB1B
- ・ CN2M ~ TB7
- ・ CN5 ~ CN1 (MAIN BOARD)



↑
TB7 へ M-NET の配線を
接続してください

[6] タイマーキット取付工事

(1) 部品 (タイマーキット本体付属品)

●箱の中には、この説明書の他に下記の部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	数量	備考	品番	品名	数量	備考
①	タイマーキット本体	1	デイリータイマー標準装備	⑥	リード線組立 1	1	AWG18(0.75mm ² 相当)×4心
②	取付板	1		⑦	リード線組立 2	1	AWG14(2.00mm ² 相当)×2心
③	カバー	1		⑧	取付ネジ	10	タッピンネジ M4×10
④	ガスケット	1		⑨	結束バンド	1	
⑤	取扱説明書	1		⑩	カバー板金	1	

(2) 取付要領

- タイマーキット本体①に組み込まれているデイリータイマーの液晶表示部パネルには、取付時の傷つき防止のため保護シートを貼っています。取付作業終了後に、保護シートをはがしてお使いください。
- 保護シートをはがす際に、静電気の発生により液晶表示器が点灯することがありますが、しばらく放置しますと自然放電により消えます。故障ではありません。
- 組み合わせるユニットの種類、およびデイリータイマーの設置場所に対応した取付要領に従い、正しく取付けてください。

エコアイスマニ室外ユニットへの取付要領

ここではタイマーキットを室外ユニット内に組み込む場合の取付要領を示します。

図1はタイマーキットの取付位置、図2はタイマーキット本体をユニットへ組み込んだ状態を示します。

(a)室外ユニット前パネル (取付ネジ6本) を取外してください。

(b)タイマーキット本体①に貼り付けている注意書および図1を参考に、室外ユニットの前パネルにカバー③およびガスケット④を必ず取付けてください。水等の侵入がないように、取付けは確実に行ってください。

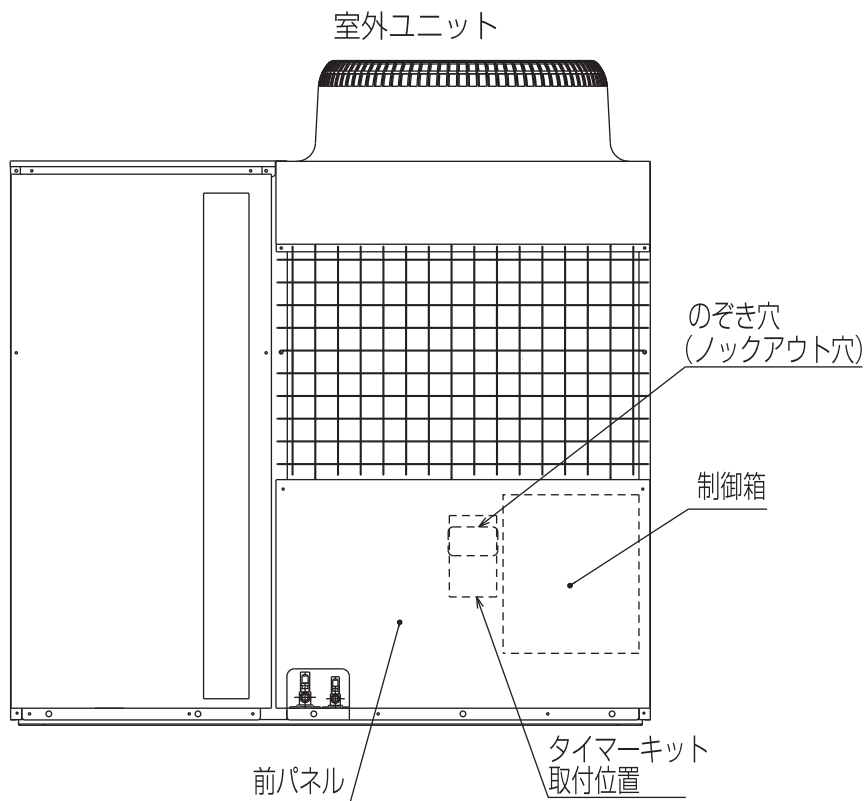


図1. タイマーキット取付位置
(室外ユニット制御箱の左)

- (c) 図2のように、まず付属の取付板②をユニット内制御箱左側に取付ネジ⑧(3本)で取付けてください。
 その後、タイマーキット本体①を取付板②へ取付ネジ⑧(3本)を使って取付けてください。
 (d) タイマーキット本体①を取付板②へ取付け後、カバー板金⑩を取付ネジ⑧(4本)を使って取付けてください。

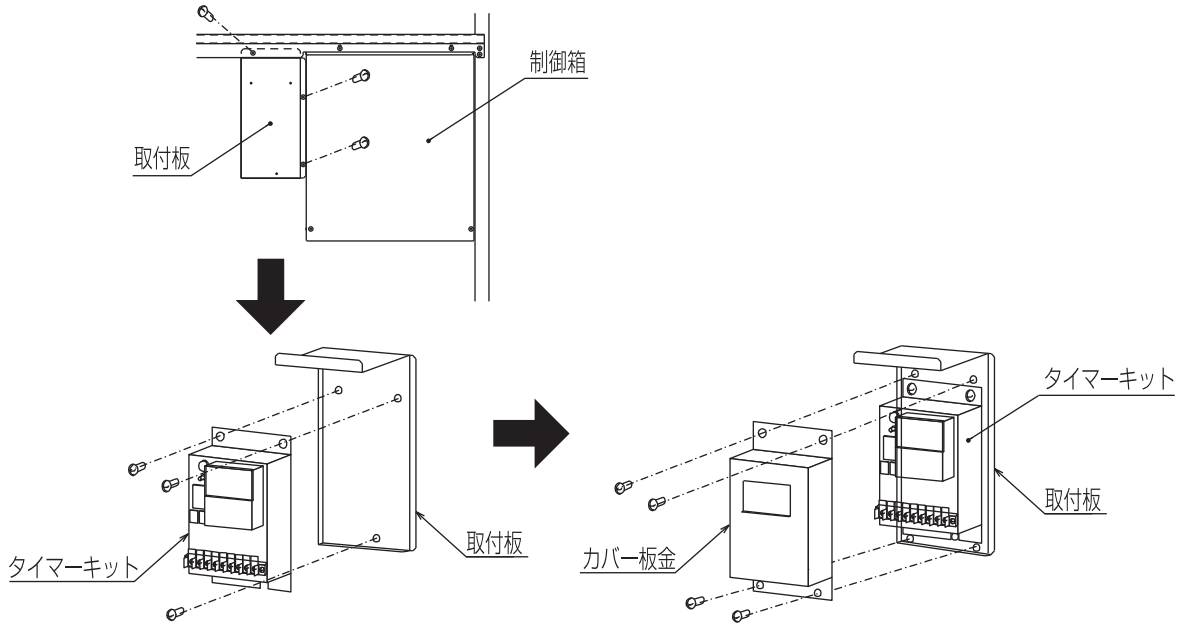
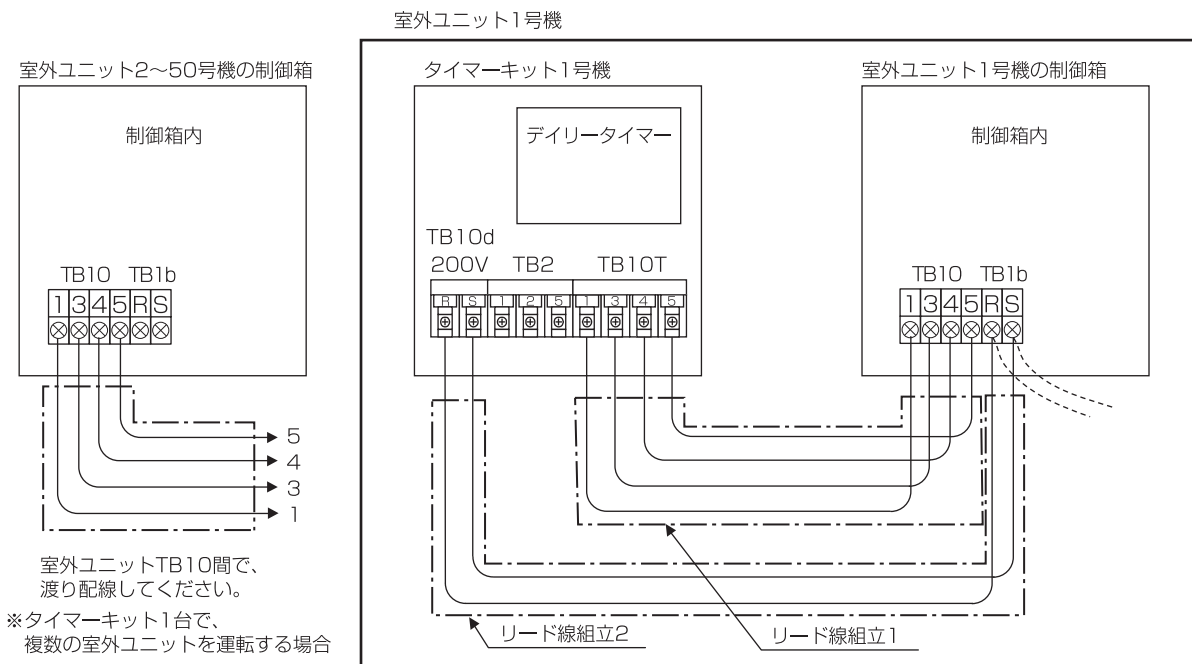


図2. タイマーキット組込図(室外ユニット)

(3) 配線要領

エコアイスミニ室外ユニットへの配線要領

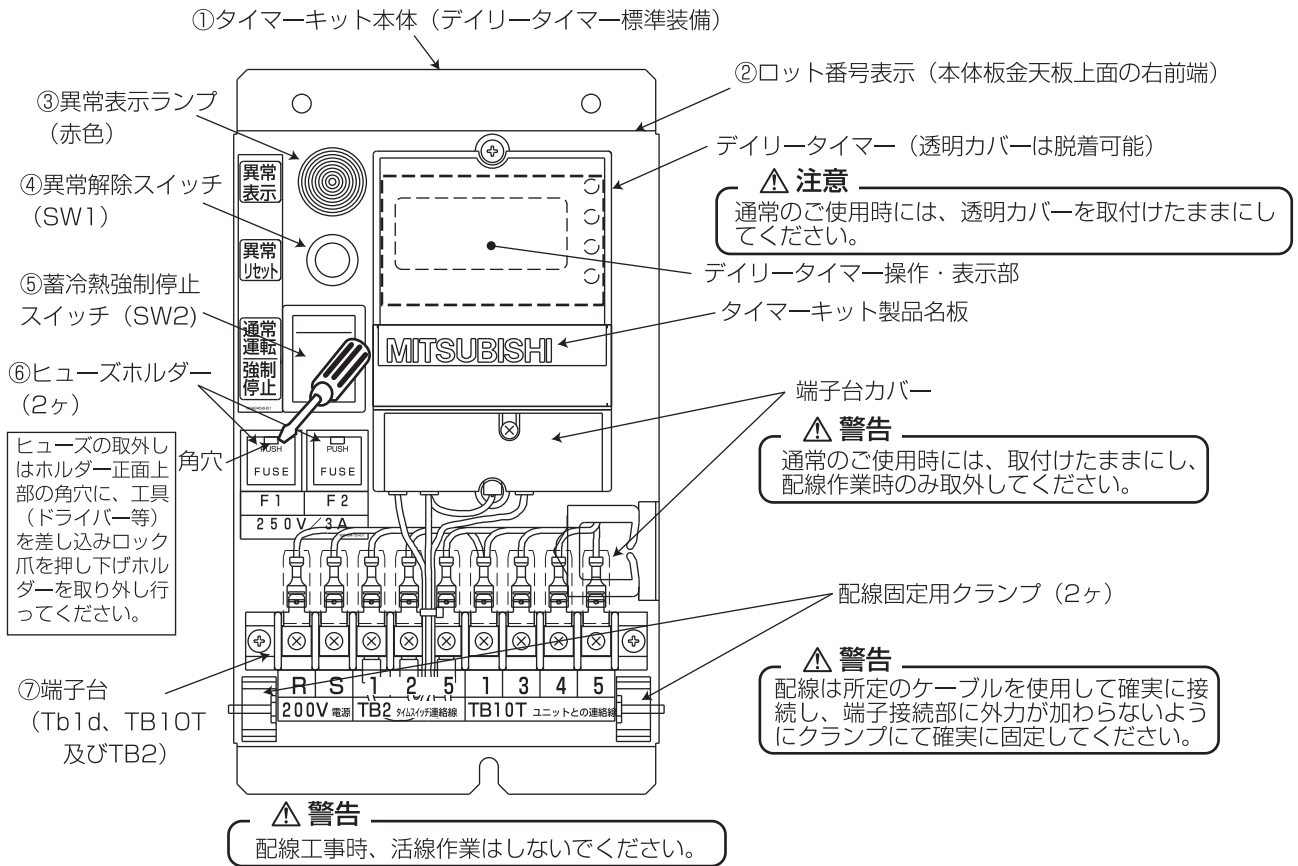
- (a) 室外ユニットの制御箱カバー(取付ネジ2本)を取外してください。
 (b) 室外ユニット制御箱内の端子台TB10の1, 3, 4, 5番端子と、タイマーキット端子台TB10Tの1, 3, 4, 5番端子を、付属のリード線組立1⑥を使って図3のように結線してください。
 (c) 室外ユニット制御箱内の端子台TB1bのR, S端子と、タイマーキット端子台TB10d(タイマーキット端子台名板には200V電源と表示してあります)のR, S端子を、付属のリード線組立2⑦を使って図3のように結線してください。
 (d) タイマーキット1台で複数台の室外ユニットを運転する場合には、室外ユニット制御箱の端子台TB10の1, 3, 4, 5端子同士を渡り配線してください。
 渡り配線には0.75mm²×4心のキャプタイヤケーブル(VCT)をご使用ください。
 (e) 配線完了後、タイマーキット本体の配線を、結束バンド⑨でまとめます。



※タイマーキット本体TB2～デイリータイマー間の配線は省略しています。

図3 配線接続図(エコアイスミニ室外ユニットの場合)

(4) タイマーキット各部のなまえとはたらき



①タイマーキット本体 (デイリータイマー標準装備)	デイリータイマーのみ取外して遠隔設置も可能です。
②製造ロット番号表示	タイマーキットの製造ロット番号を表示しています。
③異常表示ランプ (赤色)	室外ユニットの異常停止時に点灯します。
④異常解除スイッチ	プッシュスイッチを押すと異常停止が解除されます。異常表示ランプが消灯するまで約 1 秒程度押しつけてください。
⑤蓄冷熱強制停止スイッチ	据付時などユニット運転不可能な場合のみ、強制停止側に倒してください。
⑥ヒューズホルダー (2ヶ)	必ず指定容量のヒューズをご使用になり、交換方法は上図を参照してください。
⑦ 端子台 (TB1d, TB10T、及び TB2)	TB1d, TB10T に、室外ユニットとの接続線を接続してください。なお TB2 は、デイリータイマーのみ遠隔設置時の場合、デイリータイマー～タイマーキット本体間配線を延長配線に取り替えるための中継端子台です。

● 詳細は、「三菱電機エアコン別売部品タイマーキット PAC-KB67TT」をご覧ください。

[7] 蓄熱槽への給水、排水

(1) 水配管

現地での水配管工事は不要ですが、排水口の、バルブ (標準装備・サイズ 3/4B) には現地手配のホース等を取付けることも可能です。

(2) 初期給水

- ・ 供給水は上水、水道水を使用してください。
 - ① ネジを 2 本はずし、前面パネルに設置された給水窓を指で押し上げます。
 - ② クッションの隙間にホースを挿入して給水します。
- ・ 給水時は、蓄熱槽上部のオーバーフローホースから水があふれて排出された時点で完了してください。
- ・ 一度製氷を実施しますと、満水のまま製氷分だけオーバーフローホースから排水されますので、この状態で解氷しますと約 6cm 程度水位が下がります。この位置が基準水位となります。
- ・ 水の入替えは、原則として行わないでください。

(3) 定期給水

定期的 (半年に 1 回程度) に、オーバーフローホースから水があふれるまで追加給水してください。

(4) 水質

初期給水、定期給水の水質は以下を遵守願います。

① (社) 日本冷凍空調工業会制定の「冷凍空調機用水質ガイドライン」

② 補給水の中に異物 (鉄さび等の沈殿物) が無いこと

上記水質が確保できない場合は、当社指定のサービス部品による水質調整を実施するとともに、使用開始時及び使用開始後定期的 (半年に 1 回程度) に水質検査を行い水質を維持管理ください。また、移設等により水の入替えを実施した場合にも上記水質調整及び維持管理を実施ください。

蓄熱槽の水質基準 (参考値)

項目	単位	補給用水質基準	循環用水質基準	水質基準を越えた場合の弊害事項		
				腐食	スケール	
pH (25℃)	—	6.0~8.0	6.8~8.0	○	○	
電気伝導率 (25℃)	μS/cm	300以下	400以下	○	○	
基準項目	mg/L	塩化物イオン	50以下	50以下	○	
		硫酸イオン	50以下	50以下	○	
		酸消費量(pH4.8)(Mアルカリ度)	50以下	50以下		○
		全硬度	50以下	70以下		○
		カルシウム硬度	50以下	50以下		○
		イオン状シリカ	30以下	30以下		○
		参考項目		鉄	0.3以下	1.0以下
硫化物イオン	検出しないこと			検出しないこと	○	
アンモニウムイオン	0.1以下			1.0以下	○	
遊離炭酸	4.0以下			4.0以下	○	

出典：日本冷凍空調工業会
「冷凍空調機器用水質ガイドライン (JRA GL-02-1994)」

⚠ 注意

蓄熱槽への給水は、必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。

⚠ 注意

機器の劣化を防止し、性能低下を防ぐため、水質の確保をお願いします。管理が不十分ですと、熱交換器の銅管腐食が発生したり、スケールにより蓄冷の能力及び蓄冷量が確保されない場合がありますので注意してください。

[8] 試運転

(1) 試運転

試運転操作は、室内ユニット・室外ユニットのどちらからでも行えます。

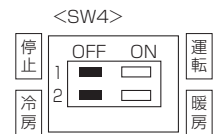
1. 確認項目

- 室内・室外ユニット据付・配管・配線作業終了後、冷媒漏れ・電源・制御線のゆるみ・極性間違いがないか今一度確認してください。
- 電源用端子 (R、S、T) と大地間を 500V メガーで計って 1.0MΩ 以上であることを確認してください。1.0MΩ 未満の場合は運転しないでください。1.0MΩ 以上ない場合は、元電源を入れてクランクケースヒータを 12 時間以上通電することにより、圧縮機内の冷媒が蒸発し、絶縁抵抗は上昇します。
※ 内外接続線用端子 (S1,S1,S3) には絶対かけないでください。故障の原因になります。
- 室外ユニットが異常でないこと。(室外ユニットが異常の場合、基板上的 LED1、LED2(ミドリ、アカ)の点滅状態で判定できます。異常内容については 56、57 ページを参照ください)
- ボールバルブが液、ガス側とも全開であること。
- 三相電源の相順を確認します。逆相又は欠相の場合、試運転時異常停止します。(異常コード F1 又は F2)
- 試運転の最低 12 時間以上前にクランクケースヒータに通電してください。(通電時間が短いと圧縮機故障の原因になります)

以上のことを確認後、下記の要領により試運転を行ってください。

2. 試運転開始、終了

- 室内ユニットからの操作・・・室内ユニット添付の据付工事説明書により試運転を行ってください。
- 室外ユニットからの操作・・・基板上的のディップスイッチ SW4 にて試運転開始、終了および運転開始モード(冷房・暖房)の設定を行います。



- ① SW4-2 にて運転モード(冷房・暖房)を設定してください。
- ② SW4-1 を ON することで SW4-2 の運転モードに従い、試運転が開始されます。
- ③ SW4-1 を OFF することで試運転を終了します。

【お願い】 試運転中は SW4-2 にて運転モードを変えることはできません。

(試運転モードを変える時は SW4-1 にて一旦停止し、運転モードを変えた後、再度 SW4-1 で試運転を行います)

- 試運転は、2 時間の切タイマーが作動し、2 時間後自動的に停止します。
- 試運転中の室温表示部には室内ユニット配管温度を表示します。
- 別売品の M-NET アダプタを組み込んだ場合の集中管理システム側表示についてはサービスマニュアルなどを参照ください。
- ※ 重サービス時の注意事項等については、サービスハンドブックをご覧ください。

(2) 試運転不具合時の対応

●異常コード一覧表 内容

異常内容	故障部位	MELANS表示	リモコン表示	室外LED表示	
リモコン通信・受信異常	リモコン	6831,6834	E0	リモコンと同じ	
リモコン通信・送信異常	リモコン	6832,6833	E3		
リモコン通信・受信異常	室内ユニット	6831,6834	E4		
リモコン通信・送信異常	室内ユニット	6832,6833	E5		
室内-室外間通信・受信異常	室内ユニット	6740,6843	E6		
室内-室外間通信・送信異常	室内ユニット	6841,6842	E7		
室内-室外間通信・受信異常	室外ユニット	6840,6843	E8		
室内-室外間通信・送信異常	室外ユニット	6841,6842	E9		
内外接続誤配線、室内ユニット台数オーバー(5台以上)	室外ユニット	6844	EA		
内外接続誤配線(テレコ、はずれ)	室外ユニット	6845	EB		
立ち上げ時間オーバー	室外ユニット	6846	EC		
シリアル通信異常	室外ユニット	0403	ED		
シリアル通信異常	M-NET基板	0403	EE		
M-NET アドレス二重定義	M-NET基板	6600	A0		
M-NET 伝PH/W異常	M-NET基板	6602	A2		
M-NET BUS BUSY	M-NET基板	6603	A3		
M-NET 伝Pとの通信異常	M-NET基板	6606	A6		
M-NET ACK無し異常	M-NET基板	6607	A7		
M-NET 応答無し異常	M-NET基板	6608	A8		
異常コード未定義	-	未定義	EF		
高圧圧力異常	室外ユニット	1302	U1		
吐出温度異常	室外ユニット	1102	U2		
冷媒不足異常	室外ユニット	1501	U2		
吐出サーミスタ異常(TH4)	室外ユニット	5104	U3		
ミ室外サ異常	二相管サーミスタ(TH3)	室外ユニット	5103	U4	U4-3
	液管サーミスタ(TH6)	室外ユニット	5106	U4	U4-6
	外気サーミスタ(TH7)	室外ユニット	5107	U4	U4-7
	蓄熱槽入口サーミスタ(TH9)	室外ユニット	5109	U4	U4-9
	蓄熱槽出口サーミスタ(TH10)	室外ユニット	5101	U4	U4-b
	蓄熱水温サーミスタ(TH11)	室外ユニット	5111	U4	U4-c
	放熱板サーミスタ(TH8)	室外ユニット	5110	U4	U4-A
放熱板温度異常	室外ユニット	4230	U5	U5	
パワーモジュール異常	室外ユニット	4250	U6	U6-1	
シリアル通信異常	室外ユニット	0403	U6	U6-2	
高調波対策機器(AF)異常	室外ユニット	4121	U6	U6-5	
電圧異常(母線電圧)	室外ユニット	4220	U9	リモコンと同じ	
電流センサ異常	室外ユニット	5300	UH		
真空運転保護/低圧圧力異常	室外ユニット	1505	UL		
圧縮機過電流遮断(起動後)	室外ユニット	4210	UP		
圧縮機過電流遮断(起動時)	室外ユニット	4100	UF		
電源同期信号異常	室外ユニット	4115	F8		
逆相/欠相検知	室外ユニット	4103	F1		
蓄熱槽水位異常	室外ユニット	5112	Lb		
吸込みセンサ異常	室外ユニット	5101	P1		
配管センサ異常	室内ユニット	5102	P2		
ドレンセンサ異常	室内ユニット	2503	P4		
ドレンオーバーフロー保護作動	室内ユニット	2502	P5		
凍結保護作動	室内ユニット	1503	P6		
過昇保護作動	室内ユニット	1504	P6		
配管温度異常	室内ユニット	1110	P8		

● LED ランプによる室外ユニット点検表示機能

室外制御基板に LED1 (ミドリ)、LED2 (アカ) を追加し、異常発生時には双方の LED の点滅を組み合わせることで内容を判別可能としました。

室外制御基板上のコネクタ CNM に別売部品の A 制御サービス点検キット PAC-SG50ST を接続することにより詳細な運転モニタを判別できます。

[表示方法]

①通常

状態	室外制御基板		A 制御サービス点検キット	
	LED1	LED2	表示	内容
電源投入時	点灯	点灯	-⇄-	交互点滅表示
停止	点灯	消灯	00 等	運転モード表示
運転	点灯	点灯	C5、H7 等	

②異常状態

区分	簡易表示点滅回数 [回]		異常コード	異常内容	
	LED1	LED2			
運転中に検出する異常	3	2	U1 UL	56 ページの「異常コード一覧表」参照	
		1	U2		
		5	U3 U4-*		
			4		U6-*
		UF UP			
		UH			
		6	U5		
		7	U9-*		
電源投入時に検出する異常	1	1	F1		
		3	F8		
通信系異常	2	1	EA Eb EC		
			2		E6 E7 E8 E9
					3
		4			
			5		
		蓄熱槽異常	4	1	Lb

[VII 据付工事]

- 室外ユニット基板上の SW2 を操作することによりセグメントが点灯し、ユニットの運転状態および点検コードの内容を知ることができます。

SW2設定 123456	項目	表示内容																													
000000	運転モード/リレー出力	<p>十の位 A:蓄冷 b:蓄暖 0:停止 C:冷房ドライ H:暖房 d:霜取り</p> <p>一の位 1:SV 2:21S4 4:圧縮機 8:拘束通電中</p> <p>リレー出力=1*SV+2*21S4 +4*圧縮機 +8*拘束通電中</p> <p>⇒ (例)冷房運転にて圧縮機とSVがONの場合・・・C5</p> <p>異常時は、異常コード及び異常信号(*1)を交互に表示する。</p>																													
100111	室内ユニット制御状態(IC1) (IC2)	<p>制御モード表示方法</p> <p></p> <p>室内ユニット2号機 室内ユニット1号機 室内ユニット4号機 室内ユニット3号機 室外ユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表示</th> <th colspan="2">制 御 モ ー ド</th> </tr> <tr> <th>室内ユニット</th> <th>室外ユニット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>通常</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ホットアジャスト</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>霜取り</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>—</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ヒータON</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>凍結防止</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>過見防止</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>圧縮機OFF</td> <td>←</td> </tr> </tbody> </table>	表示	制 御 モ ー ド		室内ユニット	室外ユニット	0	通常	←	1	ホットアジャスト	←	2	霜取り	←	3	—	←	4	ヒータON	←	5	凍結防止	←	6	過見防止	←	7	圧縮機OFF	←
表示	制 御 モ ー ド																														
	室内ユニット	室外ユニット																													
0	通常	←																													
1	ホットアジャスト	←																													
2	霜取り	←																													
3	—	←																													
4	ヒータON	←																													
5	凍結防止	←																													
6	過見防止	←																													
7	圧縮機OFF	←																													
100001	異常コード履歴1(最新)	<p>異常コード(ex,U8,UA)と異常号機(*1)を交互に表示します。 但し、室外ユニットの異常でサーミスタ関係(U4)、並びにインバータ関係(U6)については、異常コードと異常詳細を交互に表示します。 (ex、室外配管サーミスタ異常(U4-1)の場合、“U4”と“-1”を交互に表示)</p>																													
010001	異常コード履歴2(最新の1つ前)																														

- *1 異常号機の表示方法
号機は以下番号に対応します。
- 0………室外ユニット
 - 1………室内ユニット1号機
 - 2………室内ユニット2号機
 - 3………室内ユニット3号機
 - 4………室内ユニット4号機

(3) 次の現象は故障(異常)ではありません。

現象	リモコン表示	原因
オートベーンが勝手に動く。	通常表示	オートベーンの制御動作により、冷房時、下吹きで使用した場合 1 時間経過すると自動的に水平吹出しになります。暖房時の霜取り時、ホットアジャスト時、およびサーモ“OFF”時は自動的に水平吹出しとなります。
暖房運転中ファン設定が切替わる。	通常表示	サーモ“OFF”時は、微風または弱風運転となります。サーモ“ON”時、時間または配管温度により、微風(弱風)→設定ノッチへ自動的に切替わります。
暖房運転中ファンが停止する。	霜取表示	霜取運転中はファンが停止します。
運転停止してもファンが停止しない。	消 灯	補助電気ヒータ“ON”時は、停止後 1 分間余熱排除としてファンを運転します。(暖房時のみ)
運転 SW を ON にしてもファンが設定にならない。	暖房準備中	SW“ON”後 5 分間または配管温度 35℃まで微風、その後 2 分間弱風の後設定ノッチになります。(ホットアジャスト制御)
運転しても室外ユニットが運転しない。	通常表示	室外ユニットが冷え込んで冷媒が寝込んでいる場合は、最長 35 分間圧縮機を暖めるウォーミングアップ運転を行います。
冷えない。(暖まらない。)	通常表示	電源投入後初回運転時は、最大 40 分間圧縮機の周波数が上がらないことがあります。(冷媒が寝込んでいた時)

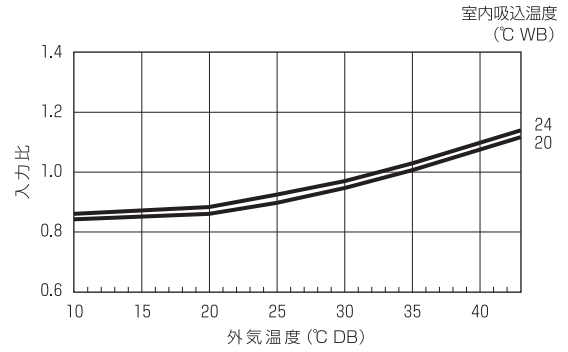
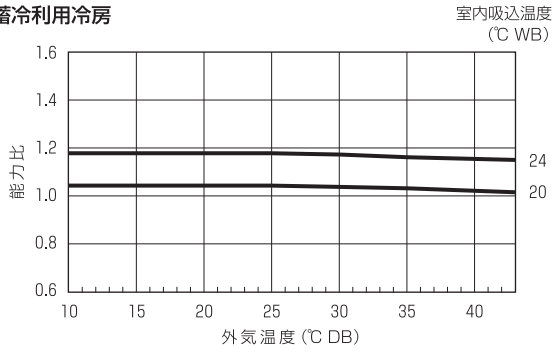
VIII 技術データ

[1] 能力線図

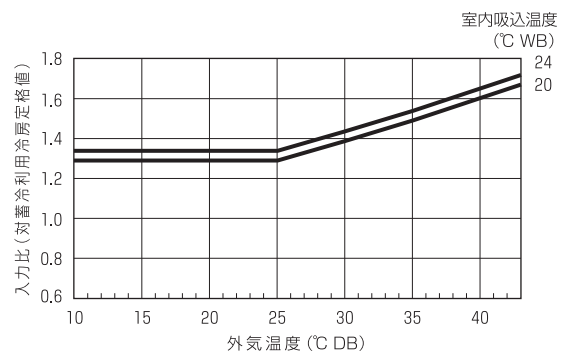
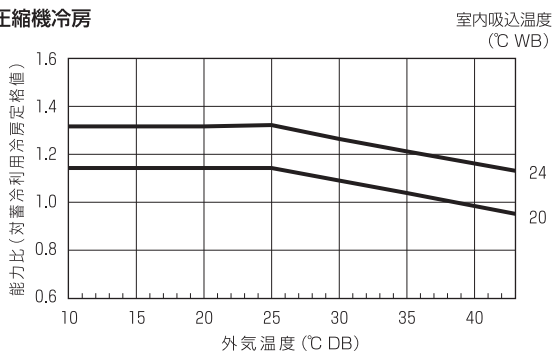
[PUZ-P140IGA]

(1) 空気温度補正

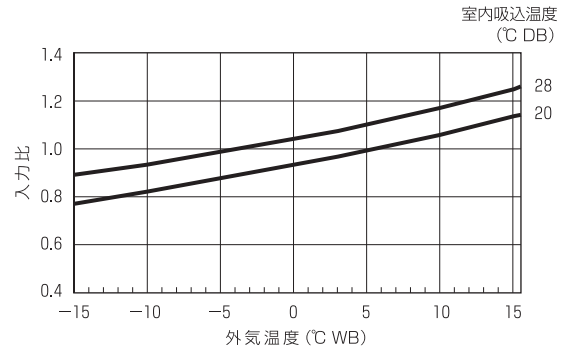
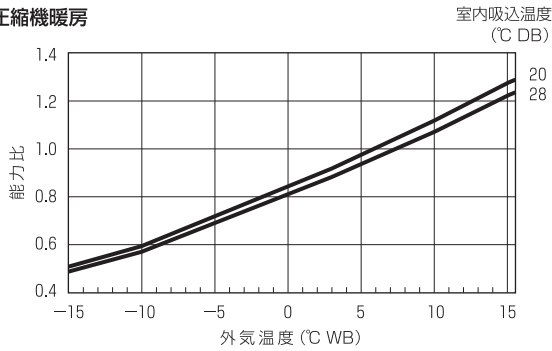
① 蓄冷利用冷房



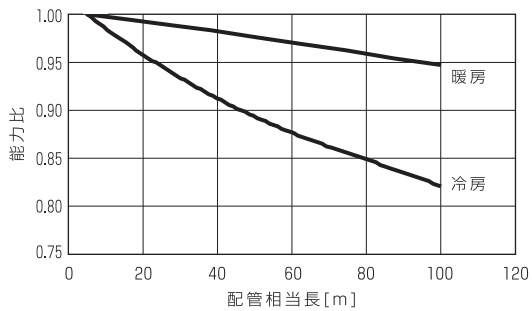
② 圧縮機冷房



③ 圧縮機暖房



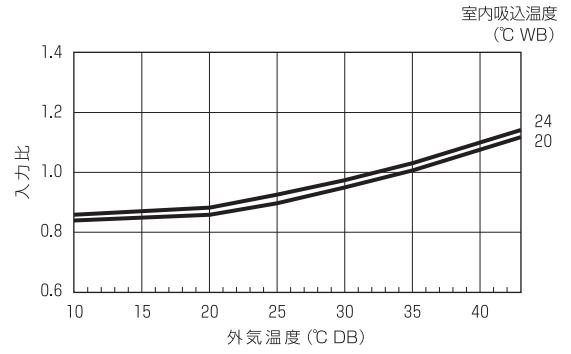
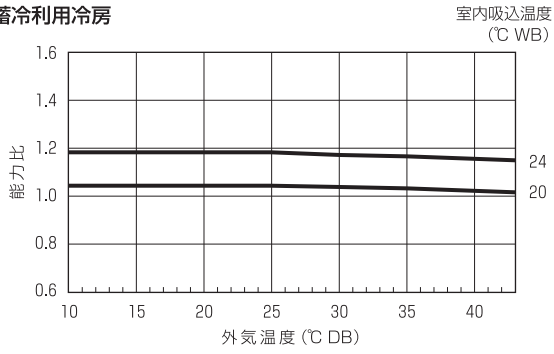
(2) 配管長補正



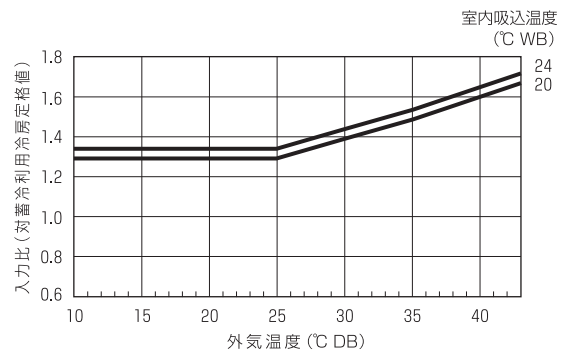
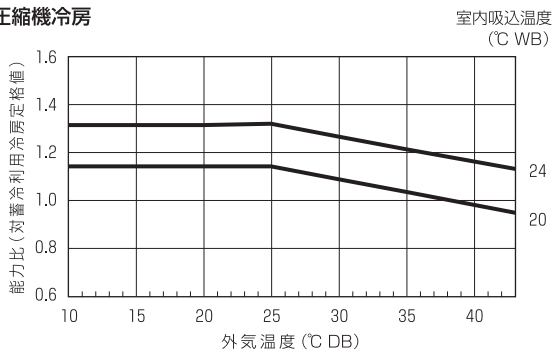
[PUZ-P160IGA]

(1) 空気温度補正

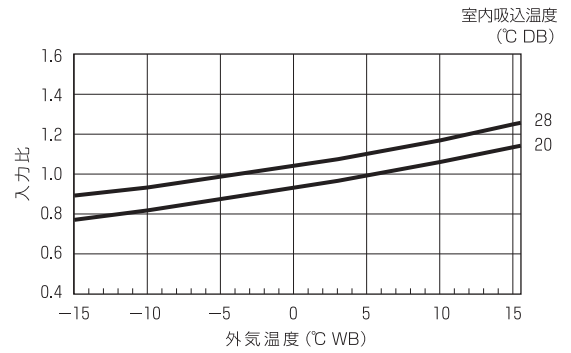
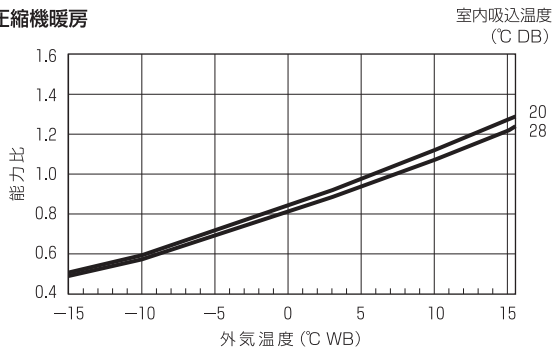
① 蓄冷利用冷房



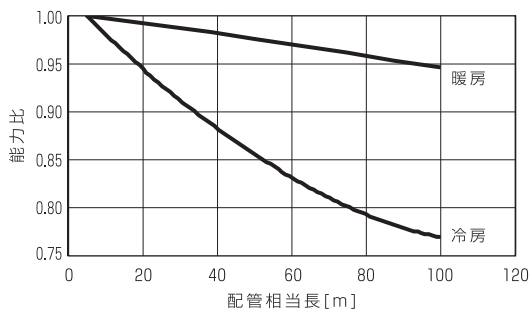
② 圧縮機冷房



③ 圧縮機暖房



(2) 配管長補正

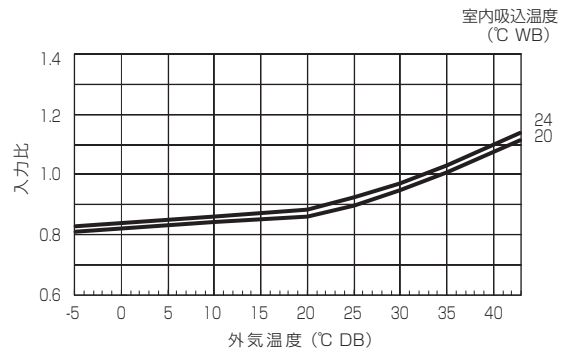
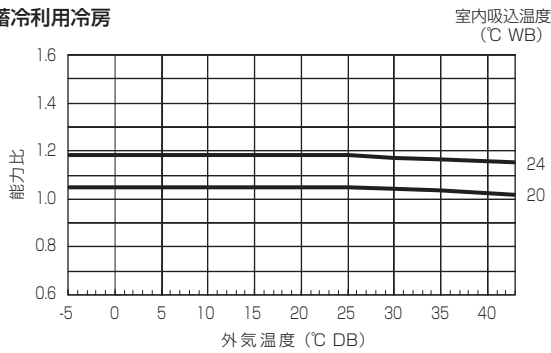


【PUZ-P140IGA-H】

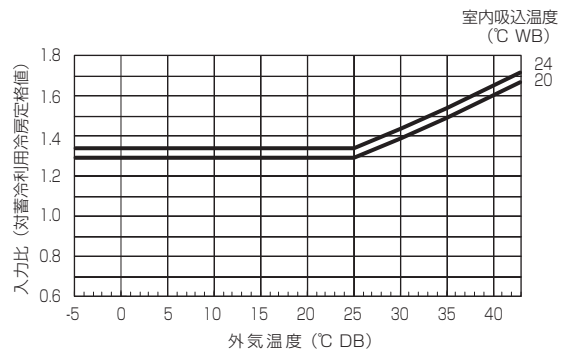
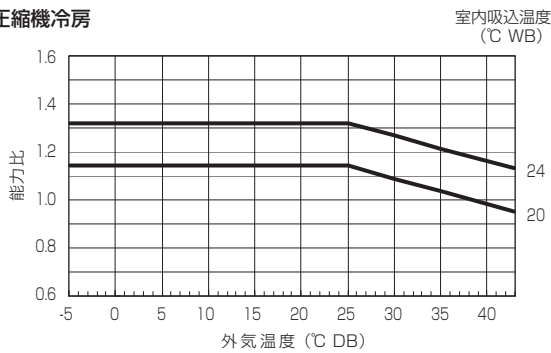
寒冷地対応

(1) 空気温度補正

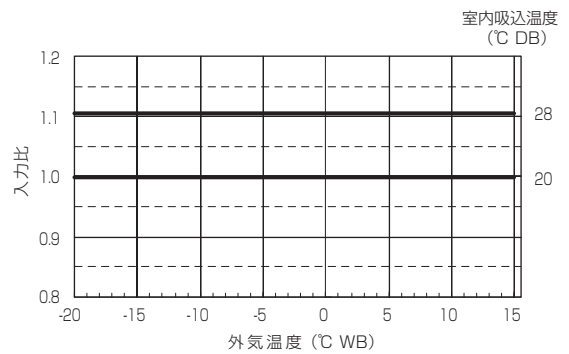
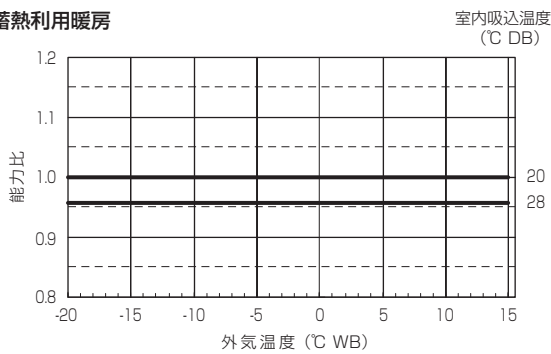
① 蓄冷利用冷房



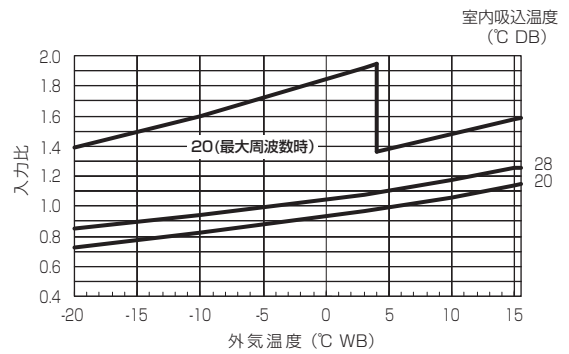
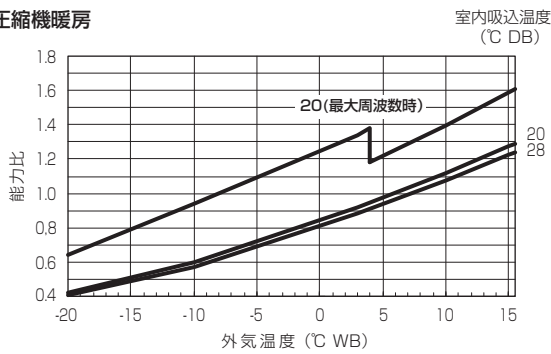
② 圧縮機冷房



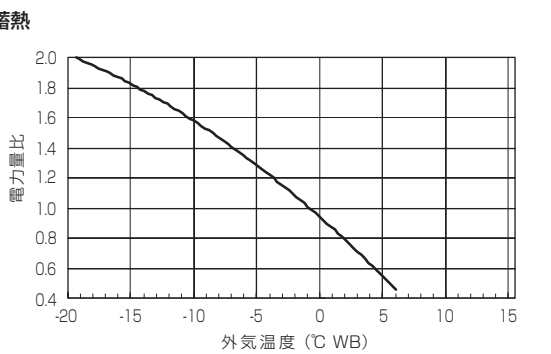
③ 蓄熱利用暖房



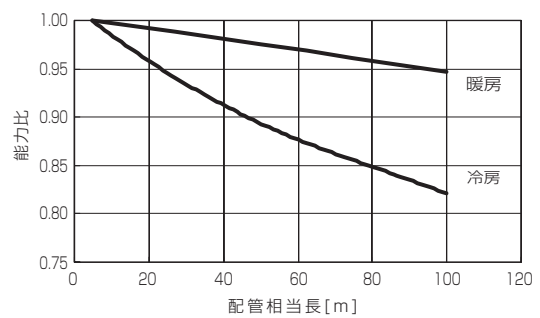
④ 圧縮機暖房



⑤ 蓄熱

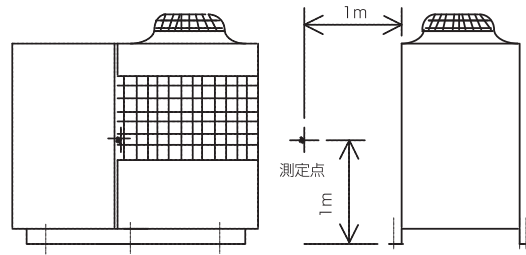


(2) 配管長補正



[2] 室外ユニット騒音データ

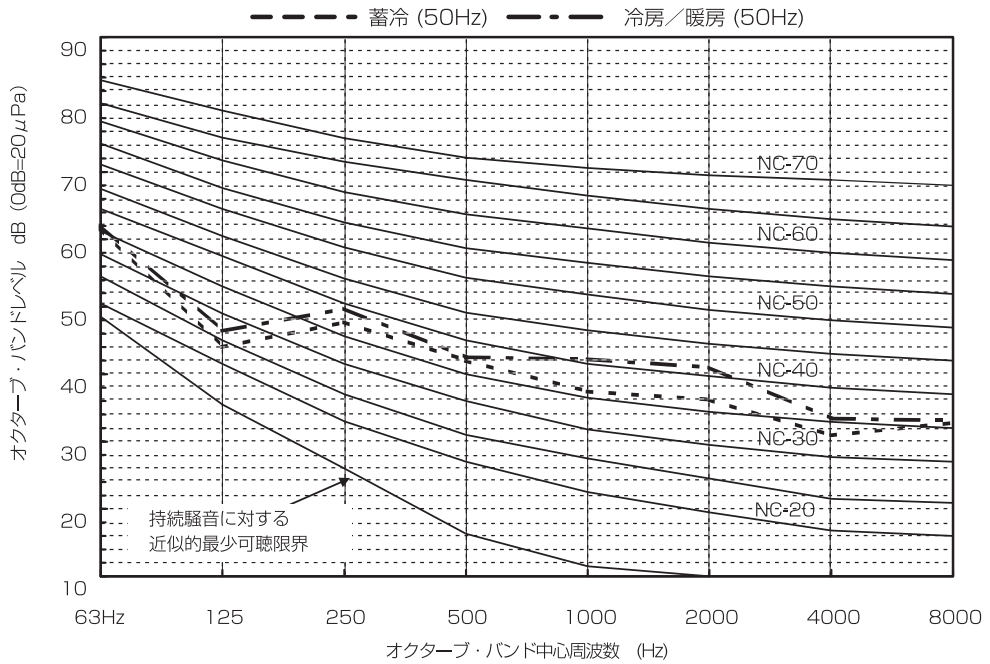
<1>PUZ-P140IGA(-H)



測定場所：無響音室
計器：B&K

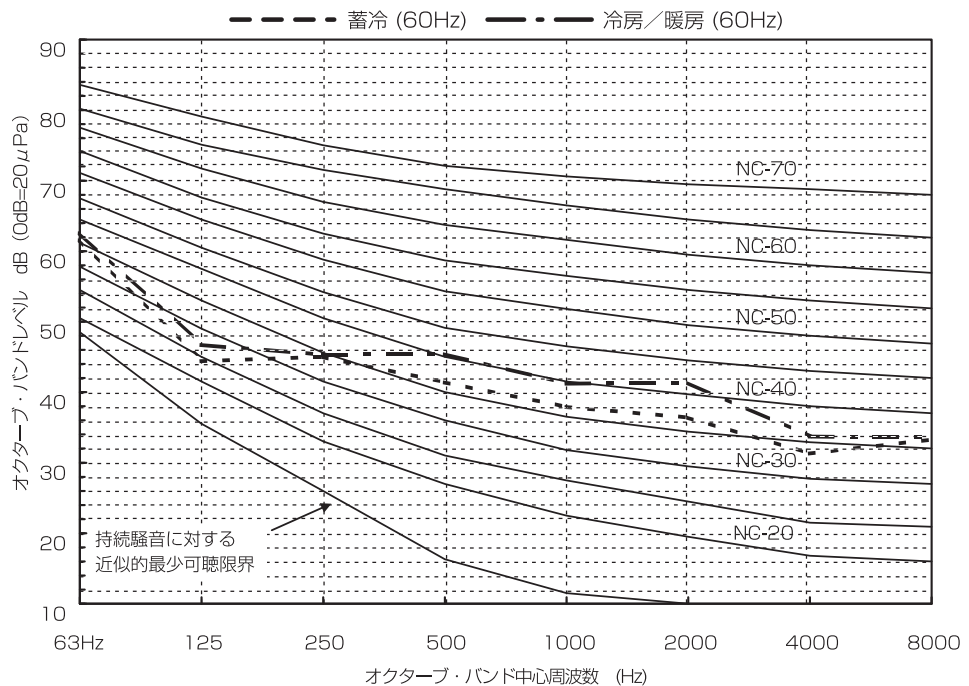
【50Hz】

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
50Hz	蓄冷	61.6	44.0	47.7	42.0	37.4	36.2	30.9	32.8	45	(dB)
	冷房/暖房	62.1	46.4	49.7	42.5	42.2	41.0	33.4	33.1	48	(dB)

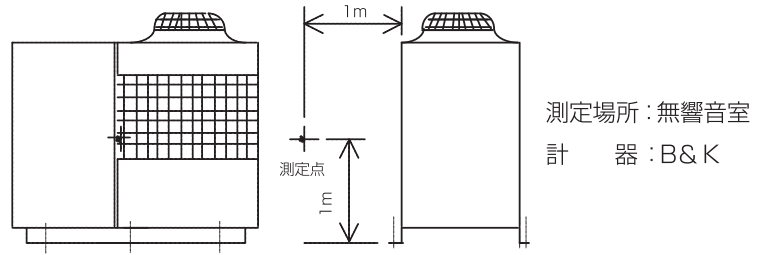


【60Hz】

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
60Hz	蓄冷	61.6	44.4	45.0	41.4	37.9	36.4	31.3	33.3	45	(dB)
	冷房/暖房	62.6	46.7	45.3	45.4	41.2	41.3	33.7	33.6	48	(dB)

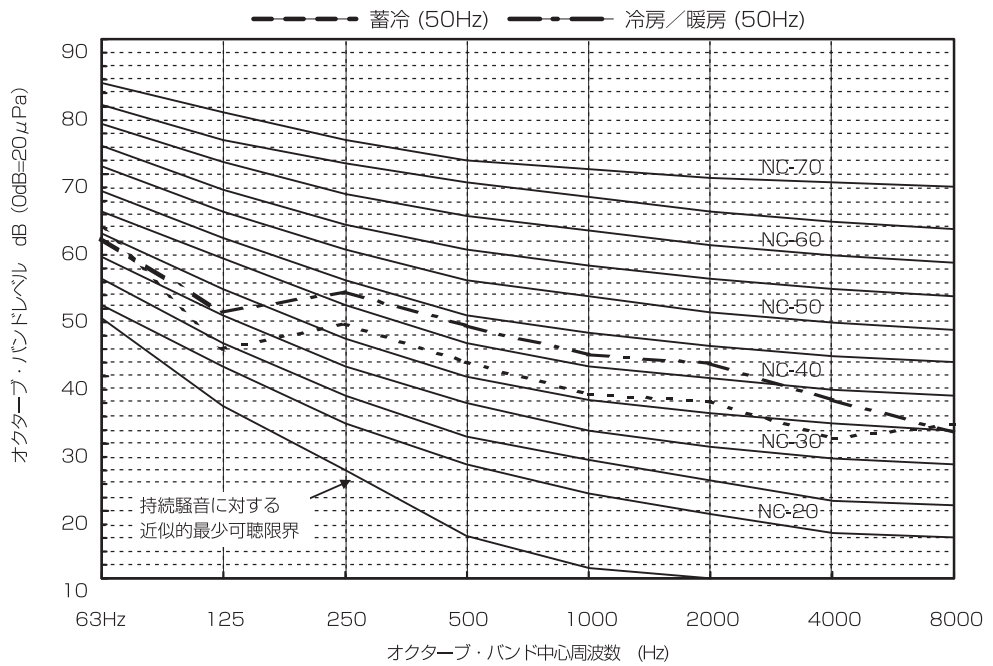


<2>PUZ-P160IGA(-H)



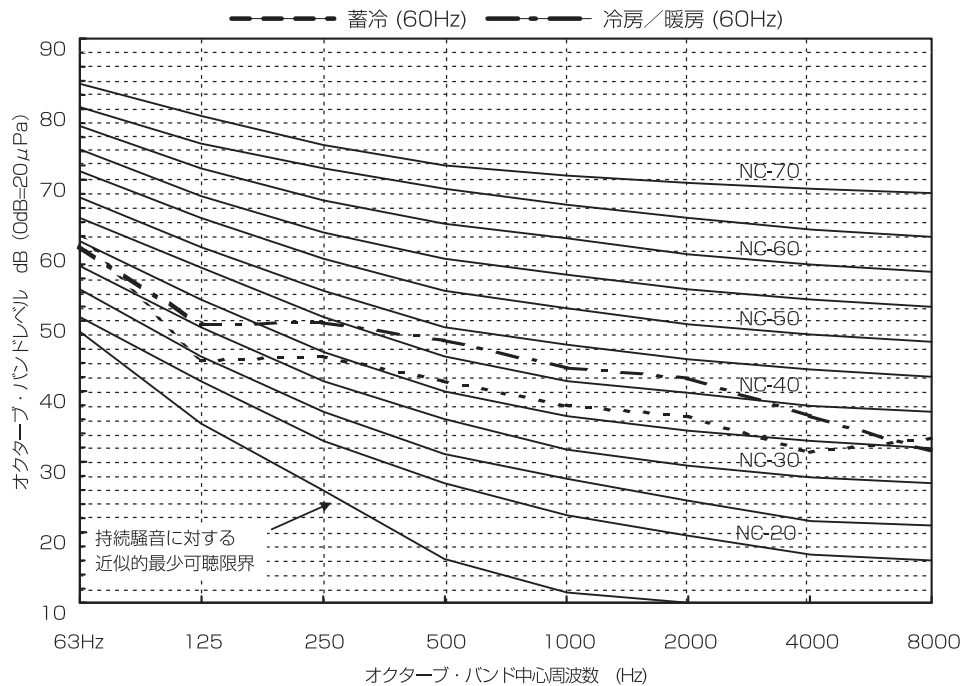
【50Hz】

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
50Hz	蓄冷	61.6	44.0	47.7	42.0	37.4	36.2	30.9	32.8	45	(dB)
	冷房/暖房	60.6	49.5	52.4	47.5	43.2	41.9	36.4	31.6	50	(dB)



【60Hz】

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
60Hz	蓄冷	61.6	44.4	45.0	41.4	37.9	36.4	31.3	33.3	45	(dB)
	冷房/暖房	60.6	49.5	49.7	47.3	43.3	41.9	36.5	31.6	50	(dB)



[3] 耐震強度データ

耐震強度検討書記載項目データ (室外ユニット)

1. 機種 =

2. 形名 =

3. 機器諸元 (図1参照)

(1) 機器質量 (運転質量)

W = kg

(2) アンカーボルト

a. 総本数

N = 本

b. サイズ・形状

= M 形

c. 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積)

A = mm² = × 10⁻⁶ m²

d. 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルトの総本数

Nt = 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ

Hg = mm = m

(4) 検討する方向からみたボルトスパン

L = mm = m

(5) 検討する方向からみたボルト中心から機器重心までの距離

Lg = mm (Lg ≤ L/2) = m

4. 検討計算 (各項の小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

(1) 設計用水平震度

Kh =

(2) 設計用鉛直震度

Kv = Kh/2 =

(3) 設計用水平地震力

Fh = Kh · W · 9.8 = N

(4) 設計用鉛直地震力

Fv = Kv · W · 9.8 = N

(5) アンカーボルトの引抜力

$R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t}$ = N

(6) アンカーボルトのせん断力

Q = Fh/N = N

(7) アンカーボルトに生ずる応力度

a. 引張応力度

$\sigma = R_b/A =$ MPa < ft = 176.4 MPa

b. せん断応力度

$\tau = Q/A =$ MPa < fs = 132.3 MPa

c. 引張とせん断を同時に受ける場合

fts' = 1.4ft - 1.6τ = MPa

ただし fts' ≤ ft のとき fts = fts', fts' > ft のとき fts = ft であるので

fts = MPa

$\sigma =$ MPa < fts = MPa

(8) アンカーボルトの施工法

a. アンカーボルトの施工法

=

b. コンクリートの厚さ

= mm

c. ボルトの埋込長さ

mm

d. 許容引抜加重

= Ta = N > Rb = N

以上の検討結果よりアンカーボルトは十分なる強度を有する。

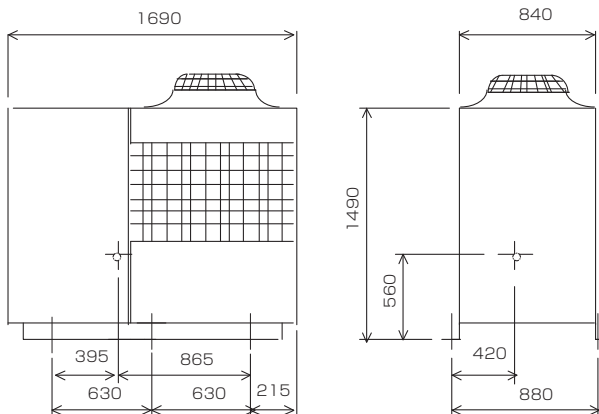


図 1

IX システムコントロール

システム名称	特 長
リモコン制御運転（標準）	<ul style="list-style-type: none"> ・ MA リモコン（PAR-20MA）。 ・ 2 リモコン制御可能。 ・ 蓄熱時間（午前 1 ～ 6 時）は「集中管理」の表示となり手元操作禁止。
1 リモコングループ制御	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ・アイス [mini] 同士のグループは可。 ・ <u>非蓄熱とのグループについては親機を蓄熱スリムとした場合可。</u> <u>（但し、非蓄熱スリムも午前 1 時～ 6 時には運転不可となる。）</u>
停電復帰後の運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電自動復帰の設定にもかかわらず蓄熱時間（午前 1 ～ 6 時）内の停電復帰後は蓄熱運転を行わず停止のままです。 ・ 蓄熱時間帯以外の時間については停電自動復帰の設定に従います。
遠方／手元併用制御運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）により可能。 ・ 蓄熱時間（午前 1 ～ 6 時）内の ON 指令は無効で蓄熱運転が優先される。<u>蓄熱時間は指令に従う。</u>
外部信号による運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）により可能。 但し、蓄熱時間（午前 1 ～ 6 時）内の ON 指令は不可。
遠方表示取り出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 制御遠方表示キット（PAC-SF40RM）により可能。 ・ 蓄熱時間（午前 1 ～ 6 時）は“停止”となる。
タイマー運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ MA リモコン（PAR-26MA）による、入・切タイマー機能可能。 但し蓄熱時間中（午前 1 ～ 6 時）の ON 設定は不可。 ・ スケジュールタイマー（PAC-YT34ST-W）によるスケジュール運転可能。 但し蓄熱時間中（午前 1 ～ 6 時）の ON 設定は不可。
ロスナイ連動	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロスナイ（マイコンタイプ）との連動運転可能。 但し蓄熱時間中（午前 1 ～ 6 時）での換気運転は不可。
M-NET による集中管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ GB-50AD により可能（M-NET アダプタ PAC-SG98MA が必要です。） 但し蓄熱時間中（午前 1 ～ 6 時）の ON 指令は不可。
ワイヤレス操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 方向天井カセット形はワイヤレスパネル、天吊形は受光部の本体組込みにより可能。壁掛形はワイヤレスをラインナップ。
デマンド制御	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室外ユニット制御基板の CN3D へ PAC-SC36NA を取り付けることにより可能。

[X 別売部品]

X 別売部品

(室内ユニット別売部品は三菱電機スリムエアコンのカタログあるいはリプレースインバータ技術マニュアルをご覧ください。)

[1] 室外ユニット <PUZ-P140IGA(-H)><PUZ-P160IGA(-H)>

部 品 名	形 名
タイマーキット ※	PAC-KB67TT
防雪フード (吹出側)	PAC-KJ71TD
防雪フード (吸込側)	PAC-KK81SD
集中ドレンパン	PAC-KK91DP
圧力計	PAC-KK63PG
アクティブフィルタ本体	PAC-KB50AAC
アクティブフィルタ取付部品	PAC-KB56FAC
M-NET 接続用アダプタ	PAC-SG98MA

※ 蓄冷熱運転する場合、必ず必要です。